

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-154)、  
廃棄物管理施設(129)、MOX 燃料加工施設(2-106))」
2. 日時：令和6年2月21日(水) 10時00分～11時30分  
13時30分～18時05分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、山口係員  
日本原燃株式会社  
日本原燃株式会社 再処理事業部 新基準設計部 部長 他4名

#### 5. 要旨

- (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月15日及び2月19日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。
  - ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の整理方針
  - ・MOX 燃料加工施設における溢水による損傷の防止に関する設工認分割申請計画を踏まえた各申請回次での説明方針
  - ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価 (MOX 燃料加工施設)
- (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
  - ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の整理については、構造設計等で示す内容について審査が先行している MOX 燃料加工施設の例や作成ガイドの視点を踏まえた作業を進めつつ、社内の各担当が作業の中で不明な点が生じた際に、それらを明確化するプロセスとして作成ガイドの更新等を継続して行う。
  - ・MOX 燃料加工施設における溢水による損傷の防止に関する説明方針については、没水、被水及び蒸気のそれぞれの溢水事象に対して、施設の特徴を踏まえた対策と施設共通の一般的な対策をそれぞれ明確にするとともに、地下水流入対策については、基本設計方針の記載や溢水防護対策設備等の整理を進める。
  - ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価については、評価対象の範囲や

評価条件として用いる各種数値等の根拠及び考え方を補足説明資料も含めて体系的に整理するとともに、内部発生飛散物に対する設計等の複数の設備で共通する設計の説明に当たっては、関連する条文の説明すべき事項が網羅的に示せるよう、具体的な構造設計等を示す代表設備を再整理する。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

## 7. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請

を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)
- ・ 令和6年2月15日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和6年2月19日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

| 時間      | 自動文字起こし結果  |
|---------|--|
| 0:00:00 | はい、公開しました。   |
| 0:00:02 | 木内ヤマグチトダ今から日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、                  |
| 0:00:14 | 令和5年2月28日、申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。                        |
| 0:00:24 | まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からアライブジワラヤマグチ、その他WEBからコサクを、が、以上になります。                          |
| 0:00:36 | それで日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成を説明し資料の説明を開始してください。  |
| 0:00:45 | はい。日本原燃事務局の中浜です。   |
| 0:00:48 | 日本原燃側の出席者紹介いたします。  |
| 0:00:52 | Steeringチームより、   |
| 0:00:54 | イシグロタカヤイシハラ。   |
| 0:00:58 | あとサポートメンバーといたしまして、エビナシミズ。  |
| 0:01:02 | 再処理及びMOXの事務局参加させていただいてございます。   |
| 0:01:08 | 本日ご確認いただきます資料でございますけれども、再処理廃棄物の説明グループ1、資料3、適正化の取り組み方針、こちらの資料となります。                     |
| 0:01:19 | それでは説明の方開始させていただきます。   |
| 0:01:24 | はい。日本原燃の石黒でございます。そうしましたらですね資料共通11名グループ1、資料3適正化の取り組み方針という形で今回資料を一部ご用意させていただいております。      |
| 0:01:37 | こちら前回2月9日にヒアリングをさせていただいて、その時に※受けたコメントに対して取り組んでる今日ちょっとお伝えしようとしていたんですけれども、               |
| 0:01:50 | ちょっと私の方はですね、今の最新の規制庁さんとMOXのやりとりも含めて、今のそのステータスっていうのを十分理解しないままですね、                       |
| 0:02:01 | ちょっと資料を出してしまったというところで、ちょっと資料の中身というよりもですね、ちょっと私がちょっと認識不足していたところについてしっかりとご説明を、話をした上でですね、 |
| 0:02:14 | 認識はしていく必要があるかなというふうにちょっと思っている次第でございます。   |
| 0:02:19 | まずこちらの資料ですけれども、冒頭に目次が入っておりますが、ここにはですねシステム設計とか構造設計とかっていうのはされているんですが、これは                 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:02:32 | 資料 2 を作成する前の段階ですね、各設計項目を整理するときに、ヒアリングの添付 1 と呼ばれていた資料の中ですけども、当該箇所につきましては、          |
| 0:02:45 | システム設計のについて説明するというそういう整理になってございます。にもかかわらず等で構造設計というふうに曾田スタッフ出してしまったのはですね、          |
| 0:02:56 | システム設計の中で登場してくるものに対して、一部構造を説明した方がいいかなというふうに考えたものを、この目次に対しても構造設計という形で、追記してしまっただと。  |
| 0:03:07 | いうところで、従来の枠組みを無視するようなですね、形で記載してしまっただといたところを、こちらはちょっと                              |
| 0:03:17 | 記載の前提条件をですね書くようなものを作ってしまったというところで、直さないといけないというふうに考えております。                         |
| 0:03:26 | また  |
| 0:03:27 | 資料でいうと、8 ページ、これ 8 ページ、表がついてるんですけども、   |
| 0:03:35 | こちらの表はですね他のページも聞いたんですよ。同じ障害なんかが登場してきてますが、   |
| 0:03:41 | 今の  |
| 0:03:44 | 資料 3 の中で、どういった登場人物があって何を説明していくかといったところ、こちら資料 4 でもっと言うと                            |
| 0:03:54 | 最後 16 ページで表等を作ってですね、説明の網羅性について、議論しているといったところは認識してございますが、ここではですねちょっと本来なら、          |
| 0:04:07 | この資料作成前の段階で、どういう設備があって、どういう説明事項があって、それを網羅するためにはどのような資料 3 の作り込みをしないといけないかと。        |
| 0:04:17 | というような、整理があって、この資料作るものであったものをですね、   |
| 0:04:24 | カワセぐらいに関しては、比較的パターンも少ないのかなというところもあって、この資料の中で、このような表を作って、                          |
| 0:04:35 | 表説明しようとしていたんですけどもちょっと   |
| 0:04:40 | 生成という意味ではですね、ここで登場してくるわけじゃなくてその前段で整理すべきものを学校で出てきてしまっただと、というようなところで、全体で野瀬整理の話をですね、 |
| 0:04:52 | まずしっかりしておかないといけないのかなというふうに考えております。この表で言うとですね、中ほど、右の方に対策の概要といったようなところが書いてありますけれども、 |
| 0:05:02 | 対策の概要というのを  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:05:06 | 右側右側と上の報告に並べてですね、設備を   |
| 0:05:11 | 左側に並べて、実際にどういったものが、どういった対策をするのか、どういった設備構成なのかといったところの整理をした上でですね、それに基づいて説明するというような構成にしておく、                                       |
| 0:05:24 | べきものがあつたんじゃないかなというふうに認識しております。   |
| 0:05:28 | その他ですね今回の資料におきましては、  |
| 0:05:34 | 少しでも前回、記載の程度が足りないとボックスを参考にといったところ。はい。  |
| 0:05:41 | はい。  |
| 0:05:44 | すいません。   |
| 0:05:47 | がございましたので、工夫としましては、それぞれのページでですね、我々が説明しなきゃいけないところで、しっかりと行った上で、各パーツについて、   |
| 0:05:58 | それぞれその目的と、どのような構造になっているのかといったところにちょっと注力するような資料とさせていただいたんですけども、かなり町田荒削りな状況ではありますのでですね、この辺も引き続きはブラッシュアップが必要というふうに考えているところでございます。 |
| 0:06:15 | 短いですがけれども説明は以上になります。   |
| 0:06:20 | 規制庁の荒井ですけど。  |
| 0:06:25 | 下、今は説明されたのに、なんでこの資料は出てきたんですか。  |
| 0:06:36 | 今説明されたことを踏まえた上で、   |
| 0:06:39 | 資料の作り込みをMOXと連携してやった結果が出てくると思ってたんですけど、  |
| 0:06:48 | 日本原燃の一条でございます。   |
| 0:06:50 | こちらについては、主、  |
| 0:06:54 | 今この説明を   |
| 0:06:56 | 差し上げているのですね、資料提出。  |
| 0:07:01 | ここにちょっと社内の中でもいろいろ議論を差し上げて、今のちょっと認識に至っているというところでございまして、   |
| 0:07:08 | 正直申し上げますと資料提出時点では、先ほどもちょっと話しましたけれども、記載の充実というところに、主、  |
| 0:07:19 | 意識が向かっていて、そちらにちょっと注力していたというのが実態でございまして。  |
| 0:07:24 | 以上です。  |
| 0:07:25 | はい。  |
| 0:07:26 | 1 ページ目の 3 ポツの対策んところに、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:07:31 | 専任レビューチームをいますっていう話と、MOXチームにポイントレビューをしますっていう話で、括弧、今後予定って書いてあるんですね。   |
| 0:07:43 | なぜこの時点で今後予定っていう形にしてそのまま、先週の進め方でも、2月9日の日家でも言ったのに、  |
| 0:07:52 | こういう整理になっちゃうわけですかね。   |
| 0:07:56 | 日本原燃の仕事がする。   |
| 0:07:59 | そうですね。オク呉、前回のスズエかたでもMOXの、   |
| 0:08:07 | 方々のレビューが必要というコメントいただきまして、   |
| 0:08:12 | これについては我々も必要というふうには認識していたんですが、  |
| 0:08:17 | と、  |
| 0:08:18 | うまいことちょっとタイミング取れなくて、  |
| 0:08:22 | 今回の資料については、人を、  |
| 0:08:25 | 途中段階で、少し見ていただくっていうきちんとあったんですけどパッケージ化したものに対しての、  |
| 0:08:31 | レビューっていうのは全くしてもらって、していただくタイミングがちょっとなかったというのがちょっと実態でございましたしっかり目標の方を  |
| 0:08:41 | 会合があっといういろいろなかなかバタバタされてると思うんですが、何とかちょっと時間を確保して決めていただくような対応にしたいというふうに思っております。何で1と、今回できてなかったというところにつきましてはですね、 |
| 0:08:54 | 私の調整不足ということになります。申し訳ございません。   |
| 0:08:58 | はい。   |
| 0:08:59 | 我々も、我々日本原電のチェック機関ではありませんから、資料のチェック機関ではありませんから、そこは、  |
| 0:09:09 | しっかり約束したことを履行していただかないと、非常にこちらも審査対応としては困るっていうところと、   |
| 0:09:17 | あとは、  |
| 0:09:19 | 今週の月曜日からMOXのヒアリングがあったわけで、そこに、   |
| 0:09:25 | 最初にはもう今後の資料の作り込みっていう形で、関与すべきっていう話は、進め方冷やで言っていたわけですけど、   |
| 0:09:35 | 出てませんでしたよね。   |
| 0:09:38 | この辺とかって、何か  |
| 0:09:43 | あるんですかね。  |
| 0:09:45 | 事情はあるにせよ、例えば、   |
| 0:09:48 | 代理を出すとかそういったフォローとかってちゃんとされてるんですか。   |
| 0:09:57 | 日本原燃の首藤でございます。  |
| 0:10:01 | フォローという意味では最初の間人からは   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:10:05 | シミズが出ていたりして状況は、はい。把握しようとしているんですけどもちょっと私は、はい。おっしゃる通り、今回、売れなかったと。                                    |
| 0:10:16 | いうところで、すみませんちょっと、  |
| 0:10:19 | 極力炭化する者極力というか、   |
| 0:10:23 | こう出ていかないといけないというふうに思っておりますし、出ていくようにしたいというふうに思っております。   |
| 0:10:28 | 仮に出てカナダでない場合はどうしてもあることもあるでしょうから、その時はしっかり代理を指名するというような形をとってですね、確実にフォローするというようにしたいと思います。             |
| 0:10:39 | はい。  |
| 0:10:41 | では今後、出席者についても、しっかり再処理とつなぐ人間というところを明確にするように対応いただきたいと思います。   |
| 0:10:50 | あとは  |
| 0:10:52 | もう根本的な話として、MOX側で作成ガイドを作りましたよね。   |
| 0:10:57 | そこで、今の作成以外の立ち位置ってどうなってるんですか。   |
| 0:11:05 | 誰が管理してるんですか。   |
| 0:11:13 | はい、日本原燃車でございます。ガイド自体は、あれはMOXで作ってても私作りましたけど、最初にMOX共通のガイドになりますので、                                    |
| 0:11:25 | 全体として管理をしますタダアノ、管理の主体は、再処理事業部呉の副部長であり、MOXの許認可業務課長である私のところで管理をしているということになります。                       |
| 0:11:38 | はい。  |
| 0:11:39 | それで、やはり再処理側もMOXとは違うような整理が、例えば代表の話で複雑な部分が複雑なところが出てくると思いますので、  |
| 0:11:49 | そういう視点が確実に拡充できるような管理のやり方っていうのをして、  |
| 0:11:56 | 作業員が出て作業する際にはそれを見なければいけないっていうような管理体制にしないとですね、あんまりイシハラさんがやってきたことっていうのは、                             |
| 0:12:08 | 意味をなさなくなってしまうのではないのかなと思いますので、必要な対応、適切な対応を今後よろしくお願ひしたいと思います。  |
| 0:12:20 | はい。弓削ニシダでございますそうですねおっしゃっていただいている通りだと思います代表の選定であったりPSAの整理であったり、当然ながらその共通的なルールだったり最初に特有のものであったり、含めて、 |
| 0:12:34 | 共通中に本体ガイドも含めた、適正な修正というのをした上で、全体にある人はちゃんとまず見てもらわないと、ガイドの意味がないんで、そういう意味ではしっかりと議論をして、ブラッシュアップしながら、    |
| 0:12:49 | 共有して教育をするという流れを構築していきたいと思います。  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:12:54 | はい。   |
| 0:12:55 | ガイドの運用状況については適宜その際に、ヒアリングの都度ですね説明いただきたいと思います。どのような運用をされていてどのような点を拡充しているのかっていうところについては、    |
| 0:13:09 | もう一つは、国です。  |
| 0:13:14 | 今の回答の件で、  |
| 0:13:17 | 確認のプラスでしたいんですけど、  |
| 0:13:20 | ガイドの作成改正については、石原さんが対応されるということで理解をしましたが、   |
| 0:13:30 | 作業者 2、  |
| 0:13:33 | ちゃんと見てやらせるっていうのは、   |
| 0:13:36 | 高安タカハシさんじゃないや、イングロさんの仕事だったんじゃないですか。   |
| 0:13:43 | そもそもイングロさんは見てるの。  |
| 0:13:47 | 日本原燃の石黒でございます。  |
| 0:13:49 | 中身は当然見てございます。   |
| 0:13:54 | こちらですね、昨日もなんですけど  |
| 0:14:00 | 資料 3 のブラッシュアップに関わる説明会っていうのを開催をしてはございましてですね、その中で、ガイドについても、紹介をして、皆さんに注意喚起といいますか、しっかりと見るような、 |
| 0:14:14 | 指導というのはしているんですけども、一つ一つの資料に対して、この観点は見たのかといったような概要に対する一つ一つのチェックというところまでは、                   |
| 0:14:25 | ちょっと今現時点ではできてなかったというのが実態でございます。以上です。  |
| 0:14:31 | はい。今最後に言われたことを、最後じゃなくて、一番最初にやるべき。   |
| 0:14:38 | だと思っんですよね。  |
| 0:14:40 | どうせわかってないんだから。  |
| 0:14:42 | まずわからせるっていうこと等をやらないと、資料の精査に入れないと思ってて、   |
| 0:14:49 | その状況であるのにもかかわらずなんで出てきたんだっていうのが最初のアライのコメントだと思います。  |
| 0:14:58 | それで言うと、設工認の審査も 1 年経ってますし、   |
| 0:15:05 | 第 2 回場ですね、第 1 回考えれば 3 年たつわけですよ。   |
| 0:15:10 | この状況で、何でそんな状態でまだ続いているのと。  |
| 0:15:18 | 先生前に、累計と考えるとどうなのっていう面談で、  |
| 0:15:22 | 有井ということをやらなきゃいけないかは整理をされとか、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:15:26 | ということで、社内ではそれなりの手順書的なものを作ってやってきていると。                                    |
| 0:15:33 | にもかかわらず、何もわかってなかった。   |
| 0:15:36 | わかってないっていうことを、1年以上かけて、理解をし、   |
| 0:15:42 | やることを改めて特定をして、ようやく2年かかって第1回の市認可が受けられたと。                                 |
| 0:15:50 | その経験を踏まえて第2回と言っているにもかかわらずわからなくて1年経って、                                   |
| 0:15:56 | 1年経っているのにまだできない。  |
| 0:15:59 | Steeringチームとして、4月から入って、   |
| 0:16:04 | 10ヶ月タッフ   |
| 0:16:07 | いうのにもかかわらず、やらせられないってどういうことですか。  |
| 0:16:16 | 日本原燃の石黒でございます。  |
| 0:16:19 | はい。   |
| 0:16:24 | まず  |
| 0:16:26 | ガイドだけではないのかもしれないんですけども、   |
| 0:16:30 | 先ほどから話がありましたように、僕先行でしている中でですね、再処理が追従するという形の中でですね、                       |
| 0:16:41 | ボックス数の状況をしっかりと把握して、着手して、わかる形にして、示しつつ、                                   |
| 0:16:52 | できてるかどうかのチェックを、チェック体制できる人間を専任して   |
| 0:16:58 | そのチェックのもとで、出していくという、  |
| 0:17:02 | 基本的な取り組みだと思うんですけども、   |
| 0:17:04 | 私自身も、   |
| 0:17:08 | 周知するネットトップの   |
| 0:17:13 | そこの強制的にでもですね、そこを遂行していくって言っているところが不足していたものというふうに認識しております。私の力不足だと考えております。 |
| 0:17:26 | 結構コサクです。石黒さんの力不足以前に元の力不足なんですけど、   |
| 0:17:34 | まずはそれを認識してこない体制がずっと続いているから改善しなきゃいけないってということで、Steeringチームを設置されて、         |
| 0:17:45 | 外の値というのをに入れていって何とか不足しているところというのを認識をして改善していこうという取り組みだったはずで、              |
| 0:17:56 | そのうちがですね、ちゃんと生きなければ、何も変わらないことに結局なっちゃうので、しっかりとやっていただきたいと。                |
| 0:18:05 | ということです。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:18:07 | MOXのやつを今から入れてくんだとはそもそもなくてですね、作成ガイドっていうのは最初から再処理、MOX共通のものとしてやりますと。 |
| 0:18:18 | 言っているのだから、  |
| 0:18:20 | お勉強始めるんじゃないくて、もうガイドはその作成時点で一緒になって理解をされていて、                        |
| 0:18:27 | スタートしてなきゃいけないはずなんですよ。   |
| 0:18:30 | その認識も足りてないということなので、何のためにこう並行して審査を一体としてやっていこうということで3年やってきたのかと。     |
| 0:18:39 | いうことすら分かってきてないという古藤で、ちょっと愕然としています。                                |
| 0:18:45 | その点もしっかりSteeringチームで意識をしてやっていただきたいと。                              |
| 0:18:50 | 思います。   |
| 0:18:53 | うん。   |
| 0:18:54 | はい。日本原燃の新保でございます。   |
| 0:18:56 | を重く受けとめて、   |
| 0:19:00 | しっかり浸透させていく、チェックをしていくということを、                                      |
| 0:19:06 | しっかりやり直していきたいというふうに思います。以上です。                                     |
| 0:19:10 | 1コサクですよろしく申し上げます。そうすればですね今回のような資料って、最初から出てくるわけがない。                |
| 0:19:16 | ですよ。  |
| 0:19:17 | なのかシステム設計だ構造設計だっていうところ言っておきながら全然そういう構成になってなかったり、内容がぐじゃまぜになっていたり、  |
| 0:19:28 | 或いは、肝心なことは抜けていたり、この後、各担当からあると思いますけど、                              |
| 0:19:34 | いうところがないようにしないといけないし、   |
| 0:19:38 | そもそも何をやるべきかっていうのが   |
| 0:19:43 | 今回の資料と全く抜けてて、   |
| 0:19:46 | わかってませんということを説明する。  |
| 0:19:49 | 資料でしかなくなっちゃって、  |
| 0:19:54 | その点はですね、荒井からもあったように、社内でもわかる人が見ればわかるはずでっていうところで、                   |
| 0:20:02 | まずは石黒さんがわかる人になんかきやいけないしっていうのもあるんですけど、                             |
| 0:20:07 | そのためにも試験を聞いて、地権者に聞いて、イングロさんはまず何をやるべきか。                            |
| 0:20:14 | どういう視点で見なきゃいけないか資料はどうあるべきかと。                                      |
| 0:20:17 | いうことを   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:20:19 | やれるようになっていくということが必要かなというふうに思います。   |
| 0:20:24 | それで  |
| 0:20:26 | 田野主務、石原さんの方に戻すと。   |
| 0:20:29 | 新居が言ったようにMOXではできた。   |
| 0:20:36 | 再処理の視点に立つ等まだ不十分だったっていうところが、  |
| 0:20:41 | 先ほど並行してやっていかなきゃというものですね、着手し始めるとやっぱり、不足点が見つかるということはやっぱりあると思うので、   |
| 0:20:50 | そういう点を反映するということだと思いますけど。   |
| 0:20:53 | この辺りは、今どうなってる。   |
| 0:20:58 | はい。二本木ニシダでございます。はい。今並行でやっている代表とかの話もそうですし、実際資料3は  |
| 0:21:07 | 今日お出しにしてヒアリングになってるような状態でしか、今資料サーンと言いながらも慣れ、やりきれてないところが何がわからなくて、そうなっているのかっていうのを、しっかりと聞き取りをしながら、         |
| 0:21:22 | わからない点というのはわかるように、ガイドに盛り込んでいくということが必要ということで作業は進めてます。ただ   |
| 0:21:33 | 皆さんご存知の通り元の悪いくせでわからないことわからないというときに、うまくみんなやはり表現できてないところがあるので、そういうことをしっかりと                               |
| 0:21:44 | 聞き取らなきゃいけないかなと思ってんですけどまだ十分その領域まで行けてないのが実態です。ただそういうことをやりながら、ちゃんと手が動かせるような状態にするというガイドにですね、していくということを作業を、 |
| 0:21:59 | やろうと思ってます。はい。  |
| 0:22:03 | はい。補足です。   |
| 0:22:07 | 作業着手前っていうのは何がわからないかわからないっていうのはあるんだと思うんですけど、もう作業しているルーなので、  |
| 0:22:16 | わからないことはできないわけでできてないところが、  |
| 0:22:21 | 出てくるわけですから、  |
| 0:22:23 | それでわかんないことが明確になっていくっていう。   |
| 0:22:27 | ことそれをレベルのタイミングで気が付くから改善を図って、ガイドも直すし、実行もする人。  |
| 0:22:38 | いうことをしてある程度できたものとして我々に提示をすると。  |
| 0:22:44 | いうことだと。  |
| 0:22:46 | 思ってるんですけど、今回はそこまで回せず2最初の段階、  |
| 0:22:53 | レビュー前みたいな感じのものでできてしまっているということのようなので、これからちゃんとしたプロセスを踏んで改善していく。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:23:04 | 時にガイドを伺い、  |
| 0:23:06 | ということで、  |
| 0:23:09 | 前もそのガイドを見直した時は出してくださいねってお話したと思うんですけど、  |
| 0:23:15 | 町近辺に、  |
| 0:23:18 | 或いは  |
| 0:23:20 | こういうような、こういうふうな改善をしてきましたっていう時には合わせて出してくるっていうふうに思っていていいですか。                         |
| 0:23:28 | はい、乳井西尾でございますはい。   |
| 0:23:30 | そういった取りをしているの認識してますし、実際何かの資料の時に、改善したものがセキであるのであれば、ガイドをあわせて提示をさせていただいてヒアリングでご説明すると。 |
| 0:23:43 | いうこともさせていただこうと思ってます。はい。  |
| 0:23:46 | はい、浅香ですよろしく。   |
| 0:23:49 | はい、衛藤アライですけど。  |
| 0:23:51 | 今の最後のガイドの話で、   |
| 0:23:54 | 漢字自体は、イシハラさんがやる見せよう、修正案の募集みたいな形で、募集というか修正案の、                                       |
| 0:24:03 | こういう修正もあるよっていう提案みたいな形で、意見を集約して、管理だけは石原さんがやるってそういうやり方になってくんですかね、今後、                 |
| 0:24:12 | 現社内では、   |
| 0:24:17 | はい、乳井西田でございます。おっしゃっていただいているようなやり方にしないと、当然ながら回らなくなると思う。                             |
| 0:24:26 | で、ウタ井清を考えます現状を一通りまとめて、私、   |
| 0:24:35 | 撮影の強いのは実際です。はい。  |
| 0:24:38 | はい。  |
| 0:24:39 | いろんな人を関与させながらやっていかないと。   |
| 0:24:42 | 少し、資料も、石原さんの個人の思いだけが先行するっていう形になってしまう。  |
| 0:24:49 | それもあってその理解についていけないっていうところもあると、あるところが出てくると思いますので、やはり各担当の作業者の、                       |
| 0:24:58 | 考えとかが、浸透できるような形でですね、そういうマニュアル類は作っていただいた方がいいのかなと思っていて、                              |
| 0:25:08 | もう一つは、ちょっと認識不足っていう点でいうと、やっぱり今回も、資料3のところすごい焦点を当てているんですけども、                          |
| 0:25:20 | 正直、冒頭で説明はあったとは思いますが、   |
| 0:25:24 | 資料3を作る上での前提条件の話ですかね。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:25:29 | そもそも資料 1 とカー資料に、そこら辺の認識がしっかりしていないと資料 3 って作り込めるわけがあんまりないと思っいてですね。                                  |
| 0:25:39 | そういったところもしっかり   |
| 0:25:41 | こういうような、途中経過の   |
| 0:25:46 | 成果物を出す際には説明いただいた方がいいのかなとは思っていますが、   |
| 0:25:52 | いかがですかね。  |
| 0:25:56 | ここまではできてるけど今回の資料ではここだけこう示したいとかいうのが全然ぼやけてわからなかったの、ここ、今今  |
| 0:26:04 | この後添付資料のところに行こうとは思んですけども、   |
| 0:26:10 | 添付資料で何を説明したいのかっていうところが非常にぼやけているような気がしますので、  |
| 0:26:18 | あと説明の前提となるところについてはもう少ししっかり説明いただいた方がよかったのかなと思った次第です。   |
| 0:26:27 | はい。日本原燃の一条でございます。   |
| 0:26:30 | はい。おっしゃるように、この説明の前提となるところをしっかりと説明するとで、  |
| 0:26:40 | 勉強となるところが資料 3-1 であったり、  |
| 0:26:44 | 資料のオクGで   |
| 0:26:47 | オクであるはずだったんですけども、それからこの中に先行で、   |
| 0:26:52 | まさにおっしゃっていただいた通りですね、アノさんの中身充実化というところに注力してしまっいてですね、  |
| 0:27:00 | 先ほど冒頭では資料 2 ではシステム設計のを説明するというので、うちで細かい話はしませんけれども、設計がどうだとかですねJISに基づくとかですねそういったところ、                 |
| 0:27:15 | 開かれていて、それをどう受けて、この資料作ってるのかといったところの説明が、はい。   |
| 0:27:24 | してきてないといけないっていうのはまさにおっしゃる通りだというふうに思います。   |
| 0:27:30 | ニューメディアです。石黒さん、今のやりとり、何かご理解が何かって気がしたので、資料に相当するところは以前、設計項目の整理で、添付 1 ということで、竜巻だけじゃなくて他の事象も整理しましたよね。 |
| 0:27:46 | かつ、今回資料 3 もどきだと言って出されてるやつも、要求事項との関係、達成したり設計目的っていうのとの関係で、全然わからないまま、                                |
| 0:27:57 | ただばらついてるだけなんです。繋がりがありませんよね。   |
| 0:28:01 | そういうところは、   |
| 0:28:04 | 理解はしていただいといていいですか。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:28:09 | 日本原燃の首藤です。はい。繋がりという意味では、  |
| 0:28:19 | 不足してるという認識です。   |
| 0:28:22 | ただこの資料 2-7  |
| 0:28:25 | 設計項目については、把握はしていて、すいません。昨日、ちょっと、  |
| 0:28:35 | 論点がぼやけるんで、  |
| 0:28:38 | 整理したいんですけど、まず、  |
| 0:28:40 | この資料の不出来がどこかっていうこと以前に、  |
| 0:28:45 | ヒアリングに臨むにあたり、   |
| 0:28:48 | どう、何をしたい、ヒアリングしたいのかっていうことを明確にしましょうっていうのは、いつもお話をしてて、最初に達成目標とかって言うだけとかということにしていますが、 |
| 0:28:59 | こちらの認識でいうとこの資料は余りにもできが悪いと。  |
| 0:29:04 | ということで、できが悪いにせよ、  |
| 0:29:08 | ヒアリングでやっておかないと、次の作業としての、  |
| 0:29:14 | 方向性が明確にできないと。   |
| 0:29:16 | ということでやるのだろうとすると、   |
| 0:29:22 | できが悪いっていうところは、こういうことだってどう、今回やりたいことからすると、どういう話ができるのか。                              |
| 0:29:31 | ていう、  |
| 0:29:33 | のをまず説明しなきゃいけないとそこは文面では表せきれないから、口頭で言ってくださいと。                                       |
| 0:29:40 | ということなんですけど。  |
| 0:29:41 | それがわからない説明だったってことだと思うんですよね。   |
| 0:29:47 | 接待冒頭の説明はできてませんっていう事は説明ありましたけど、  |
| 0:29:52 | じゃあそれどうすんのとか、今日は何したいのっていうのがわかんない。   |
| 0:29:57 | ということで今までのやりとり聞いても、   |
| 0:30:01 | そこが見えてこないんですよ。  |
| 0:30:04 | アライタかったのはそういうポイントなのかなと思ったんですけど資料 2 が悪いわけではなくて、                                    |
| 0:30:13 | 資料 2 で整理しているものが資料 3 にちゃんと入り込んできていないとか、  |
| 0:30:19 | ということからすると、先ほど言った資料 3 の①の部分、  |
| 0:30:25 | はどう、個別の   |
| 0:30:27 | 書類に入ってくるのかっていうところの精査ができてますか、とかですね。  |
| 0:30:33 | そもそも①がちゃんとできてますかってのもあるかもしれませんが、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:30:37 | の、どのタイミングのどこがどれ、どういう悪さがあり、  |
| 0:30:41 | それをどう対処していく必要があるのかっていうのを一つ一つ潰し込んでいかないといけないんじゃないかなと。                     |
| 0:30:48 | いうふうに思います。荒さん。  |
| 0:30:50 | どんな人たち、もう一度ちょっと補足いただけますか。   |
| 0:30:54 | はいおっしゃる、話していただいたところだと思っていて、できが悪いにせよ今回の添付資料で、結局何を説明したいんでしたっけっていうところが、非常に |
| 0:31:05 | 曖昧というか、不明確だったので、  |
| 0:31:08 | その後の添付資料の、  |
| 0:31:10 | 用意した意図っていうのはしっかり、   |
| 0:31:14 | 冒頭なり、雷で説明すべきだったのかなっていうのは最後に、言おうと思ってました。                                 |
| 0:31:20 | 以上です。   |
| 0:31:26 | 西村さん。はい。こちらの趣旨は伝わったと思うんですけどその上で、はい。今、考えていることをお話しいただけますか。                |
| 0:31:33 | はい。日本原燃の首藤でございます。   |
| 0:31:36 | 衛藤。   |
| 0:31:39 | 資料 2 からの繋がりが意識されたような見え方になってないとかされてない資料になっていると。                          |
| 0:31:47 | いうのはちょっと大きく反省しないといけないので、そこからの展開については、                                   |
| 0:31:53 | しっかりフォローさせていただく。  |
| 0:31:55 | その上でですね、今回ちょっと私、  |
| 0:32:00 | 前提が不十分な中でお話するのは非常に嬉しいんですけども、  |
| 0:32:06 | 一応、我々としましては、この右下 6 ページにあるような、これまで断片的に説明していた、                            |
| 0:32:17 | 各、  |
| 0:32:20 | 間接代替策が必要となる施設に対して、  |
| 0:32:25 | 網羅的といいますか、全体像を示した上で、それぞれに対して、   |
| 0:32:32 | システムであったり、その中のパーツであったりといったところの説明を今回イセらせていただいているわけなんですね。                 |
| 0:32:42 | この前、6 ページのは、失礼、8 ページに相当すると 8 ページになります。                                  |
| 0:32:48 | ページに書いてある、  |
| 0:32:50 | ところ、こちらの精査がいるにせよですね、ここから展開されていっている、その説明内容というのは、                         |



|         |   |
|---------|---|
| 0:33:00 | 我々なりにちょっと第 10 次あ、すいません。はい。  |
| 0:33:04 | 不足です。   |
| 0:33:06 | 申し訳ないですけど、この図を、   |
| 0:33:10 | 今後ベースにしようと思って提案されていてガイドに反映しようと思っ<br>るってことを言いたい。   |
| 0:33:18 | 日本原燃の石黒でございます。その意図はございません。  |
| 0:33:25 | 今回の資料の作り込みとしてこのような形にはなったんですけども、<br>全体通じて、   |
| 0:33:32 | どのようなフォーマットで、   |
| 0:33:35 | 網羅性を示していくのかといったところについては、検討した上で、それ<br>をガイドにしていけないといけないという認識でございます。   |
| 0:33:43 | はい。昨日、  |
| 0:33:47 | まずその体系の話をする、そもそもそれがシステム設計そのものであ<br>って、  |
| 0:33:54 | それをもう、  |
| 0:33:56 | MOXなりでは具現化をどうしている。  |
| 0:33:59 | 竜巻の方でも具現化しているってことじゃなかったんですたっけ。  |
| 0:34:05 | それはなぜ違う方法でやろうとしたのか。   |
| 0:34:08 | そこがよくわかんなかったんで、   |
| 0:34:10 | いかがですか  |
| 0:34:18 | はい。日本原電シミズです。本来であればこの 8 ページの表っていうの<br>が、この資料 3 の②で出てくるものではなくて、本来は、資料 2、資料 3<br>-1 というところでですね、基本設計方針に基づいた、 |
| 0:34:33 | それぞれの設計のパターンっていうのが、その示された上で具体のこ<br>の資料 3-0 に繋がるので、そちらのまず資料をつけてないと自体がま<br>ず、すいません今回できてないところではあるんですけども、     |
| 0:34:45 | これを改めて、この表ですね資料 3 の②として新たに作るということは、<br>本来やるべきではないのでそこは、はい。  |
| 0:34:54 | 先行であってMOXと同じお願いをしたいと思っております。  |
| 0:34:58 | コサクです。まずは、対応はそうなんですけど、  |
| 0:35:02 | そうであるのはもう、  |
| 0:35:04 | 固まった形なのに、なぜ違うことをやったんですか。  |
| 0:35:10 | はい。日本原燃志水です。  |
| 0:35:13 | 月報はですね。はいちょっとナカノ丹違いといいますか、資料 3-②だ<br>けでですね何か変にですねちょっとしっかり留意させて説明しようとい<br>う変な、ちょっとマインドになってしまってますね。         |

|         |  |
|---------|--|
| 0:35:28 | ちょっと本来のドイできてるルールから外れた対応をしてしまったので、ここはしっかり戻したいと思ってます。  |
| 0:35:40 | はい。そういうことです。言われる通り、何か変なことやってるなっていうふうにはしか思わなくて、   |
| 0:35:48 | 私なりになんで変なことをしちゃうのかっていうことを考えたんですけど、   |
| 0:35:54 | やっぱりその全体の流れをわからずに局所で作業を発注を受け、局所で仕事をして完了だと思った作業の仕方を、それぞれの人がしてませんか。                          |
| 0:36:12 | 日本原燃志水です。実際の作業、  |
| 0:36:17 | 来ていただいている方々は、一応全体の流れっていうのをですね、ご理解いただいていると思ってます。  |
| 0:36:25 | ただ、今回、市ヒアリング資料にする時にですね、一部だけをちょっと切り取った資料で、んな、説明できるような資料をちょっと作ろうと思ってですね。                     |
| 0:36:37 | ちょっと共通 12 のこのパッケージからずれたようなちょっと作り方をしてしまったっていうのが反省点だと思ってます。                                  |
| 0:36:48 | それは、   |
| 0:36:51 | とってあれでしょこれ共通 12 の資料 3 のサンプルとして出してきて、   |
| 0:36:57 | サンプルというか、モデルケースとして作って、   |
| 0:37:01 | したっていう体裁で出てきてると思ってたんですけど、何かそれがそもそも違うんですか。  |
| 0:37:12 | 日本原燃の肥後でございます。   |
| 0:37:14 | そういう意味では   |
| 0:37:18 | ちょっと   |
| 0:37:20 | 非常に回収つかお答えしづらいんですけども、  |
| 0:37:25 | その中身の作り込みの中身、3-2 の作り込みの中身の話を中心と、   |
| 0:37:32 | 意識がいついってしまっていて、パイロットであるという認識は当然あったんですけども、その全体の流れを意識したパイロットという形にできていなかったというのが大きな反省事項でございます。 |
| 0:37:48 | ごめんなさい。  |
| 0:37:50 | 今の説明で余計わかんなくなったんですけど、  |
| 0:37:53 | 302 の、   |
| 0:37:55 | ものとしてっていうことであればこんなふうな、   |
| 0:37:59 | ものが入ってくるわけないですよ。   |
| 0:38:03 | 先ほど清水さんが言われたように 3-1 の部分だったりということを示せることなんだからと。  |
| 0:38:08 | それを踏まえて、どうここで書くべきかっていう話をのんでいくのが、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:38:14 | パイロットとしてやることであって、   |
| 0:38:18 | 道を外してやったらミナミ値を外しますよということなので、  |
| 0:38:24 | その点でもやっぱりちょっと作業指示がおかしい強い。   |
| 0:38:30 | 作業を受けた人もそれおかしくないですかと言わずにやっちゃうっていうのは、ことごとく問題だと思うんですけど。   |
| 0:38:39 | 角さん、今の、どっちの問題がメインで、   |
| 0:38:43 | ていうと、実態ちょっと教えてもらえません。   |
| 0:38:49 | はい。日本原燃新設A棟、  |
| 0:38:53 | PHITS分社については、   |
| 0:38:58 | 一応、すいません、統合ガイドなり共通 12 の仕組みっていうのは、皆さんと認識合わせできてると思ってます。   |
| 0:39:08 | そ、その、そのベースはあるんですけども、こちらを共通準用資料 3 の②のパイロットという、   |
| 0:39:20 | のに、プラスアルファ、今回おつけ付けてないし、内容も一つの資料で見えるように資料化しようということがちょっと考慮事項として下手に入ってしまったってこのような形になってしまったのかなと思ってます。 |
| 0:39:35 | 加来です。その考慮事項ってのは誰がいい。  |
| 0:39:48 | 日本原燃の終了でございます。  |
| 0:39:50 | ここの考慮事項、8 ページの表につきましては、作業者のメンバーと私も含めて、  |
| 0:40:00 | どのようなケースがあるかといった議論をしたときに、入れた方がわかりやすいんじゃないかといった議論もありましてですね、本来であれば、その辺の                             |
| 0:40:11 | 流れをしっかりと、私がコントロールして、この事例の整理の中にしようというふうに言うべきだったんですけども、私自身も、そういった意味ではですね、                           |
| 0:40:23 | その変な作り込みに対して、   |
| 0:40:28 | 歯止めをかけるようなこともできずにですね、作ってしまったとだからイダしたっていうのは、当然この設計の中身を知ってる人間が話をしたんですけども、                           |
| 0:40:38 | 私がそこを   |
| 0:40:43 | どうしてしまったというのが実態でございます。  |
| 0:40:47 | あります。   |
| 0:40:48 | 蘇武です。   |
| 0:40:49 | 清水さんは、  |
| 0:40:53 | ん時に何をしてた。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:40:56 | はい。日本原燃清水です。この時にですねすいません。私がですねちょっと、   |
| 0:41:03 | 代表の方の資料の方をちょっと整理していたので、すいません。関与が十分できてなかったのは、すいません、反省点です。はい。                                       |
| 0:41:13 | コサクですわかりました。  |
| 0:41:16 | そうですね。  |
| 0:41:20 | なんか、全員が、  |
| 0:41:23 | 片手間になっちゃって、しっかりと一連ミイてないっていうのは、  |
| 0:41:30 | 本当によくないなあと思います。   |
| 0:41:33 | 対やっぱり   |
| 0:41:39 | それぞれが結局、  |
| 0:41:42 | こういうことを説明しなきゃっていう視点はとても適切なんですけど、  |
| 0:41:48 | それをじゃあどう表せばいいかっていう時にもう整理されているのにもかかわらず違うことになっちゃうのは、そもそもノモトの整理の考えなり、どこで何をすればいいのかっていうこと認識がやっぱり甘いん。   |
| 0:42:02 | ですよ。  |
| 0:42:03 | ええ。   |
| 0:42:06 | 他の業務とかでもよく思うんですけど、整理してあるものをまたないが、ないがしろにしてっていうか、理解せずに違うことをやっちゃうと、どんどん崩れていって、せっかく整理したことが台無しになるんですよ。 |
| 0:42:21 | それって無駄作業って、私は思う。  |
| 0:42:24 | ですね。  |
| 0:42:25 | なので、整理したのであるからして、変えたいんだったら、それを変わるんだということをフラグを立ててちゃんと議論しないと、                                       |
| 0:42:36 | サイゼンのつもりでやってるものが全部解約になっていっちゃいますから、  |
| 0:42:41 | ちゃんとステップアップしていくように議論をしていって欲しいと。   |
| 0:42:47 | いうところです。それが   |
| 0:42:50 | 前に話をしたガイド改正も含めて並行してやって、   |
| 0:42:56 | ことになる。  |
| 0:42:57 | よろしく。   |
| 0:42:59 | で、それ先ほど   |
| 0:43:04 | 新居の方からガイド改正について石原さんだけということではなくて話がありましたけど、   |
| 0:43:11 | その点ではアノシミズさんとか、   |
| 0:43:15 | 何名名前なんて言っていないかわかんないですけど、さ、Steeringチームのし、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:43:23 | 次にですね、作業指示なり取りまとめをやっているかた方が、いろいろ話をして、こういうような、                            |
| 0:43:33 | ふうにガイド改正したら回るかなみたいなことは、立案されるのかなと思ってるんですけど。                               |
| 0:43:40 | そういうことでやってますかね。  |
| 0:43:45 | はい。日本原燃清水です。おっしゃる通りで、実務者、  |
| 0:43:51 | との間に入るのは事務局である許認可業務で風当たりJSTのメンバーですので、現場から出た悩み事であったり、異をしっかりと              |
| 0:44:01 | 把握して、イシハラと相談しなIPのメンバーと相談しながら、ガイドなりに反映してちゃんと全体に認識が合うようにちょっと対応していきたいと思います。 |
| 0:44:13 | はい、わかりましたよろしくお願いします。荒井さん、お願いします。はい。                                      |
| 0:44:17 | はい。徳田の前提のところは確認し、  |
| 0:44:22 | 私の方は入れましたけども、オカ規制庁側から、   |
| 0:44:27 | 国とありますでしょうか。   |
| 0:44:29 | 規制庁岡です。ちょっと。   |
| 0:44:31 | それだけ今までさんざんガイドとかMOXレビューとかの話がありました  |
| 0:44:38 | が、今回出てきた資料の、<br>雛形作成者っていうのが対策のところにあってその方が今回の添付書類を、                       |
| 0:44:45 | 作成されたとまずそういう理解でよろしいですね。  |
| 0:44:50 | はい日本原燃の首藤でございます。その通りです。  |
| 0:44:52 | はい。斎藤勝でそのひな型作成者っていうかたはどんな方なのかっていうのが、あんまり書いてないんですが、今回ワダ、どなたが作成されたんでしょう。   |
| 0:45:07 | 日本原燃の石黒でございます。   |
| 0:45:09 | すいませんヒラカタ作成者っていうのは、  |
| 0:45:12 | 個人で、   |
| 0:45:13 | で作っているものではなくて、   |
| 0:45:16 | 私も入っておりましたし、去年業務課の課長エビナか、エビナ部長も、   |
| 0:45:25 | はい。また電力支援者からも入っているということで、その重複数名のチームを指してこのように書いているものでございます。以上です。          |
| 0:45:35 | はい。副長会社ナガタ作成チーム的なものがあってその方々がこの専任レビューチームになって、各資料、                         |
| 0:45:45 | レビューしていくっていうふうに書いてあるんですが、そのチームで、   |
| 0:45:49 | 運用していきますって今のところ対策は、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:45:52 | そう考えてらっしゃるってことですか。  |
| 0:45:56 | はい。日本原燃の石黒でございます。そうですね今名前挙げたメンバー以外にもですね、この作成には関与していて、そのメンバー含めて、はいレビューという形に考えていたものでございます。以上です。 |
| 0:46:10 | はい、規制庁からです。今までのやりとりでまた対策なんかが、   |
| 0:46:15 | 変わってくるでしょうしガイドの関係とかも今回の資料には入ってなくてもしかり   |
| 0:46:20 | ガイドに対しては向き合っ欲しいというところもありますので、そういうところは対策の方でもしかり適正化いただきたいんですが、今回の雛形を作成するときに、                    |
| 0:46:34 | まず、何で間接来をサンプルにしたんでしょうか。   |
| 0:46:40 | 日本原燃の石黒でございます。  |
| 0:46:44 | 反省面飯野代表の理由はですね、大きく二つというふうに私は認識していて、   |
| 0:46:52 | 一つ目は、2月9日前回のヒアリングで、直接コメントをいただいたものでもあるということと、当こちらの資料におきましては、                                   |
| 0:47:03 | これに関連する設備というのが、基本設計方針の中に直接登場してくるものであって、代表になると、いうことはほぼ確実である、あろうということで、                         |
| 0:47:16 | 少しでもですね無駄にならないような形にしようということで、こちらにしたと、いうことでございます。以上です。   |
| 0:47:24 | はい、清町オカです。だから、市共通12の資料す。3のフェーズなんかまでいくと、MOXの方でいうさんざんコウ。  |
| 0:47:36 | 何度か資料を大幅に改定したきっかけにもなっているような   |
| 0:47:42 | 各場で作るんじゃなくてまず施設をベースに、それぞれどんな要件が入ってくるかっていうことが共通中に、   |
| 0:47:50 | 資料3の②の肝みたいになっていて、そういうところが見える様が、結構重要なのかなと思っていてそこが一番遅く、再処理で一番初めに見た時に不足していた、                     |
| 0:48:05 | 竜巻防護対策設備と   |
| 0:48:08 | 耐震の関係、隙間問題ですねそういったところを、霧がキーワードが結構多く出てくるようなそういうものがないのかなと思ったんですが、                               |
| 0:48:19 | 今回も間接来って直撃来からの流れで、年、  |
| 0:48:25 | 示していくようなものを、  |
| 0:48:28 | すごく狭いところをなんか、   |
| 0:48:31 | あと抜き出してしまっていて、かつ他の条文の条件も入ってこないようなところが、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:48:37 | なんでこう、まずひな形になったのかなというところが疑問でしたがその辺いかがですか。                                  |
| 0:48:46 | はい。日本原燃の石黒でございます。  |
| 0:48:48 | おっしゃるように、ひな型ているからには、いろんな要素が入っていて、参考になる。                                    |
| 0:48:56 | バツがですね多く含まれているものというのが、   |
| 0:49:02 | はい。  |
| 0:49:05 | おりるモリナガって  |
| 0:49:10 | ナガタになるべきだと、いうふうに思います。  |
| 0:49:13 | ですので、ちょっと2月9日のいただいたコメントに対する  |
| 0:49:19 | 何ていうか、回答という部分もちょっと頭にあったものですから、このような形にはなってしまったんですけども、その北方というからにはですね、ちょっとはい。 |
| 0:49:31 | 適当な、   |
| 0:49:33 | 設備というのを選ぶべきというふうに  |
| 0:49:36 | 改めて思いましたので、お話するときにはそちらの方にちょっと注力した形にさせていただきたいというふうに思います。以上です。               |
| 0:49:44 | はい。政調会です2月9日という断面で見ても、細かな話なんかはSFの関与とか、結構、                                  |
| 0:49:53 | 各条だけじゃない論点があったようなものも   |
| 0:49:58 | あったので、   |
| 0:49:59 | 雛形を今後ふやしていく中で、記載を整えていくところもあるのかもしれませんが、ちょっと出す。                              |
| 0:50:07 | のは、出す。その目的に、関節ラインっていうのは、   |
| 0:50:12 | あまり合わなかったなっていう印象でした。   |
| 0:50:16 | あとですね、今回   |
| 0:50:20 | いろいろフォーマットが変わっていて先ほどからあった通りなんですけど  |
| 0:50:25 | MOXの方の共通12の資料3つっていうのをしっかり見て作ってますでしょうか。一番大きな疑問点がそこだったんですが、                  |
| 0:50:37 | はい。日本原燃の石黒でございます。  |
| 0:50:41 | ボックスの資料を見ているかと言われればイエスです。そこで   |
| 0:50:49 | 前段で、全体がわかるような説明をしっかりとした上で、それぞれそこから展開する形で、                                  |
| 0:50:56 | 何ていうか、それぞれ出てくる登場人物に対して丁寧に説明していると、  |
| 0:51:03 | その辺の構成はしっかりと   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:51:07 | 再処理でも募集しないといけないというふうに思ったんですけども、そんな中身の方に注力していて、そもそもその前段がどうだといったところまで、知久順子できてなかったというのが反省点だというふうに理解してます。以上です。 |
| 0:51:22 | はい。規制庁甲斐です。例えば、4 ページ目の目次、なんかもうフォーマットが、   |
| 0:51:27 | まず全然違って、記載している内容が、   |
| 0:51:32 | 違うと。   |
| 0:51:34 | いうことは認識されてますか。   |
| 0:51:37 | はい。日本原燃の中央大学、はい認識しております。ちょっとすみません。   |
| 0:51:44 | 本来なら、上流から降りてきて目次を作って、その目次を、に合わせて、  |
| 0:51:51 | 目次の順番です、整理した形で説明するものだったんですけども、ちょっと中身に引きずられたような形になっていてですね。  |
| 0:52:01 | 従来の枠組みと違うというのは   |
| 0:52:03 | 認識しておりますし、   |
| 0:52:05 | 議会に提出する時にはこの辺は、元の形に元の形というかあるべき姿に戻したもので、お出しできると思います。以上です。   |
| 0:52:14 | はい。規制庁菅です。次の段階というかつ、   |
| 0:52:19 | はい。衛藤。   |
| 0:52:22 | 6 ページ目カラーのところも、今までのMOXで見えてきたような、   |
| 0:52:29 | す。   |
| 0:52:32 | フォーマットとはやっぱり全然違ってですね今回はわからなかったのがまず第1黄色の枠と緑色の枠と緑の点線枠みたいなのがあって、それぞれ、   |
| 0:52:44 | 何を説明するのかっていうことが、   |
| 0:52:47 | 使い分けみたいなのからまずわからなかったんですが、これらって何か考えがあってやってるんでしょうか。  |
| 0:52:54 | 日本原燃の首藤でございます。すみません冒頭で説明すべきだったと思います。   |
| 0:53:00 | オレンジの枠というのはですね、そのシートで、   |
| 0:53:05 | 何を説明しようとしてるのかというものを、一般的に、コウということで、   |
| 0:53:13 | 話の中身で十分入り込んではないかもしれないですけども、そのシートの目的を書いているものになります。  |
| 0:53:21 | 緑につきましては、こちらは上流から来た、   |
| 0:53:26 | 説明すべき事項に該当すると。ただ、この  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:53:30 | 6 ページの緑のやつは完全にちょっと間違いでして、これはちょっと緑の枠にすべきものではないというのはい。提出した後、認識したものでございます。           |
| 0:53:41 | この波線のものにつきましては、これはMOXの  |
| 0:53:46 | 会合資料の中にも波線というのはあったかと思うんですけども、こちらは、  |
| 0:53:53 | 何て言いますか。  |
| 0:53:54 | 補足的に、   |
| 0:53:57 | さらに拡充している中身で  |
| 0:54:02 | この緑の線で直接、説明清木事項等、ちょっと   |
| 0:54:08 | 峻別するような形で、追加の説明事項というような扱いで記載させていただいてるという認識で作っておりました。以上です。                         |
| 0:54:17 | はい。規制庁加賀です。わかりました。MOX側はどういうふうにしてるかっていうのは緑の点線は、今説明がありましたが、オカ、                      |
| 0:54:27 | は、認識されてますか。   |
| 0:54:37 | 例えば、大体で囲ったものを、MOXのはどこで表現してるのかどういふふうに表示してるのかっていうのが、今、認識されてますか。                     |
| 0:54:52 | はい。すいません。   |
| 0:54:55 | 日本原電の石黒でございます。  |
| 0:54:57 | このオレンジのものにつきましては、   |
| 0:55:01 | ボックスで、このような、  |
| 0:55:04 | 形式で表しているものはないというふうに思ってます。ただちょっと、いや、乳井ニシナです。目次ですね。久慈。                              |
| 0:55:17 | それぞれのシートがあるんで、その目次で何を説明したいかがわかるように、目次を作っていて、その目次の中でもリンクを図ってそれぞれどういう関係性かがわかるようにして、 |
| 0:55:28 | プレゼンシートはシステム設計のシステム設計の条文要求との関係を示すと。   |
| 0:55:34 | 構造設計も同じように、要求事項との関係で何を行動設計としてやっているかを示すということです。                                    |
| 0:55:42 | はい。政調会ですイシハラさんのその知見が、   |
| 0:55:48 | ちゃんと説明されるように、皆さんがちゃんと説明されるようになっていたいただきたいなというところで、伺いました。あと緑色の枠も、                   |
| 0:55:57 | 同じくでして、ちゃんとリンクを取って目次とリンクを取って、   |
| 0:56:02 | 番号が振られていて、だからこのページで説明されているものは、まずここを読んでくださいがわかるように、                                |
| 0:56:08 | 構造的に、体系だって、作られています。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:56:14 | まずその辺は、MOXをしっかり読み込んで、  |
| 0:56:19 | どういう構造になってるから、それぞれという役目があって、ここでなんで、  |
| 0:56:27 | 例えば緑の点線は何でここで必要なのか、っていうことをちゃんと理解した上で、  |
| 0:56:34 | 記載していただくと、大分   |
| 0:56:39 | いいのかなと思ったんですがまずその辺の認識から始めるところだと思います。   |
| 0:56:45 | いかがでしょうか。  |
| 0:56:50 | はい。日本原燃の資料でございます。  |
| 0:56:53 | はい。すいませんCSコウまでちょっと認識していなかったというのが、ここで秋葉さん、しまったんですけれども、おっしゃるように、この破線のところの意味合いですね。            |
| 0:57:03 | これは、なぜ必要というふうに考えたかといったところが、しっかり整理された形で示さないといけないというふうに思いましたし、そこから始めないといけないっていう、コメントに対してははい。 |
| 0:57:15 | その通りと思いますので、   |
| 0:57:19 | しっかり   |
| 0:57:20 | 認識した上で、資料に反映していきたいと思います。以上です。  |
| 0:57:26 | はい、規制庁課です。あとちょっとこれ、オンラインというかなんです   |
| 0:57:33 | この間雪害対策に対して、ちょっとし、一番最後の方 2、前回までお出ししていたものみたいなものはついてるんですが、                                   |
| 0:57:43 | ここに対して、こちらからコメントした内容って、どんなものだったか覚えてますか、共通 12 の資料として、こういうところが不足してますっていうし、コメントをしたんですが、       |
| 0:58:13 | 日本原電シミズです。23 ページ、通しページで 23 ページ見ていただきますと、前回までは、左上の青ボックスでですね、                                |
| 0:58:24 | ちょっと文章もちょっといろいろまぜこぜでちょっと伝わりにくい文書になってましたけど場合分けの考え方を変えたのを、しっかりですね、一つ一つの緑の設計として説明するところの中でですね、 |
| 0:58:36 | どういう場合はこういう設計を使い分けてるっていうのをしっかりそれぞれに適切に書いてって、わかりやすくするというのが、本来やるべきことができてなかったという認識でございました。    |
| 0:58:47 | はい、規制庁岡ですコメントの趣旨はそういうことで、こうやってこう一つの対策で複数のコウ、   |
| 0:58:57 | 施設なんかを使って対策を変えた場合、例えば、それぞれがどんなときに、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:59:03 | どんなときを、そういう対策をしなきゃいけない、その対策はこういうものを使うから大丈夫ですっていうのが、  |
| 0:59:14 | 共通 12 の資料 3、   |
| 0:59:17 | 申請書の添付書類で説明すべきことが、そういうことなんだと思ひまして、そのメカニズムなんかも補足的に書いてもらおうと、だから大丈夫ですっていうことが、一貫して共通住民の中で見えてくれば、       |
| 0:59:30 | いいと思っていたんですが、今言ったような話は、今回の会、改定された資料のどこに記載されてますでしょうか。   |
| 0:59:43 | 日本原燃の石黒でございます。   |
| 0:59:47 | 我々が入れたつもりとってるページとしましては右下、  |
| 0:59:52 | 9 ページ、これアナログとデジタルそれぞれ違うページに分けて、  |
| 0:59:59 | 9 ページですと、ちょうど上から二つ目に緑の枠があるんですが、それぞれ  |
| 1:00:07 | どのような経路で放置するのか、そのためのその設備は何があるのかといったところ、順番ですね、①②③④というふうに言って、  |
| 1:00:20 | そのメカニズムといいますか、   |
| 1:00:24 | 対策の目的等の中身っていうのを説明しているという認識でいたと言うのが   |
| 1:00:32 | 我々認識でございます。  |
| 1:00:34 | はい。規制庁岡です。はい。この場合、アンドウの関係になりますか、ORがありますか。  |
| 1:00:45 | 日本エリアでございますこれも関係成立するところがあるので、多分、ディストリビューターを変えてくれということも、ディストリビューターの構造によってアイソレータをつけるつけないっていう選択が出てくる。 |
| 1:01:00 | から書いてくれてるんだと思ってます。これは素案機はorはあまりなくて、制御建屋と各建屋を結んでいる信号系のケーブルがあれば、                                     |
| 1:01:10 | とにかくそれがアナログだったりとかするんであれば両者に、制御建屋側、各建屋側に保安器をつけると。   |
| 1:01:19 | 選択肢が出てくる場合増えたかなと、ここで   |
| 1:01:24 | 労働間に出てくるレーザーみたいなものが、アイソレーター。   |
| 1:01:30 | じゃなくてですねディストリビューターに影響を与えたときに、警報の信号が出てこなくなるというのは困るので、ここで電氣的な遮断をしたいと、いうことでそれは、                       |
| 1:01:41 | ディストリビューターとかの構造とかを踏まえて、電氣的に遮断できないような構造であればつけないし、そうでなければつけるということの選択肢が出てくるということだと思っています。             |

|         |   |
|---------|---|
| 1:01:53 | はい。正当化で説明ありがとうございます。そういうことが示され、まず複数対策がある場合はその関係がアンドウになるのかお会いになるのか。                              |
| 1:02:03 | こういう場合につけるっていうふうに説明するだけだと、それは、こちを付けたらこちをつけなくていいみたいなものも発生するので、                                   |
| 1:02:13 | その関係が明らかになるようにしてくださいっていうコメント。   |
| 1:02:18 | でしたのでこういうこれをサンプルとして行っただけで、こういうところはいろいろあると思うのでそういうところをちゃんとアンドウの関係なのかわの関係なのかはだったらどういう場合に、         |
| 1:02:29 | コアになるのかっていうところを、明記してくださいねっていうことが、このコメントの趣旨でサンプル的な趣旨です。  |
| 1:02:38 | そこら辺理解されてますでしょうか。   |
| 1:02:46 | 日本原燃の石黒でございます。  |
| 1:02:49 | 素行は前回おっしゃっていただいたことに、  |
| 1:02:53 | 飛んで   |
| 1:02:55 | 理解している。   |
| 1:02:57 | どの認識でこの資料はちょっと作っていたと思いますちょっと私の理解不足で、アイソレーター、  |
| 1:03:06 | つける。  |
| 1:03:07 | 付ける&Dつけるものだというよりちょっと私が誤解していた。   |
| 1:03:12 | それじゃ、どうなんだ。   |
| 1:03:15 | 0人かい。   |
| 1:03:16 | 謝るにで、どうか知らない場合に備えて、もうつけるものだというふうに私は思っていたので、   |
| 1:03:22 | 付けない場合があるっていうのが、ちょっと私は思ってなかったもので、すみませんアノアンドウと思って、こんなこと書いていただくのが私、今の、ちょっとそこは改めて確認させていただきたいと思います。 |
| 1:03:33 | はい。安重に対してはそれだ。  |
| 1:03:38 | 全部つける。  |
| 1:03:40 | んじゃないですか。日本イシハラでございますちょっと報告書を、うちの人間がまず読んでもらうということとそこでもおっしゃったように対象を結局付けるという結論になってたか。             |
| 1:03:54 | 安重だけでもその周りの、ちょっと結局ディストリビューターから信号を分岐して警報に行くので、この警報が、電位差でして、電車から来る呉カワセテライの影響で、                    |

|         |   |
|---------|---|
| 1:04:06 | 電氣的信号をどっかで遮断できるのであればアイソレータわざとつける必要はないのかなっていうような話は報告書上書いてっていうところには何を付けますっていう選択肢も書いていたはずなので、かつ、             |
| 1:04:17 | ガイドデータを結局何個つけるんだっていうのも確定して、作業アノ設計はしているはずなので、そういうところも含めて、書き合わせていけばいいのかなと思ってました。                            |
| 1:04:27 | はい。規制庁加賀です。その辺の事実関係はちゃんと確認した上で、わかるように記載していただきたいというところで、この①から④をちゃんと書いてもらったんですが、この関係がアンドウなのかわなのかっていうところまでは、 |
| 1:04:43 | 多分か記載されてないという認識なんですけどどこから読めるんだ。   |
| 1:04:54 | はい。日本原燃の石黒でございます。   |
| 1:04:57 | そうですね。明示的にはかけてなくて、以下の対策を実施するっていうふうにしか書いてなくてですね、以下の1から4に対してすべて実施するとかですね、すべてすぐならすべてする。                      |
| 1:05:09 | 選択肢あるなら選択肢があるというようなものは、明示的にわかるような記載に、そもそもこれがどっちであろうとですね、すべきかなというのをちょっと反省しております。以上です。                      |
| 1:05:22 | はい。規制庁岡です。そういったところを全体的に網羅的に見てくださいなねのコメントでしたので、そういうところをちゃんと  |
| 1:05:31 | わかるようにしてください。まずは、今回の資料で気づいたところはそういうところなんですけど、あと、  |
| 1:05:41 | 補足説明資料的な、その緑の点線でつけてもらってるようなところは、本当に   |
| 1:05:50 | 設備の機能を担保する。   |
| 1:05:54 | 上で必要な説明。  |
| 1:05:57 | 選定されているでしょうか。   |
| 1:06:11 | 日本原燃の首藤でございます。この破線のところで、いくつか構造、書いてますけれども、   |
| 1:06:18 | こちらについては、汎用品のものも入っていて、  |
| 1:06:25 | わざわざこれを説明しないと担保されないかっていうと、  |
| 1:06:29 | 決してそうではないものも含まれているので、そういう意味では、  |
| 1:06:36 | ちょっと説明しなきゃという気持ちが強すぎて、必ずしも、このレベルの説明までは、   |
| 1:06:43 | いらないというふうに、今思いですね、考えるようなものまで含まれていたのかなというふうには思いますので、その辺はしっかりと  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:06:54 | 個別に判断した上で野瀬野瀬ナイトウというのを決めていきたいというふうに思っております。以上です。はい。規制庁甲斐です。一方で、その共通 12 としてのシナリオで、非最小必要な      |
| 1:07:08 | 原理等でこういうことが担保できますということが必要で、  |
| 1:07:12 | かつ、その構造とかが、  |
| 1:07:19 | 補足説明資料の方で今までも説明いただきましたとかそういうふうに動い、   |
| 1:07:26 | 方とかですね、そういったところで、東京ツジの本文側で、  |
| 1:07:32 | 説明が必要なところは、下こっちに書いて、   |
| 1:07:37 | さらに深追いた構造機構っていうのを補足説明資料で説明して、まずそういうその、   |
| 1:07:44 | それぞれの役割みたいなものをしっかり考えていただいた上で、共通 12 としてもし、まずシナリオをしっかり考えてもらう。                                  |
| 1:07:54 | で、そこに対して、補足でどういうものをつけたら、より具体的にわかりやすいかということをしっかりつけてもらうっていう、                                   |
| 1:08:02 | 今はシナリオがあんまり見えなくて、  |
| 1:08:07 | バラバラとこう情報が集まってあるような状況なんで、そういうところを少し考えてもらった上でひな形作ると、他の  |
| 1:08:16 | ところで展開するときも、   |
| 1:08:19 | 本文で書くべきことを補足説明で書くべき等々の程度感というのがわかってくるんじゃないかなと思いますので、そういうところはしっかり目を入れて、レベルチームで検討していただければと思います。 |
| 1:08:32 | 日本で前の石黒でございます。そうですね。資料 3-2 で、  |
| 1:08:37 | 規制すべき中身というのは、  |
| 1:08:40 | 担保する事項で、   |
| 1:08:42 | 同じような設備がたくさんあったとして、それは補足の別紙 1 にあるっていうのは、   |
| 1:08:49 | その担保されているものの確認というような形になるのかなというふうに思っておりますので、しっかり技術基準適合性を担保するものについて入れるといったところ、それまでちょっと、        |
| 1:09:01 | ちょっと意見が違うところもあるかもしれませんが、レビューチームの中でですね、議論して、  |
| 1:09:07 | 統一的な見解というなかなか難しいかもしれませんが、一定のですね、レベル感でしっかりと見ていけるようにしたいと思います。以上です。                             |
| 1:09:16 | はい。規制庁甲斐です。そういったところをヒアリングで認識を合わせていくっていうプロセスもありますので、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:09:23 | むしろヒアリングはそういうところの認識合わせが結構重きを置いていますのでこちらを確認して、わかりづらいなと思ったところはこういうところも本文側に入れたい。糸井。          |
| 1:09:34 | いませんねと、そういうことで、MOXもずっと進めてきたという経緯がありますので、そのMOXの知見も踏まえ、しっかり書き分け等の考え方を、                      |
| 1:09:45 | 整理していただければと思います。  |
| 1:09:50 | 無限でシバです。一ついたしました。   |
| 1:09:53 | はい。室長課です。とりあえず、あとは、先ほどから話題に上がっていた資料2とか、資料3の①っていうのは、こちら資料3の②がかなりいろいろ、                      |
| 1:10:08 | 検討されたということですが、  |
| 1:10:10 | フィードバックってかけられてんですか。   |
| 1:10:18 | 日本原燃の首藤でございます。  |
| 1:10:21 | 現時点ではですねまだ、はい。フィードバックかけているような状況にまでは至っていないという認識です。   |
| 1:10:29 | はい。伊佐医長わかりました。そういった、  |
| 1:10:32 | 資料2から丁寧に展開して資料301、資料3②で、どういうことを示すかっていうところをやはり丁寧に、一つ一つ、                                    |
| 1:10:43 | サンプルがあって初めて共通12の体系で、基準適合説明するんだと思いますので、ひな形で資料3-②だけ出すってよりは、ナガタがやっぱりそういう                     |
| 1:10:55 | 上流はこういうことあるから、ここまで全部で基準的に移ってきますような、わかるようなものになってなきゃいけないだろうなと思いますので、資料3-②だけで議論するような話ではないので、 |
| 1:11:07 | そこは、また社内で検討いただければと思います。   |
| 1:11:14 | はい。日本原燃石黒です。ありがとうございます。承知いたしました。  |
| 1:11:18 | はい、規制庁オカダです私から以上です。   |
| 1:11:21 | 補足です。   |
| 1:11:23 | 今のナカの話で映していただいている9ページ、通し9ページで言う、  |
| 1:11:31 | 色つきの話だったり、どこに何を書くべきかっていうことは話し合ったんですけど、  |
| 1:11:37 | すごいアノ田井サノシバないんですが、  |
| 1:11:41 | これ、   |
| 1:11:42 | 元の資料でよくあるんですけど、   |
| 1:11:46 | 枠の中に文書だらだらと書いていて非常にわかりづらいと。   |
| 1:11:51 | ということでこれ、図じゃないんですか、パワポって図ですよっていう。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:11:57 | 呉のを、  |
| 1:11:59 | うん。   |
| 1:12:00 | うまく書けてない。   |
| 1:12:02 | 円形かな。   |
| 1:12:03 | 逆にその対策しやすい、ちょうど0かなと思っていてですね。  |
| 1:12:09 | 緑四角の①②③④っていうのはその下にある図の中での①②③④と対応していると思うんですけど、   |
| 1:12:20 | これでしかも書いてる内容がある。  |
| 1:12:24 | 見ているけども、違って見たい違ってちょっとあれですね制度が違ってということなんですかこれ両方を書かないといけないもんなんですか。  |
| 1:12:44 | 陶芸のイシグロでございます。  |
| 1:12:47 | そういう  |
| 1:12:51 | 効果がないといけないってことで全くなって、おそらくですけど、この上の方には、端的にどういったものがあるかっていうものを書いた上で、   |
| 1:13:03 | それぞれのところで、  |
| 1:13:05 | 詳しく書くという方が見やすいかなというふうに思いますので、   |
| 1:13:11 | ろう者に何か  |
| 1:13:14 | 同じような記載に見えるようなものですね、同じ云々で書かれていると、   |
| 1:13:21 | ちょっと数字を見にくいし、どっちが正しいんだろかみたいな見方もしてしまいますので、その辺は工夫の余地は大いにあると思っておりますし、ちょっと今後も   |
| 1:13:33 | それを意識して、作り込みをしたいと思います。  |
| 1:13:37 | はい。補足です。そもそも上に書く意味ありますか。  |
| 1:13:44 | を書いたように、  |
| 1:13:47 | 目次だったり  |
| 1:13:51 | ①の方から受けることっていうのは、しっかりとまとめて書いていただかなきゃいけないんですけど、  |
| 1:13:58 | 現状コウノ 0102030 って書いとってそのレベルじゃないような気がしてて、   |
| 1:14:04 | だとするとその上に書く必要があることじゃないんじゃないかなと思って、下の中にちゃんと溶け込ませばそれで十分というような気がするし、その上で、まとめて書かなきゃいけないところには大岡が言ったようにソウノandアノ関係とかですね。 |



|         |   |
|---------|---|
| 1:14:20 | 全体としてどうなんだっていうことは示さなきゃいけないっていうことだと思うので、   |
| 1:14:24 | 図として表す時に、どう、  |
| 1:14:28 | 各党完璧に見やすいかと。  |
| 1:14:30 | いう視点は常に持ってもらいたいなと思います。文章書き込めばいいってことじゃ、全く持ってなくて、例えば書き込むほどわからなくなるんで、                |
| 1:14:40 | その点も念頭に置いていただければと思います。以上です。   |
| 1:14:47 | はい、イノウエニシウラでございます。ありがとうございます。承知いたしました。  |
| 1:14:55 | はい。規制庁荒井ですけど。   |
| 1:14:58 | 私から 1 点ありまして、   |
| 1:15:01 | この間接来の対策の中で、  |
| 1:15:05 | システム設計構造設計っていうところが通しの 5 ページ目。   |
| 1:15:10 | か。  |
| 1:15:12 | 4 ページ目と 5 ページ目にあるんですけど、   |
| 1:15:15 | 配置設計って、   |
| 1:15:17 | 書き起こさなかった理由ってあるんですか。  |
| 1:15:29 | 日本原燃の石黒でございます。  |
| 1:15:33 | 資料 2 ではシステム設計しかで表すという形にしている、  |
| 1:15:40 | そこで出てきたもの。  |
| 1:15:43 | いっばいして、すいませんコサクです。  |
| 1:15:46 | ちょっと今の説明がよくわからなかったんですけど、資料 2 ではシステム設計で表すことにしてるけど資料 3 ではシステム設計と構造設計にして配置設計はありませんと。 |
| 1:15:58 | いうことを今言われたように思うんですけど、根本的に間違ってますよね。  |
| 1:16:04 | それは資料にフィードバックをかけてないからまだそういう状況だということ。  |
| 1:16:14 | 私の疑問が伝わりましたかね。  |
| 1:16:18 | すみません、少々お待ちください。  |
| 1:16:21 | これは規制庁の荒井ですけど、昨年ぐらいからは、間接来の対策として、電气的分離ではなくて物理的分離の話もあったような気がしてそこで配置設計の話も出てきた。      |
| 1:16:35 | と記憶しているんですけど、なぜここにはないのかなって単純な疑問なんですけど。  |
| 1:16:49 | うん。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:16:50 | 日本原燃の一色でございます。すいません意図がわかりました。すいません今回、雛形と言いながらですね、                                     |
| 1:17:00 | 分離設計のところについては、  |
| 1:17:03 | 入れられて、  |
| 1:17:06 | ないという状況の中でなんでありますんで、そこで配置設計ってのが出てるので、   |
| 1:17:13 | すいません配置設計というのは  |
| 1:17:16 | 本来なら登場させないといけないものになります。そこまでの資料の作り込みができてなかった結果、  |
| 1:17:26 | 解析がないという見方になってしまっていると。  |
| 1:17:29 | というのが実態でございました以上です。   |
| 1:17:32 | そうすると先ほどの回答。  |
| 1:17:34 | とはますます関係が、意味がわからなくなってしまって、  |
| 1:17:38 | 結局、後者だということなんですかね。  |
| 1:17:45 | はい。日本原燃清水です。すいません。市も、今回お出しした資料の関節ラインの設計のところをですね全般を述べているわけではなくてですね、ちょっとすいません。用意できたところ、 |
| 1:17:59 | おびポイントにちょっと、  |
| 1:18:01 | 部分的に抜き出してちょっと出しているんで、   |
| 1:18:04 | ちょっと今のようなお話になってるという理解でして本来は当然ケーブルトレイの部分になりますので、設計においては配置設計がおっしゃる通り必要になります。            |
| 1:18:16 | 河合。   |
| 1:18:17 | そういうできるところとできてないところっていうのを、あらかじめ具体的に示していただかないとやっぱり、最初のヒアリングの目的とかそういうところにも、             |
| 1:18:28 | かかってくるのかなと思いますので、しっかりと今後適切な対応をお願いしたいと思います。  |
| 1:18:37 | はい。日本原燃志水です。了解いたしました。   |
| 1:18:40 | コサクです。今みたいな状況で、何がひな形なんだっていう気がするんですけど。   |
| 1:18:48 | そもそも雛形どう進めるつもりだったんですか。  |
| 1:18:58 | 抜けるようにしてございます。  |
| 1:19:04 | うしナガタた。   |
| 1:19:06 | ウタになってるからあれなんですけど、イシタ型、   |
| 1:19:10 | ちょっと確かに出てきてないところがあって、一方で作り込んでいるところをアノとつもりなってるところもありましたので、                             |

|         |   |
|---------|---|
| 1:19:20 | その辺をしっかりと今、   |
| 1:19:24 | できてない、資料 3-2 が数ありますから、そのの、  |
| 1:19:31 | エンジンというか、にしようとしていたんですけども、至急、  |
| 1:19:35 | 雛形をしっかりと作り込んだ上で、展開できるものにしていかないといけないという認識でございます。以上です。                |
| 1:19:46 | ごめんなさい。どうするつもりだったんですかなので、   |
| 1:19:51 | 表を踏まえて、是正をしていかなきゃいけないっていう方向性の認識ではなくて、                               |
| 1:19:58 | 回答が即効期待てるわけじゃなくて、   |
| 1:20:01 | どうステップを踏んでやるつもりだったのか。   |
| 1:20:05 | できが悪いできが悪いと思ってなかったもので、これでまとめて展開するつもりでしたっていうのが、                      |
| 1:20:12 | まず、   |
| 1:20:13 | 今日始まる前の認識ですか。   |
| 1:20:18 | 日本原燃の首藤でございます。  |
| 1:20:23 | 厳密に言うと、提出した時点での認識はそうでした。ただ提出した後にいろいろとフィードバックをいただきながらですね、ヒアリングの画面では、 |
| 1:20:34 | これじゃいけないなという認識の上で今回ヒアリングをに臨ませていただいております。                            |
| 1:20:41 | はい、わかりました。そうすると、ヒアリングに臨むにあたりどうしようと思っていたか或いは、ここまでの話を踏まえて             |
| 1:20:50 | 今後どうしようと思っているのか。  |
| 1:20:53 | について説明してください。   |
| 1:20:56 | 日本原燃の首藤でございます。  |
| 1:20:59 | まずう。  |
| 1:21:01 | 雛形という、  |
| 1:21:03 | 意味ではですね。  |
| 1:21:06 | ナガタ 2 ある。   |
| 1:21:08 | 対象をまず設定しないといけないというふうに思います。  |
| 1:21:12 | その対象を設定した上で、そこで   |
| 1:21:16 | 先ほどから議論なってることの繰り返しになってしまって恐縮ですけども、資料 23-1、目次構成。                     |
| 1:21:25 | 書くべき事項は何かといったところ、どのような、図に対してもカドノ程度のコウダと見やすいかといったところも含めてですね。         |
| 1:21:36 | アンドウアノ負話も含めてですけども、  |
| 1:21:40 | 今まで我々がヒアリングを通じてた気づき、作業された気づきもですね、                                   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:21:47 | 雛形の中に盛り込む形で、   |
| 1:21:52 | もう一度ちょっとまた規制庁さんに見ていただかないといけないかなと思うんですけども、この並行してそれを社内に展開して、残りの、     |
| 1:22:02 | 設備に対しても、適用できるようにしっかりとレビューをしていかないといけないと。                            |
| 1:22:08 | いうふうに考えているところでございます。以上です。  |
| 1:22:15 | ごめんなさい。  |
| 1:22:18 | 私の発言が悪いのかな、どういうステップを踏んでやっていくつもりなのかというのを聞いたつもりだったんですけど。             |
| 1:22:30 | 日本原燃の首藤でございます。   |
| 1:22:32 | ステップという意味では、   |
| 1:22:35 | 要は   |
| 1:22:36 | まずしっかりと  |
| 1:22:38 | なかったと。もちろんMOXでも雛形があるので、作業のブラッシュアップそのものは、話もできないってわけじゃないんだと思うんですけども、 |
| 1:22:48 | 採算処理としてどうかという意味ではですね、グループ1ねしっかり雛形を作って、                             |
| 1:22:57 | それを我々の言葉で展開していかないといけないというふうに思いますので、つくった作るというのがまず最初にあって、            |
| 1:23:07 | そこから、  |
| 1:23:10 | 一定期間をとってですね、レベル、   |
| 1:23:14 | 依頼してレビューしていくというようなステップになるんだというふうに理解をして、そういう認識でおります。以上です。           |
| 1:23:23 | 古作です。今の話の雰囲気からすると、雛形を作るにあたって、今回は失敗はしているものの、                        |
| 1:23:37 | 今日の話の踏まルートを社内でちゃんと、  |
| 1:23:42 | コミュニケーションをとれば、やれるはずと。  |
| 1:23:47 | ガイド改正っていうのも含めて念頭にということだからそこまで含めて社内でしっかりやって、                        |
| 1:23:56 | その仕上がりを我々は見て、認識合わせができれば展開をするというぐらいのステップでいけそうだと、ということですかね。          |
| 1:24:08 | はい。日本原燃の石原です。  |
| 1:24:10 | はい現時点ではそのように考えております。以上です。  |
| 1:24:15 | はい。補足です。そうすると、   |
| 1:24:18 | 先ほども少しありましたけど雛形何すんのっていうのが非常に大事になるような気がしていて、                        |

|         |  |
|---------|--|
| 1:24:25 | MOXではできたけど再処理はできなかった、なぜできなかったのか。                                 |
| 1:24:30 | 再処理の特徴を踏まえたところがうまくガイドとして反映できてないんじゃないかと。                          |
| 1:24:35 | というようなことを拾い上げておかないと雛形の意味がないと思うんですけど。                             |
| 1:24:40 | その辺りは大丈夫ですか。   |
| 1:24:47 | 日本原燃の石黒でございます。雛形。  |
| 1:24:51 | S谷ナガタというのは、すべての項目が入ってるということだとは思ってますけれども、                         |
| 1:24:58 | そのひな型選びで時間を費やさせないかというふうにもちょっと気持ちとしては思っております、                     |
| 1:25:10 | 防護対策です。  |
| 1:25:12 | すいませんそこについてはですねまた、社内で議論をして、速やかに決めるような形にしたいなというふうに思います。           |
| 1:25:21 | はい、そのコサクです。わかりました。   |
| 1:25:27 | うん。一発で、全員が満足するようなガイドに、   |
| 1:25:33 | シェア、改正するというだけでなくもいいとは思っているので、                                    |
| 1:25:41 | その潰し込みができるようになっていう検討またワンステップ入れるっていうところまでしなくてもまあいいですけど、           |
| 1:25:49 | そうはいつでもさ、オープンからも言ったように、  |
| 1:25:54 | コウ令和   |
| 1:25:55 | ランプはその種期待にこたえてますっていうときに、ヒラカタが 10%とかだと、さすがに残り 90%のニイツがある人たちにとっては、 |
| 1:26:06 | 何も期待値に答えてないっていうことになっちゃうので、                                       |
| 1:26:10 | 最低限 60%ぐらいは対応して欲しいなど。  |
| 1:26:15 | 私がおの後の台風だったら思うので、  |
| 1:26:19 | そのあたりぐらい最低限思いつくところをピックアップしてやっていただいたらいいかなというふうには、                 |
| 1:26:28 | ええ。  |
| 1:26:29 | またその先ほどぐらいかかるのかっていうのを見積もっていただいて                                  |
| 1:26:35 | 状況をお伝えいただければと。   |
| 1:26:41 | 日本原燃の石黒柳瀬。   |
| 1:26:43 | 明日、進め方ヒアリングがございますので、   |
| 1:26:47 | そこで何かはい、説明できるようにしたいと思います。以上です。                                   |
| 1:26:56 | はい。きちっとあれです。他、今回のこの  |
| 1:27:00 | 適正化の取り組み方針について、確認等ございますでしょうか。                                    |
| 1:27:10 | はい。そしたら  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:27:12 | 特にもう、伝田部分から、ほぼほぼできてないという話がありましたので、一応振り返りとして、                            |
| 1:27:20 | 今後何をして、   |
| 1:27:22 | どう、今、こういう問題があってこれを是正して今後こういうふうに進めていきますというところを説明いただきたいと思うんですが、いかがですか。    |
| 1:27:33 | 日本原燃の石黒でございます。  |
| 1:27:36 | はい承知しました。   |
| 1:27:40 | 振り返りということですが、まず、ちょっと細かい話ではもうしっかりと1年後で対応するとしてですね、大きなところとしまして、            |
| 1:27:52 | そもそもこのパイロットプロファイルとナガタでやるといったところにつきましてはですね、上流からの流れを組んでいない、               |
| 1:28:02 | 記載の中身につきましても、設技術基準適合性に、   |
| 1:28:08 | 対する担保という観点で、  |
| 1:28:12 | という目線で十分下線が何なりといった整理も、  |
| 1:28:17 | 必要ですし、アンドウアノお話もありますし、   |
| 1:28:24 | 目次につきましても上流からできていないと。   |
| 1:28:27 | 言ったところ、   |
| 1:28:31 | 個別の作り込みに対してもですね、  |
| 1:28:35 | いろいろコメントをいただいておりますので、   |
| 1:28:39 | それに対する対応として、しっかりとある程度全体が見れるもの。  |
| 1:28:46 | コシヒカリ選んでですね、  |
| 1:28:50 | 改めて雛形を作った上で、展開していくと、その辺のちょっと、   |
| 1:28:56 | スケジュール的なところにつきましてはですね、また、速やかに説明できるように、しっかりとスケジューリングしていくと、いうふうにな対応は必要だと。 |
| 1:29:07 | いうふうに考えているところでございます。短いですが以上です。  |
| 1:29:11 | ガイドはどうします。  |
| 1:29:19 | 規制庁のあれですけど、ガイドの話があんまりなかったような気がしたんですけど。                                  |
| 1:29:23 | はい。日本原燃石田でございます。はい。ちょっと先ほどの石黒が言った作業の過程を、一緒になってやりながら、                    |
| 1:29:33 | 再処理としての特徴的なもので、今ガイドで示していることを追加もしくは修正拡充が必要なものをピックアップして、                  |
| 1:29:44 | ガイドに反映していくってその際、北海道、さらにみんな展開をして、それを理解した上で、実際の資料作成に入っていくという流れで作業して、      |

|         |   |
|---------|---|
| 1:29:56 | はい。   |
| 1:29:59 | 他は。   |
| 1:30:01 | 今後の臨む姿勢というところなんですけど、やっぱりヒアリングの目的っていうところを明確にしていかないと、                                   |
| 1:30:10 | お互い時間の無駄とかになりますので、  |
| 1:30:13 | そこは   |
| 1:30:14 | 社内でも、   |
| 1:30:16 | いろいろ連携を図った上でですね、  |
| 1:30:20 | ここはこう説明したりとかはできてないけど、   |
| 1:30:23 | この部分だけは先行して議論したいっていうところがわかるようにですね、あらかじめ情報を  |
| 1:30:31 | なんていうか、伝えていただけると、   |
| 1:30:34 | 伝えていただくようお願いしたいと思います。   |
| 1:30:39 | す。  |
| 1:30:42 | どうぞ。  |
| 1:30:46 | 他は規制庁側から振替等でございますか。   |
| 1:30:55 | はい。本日ヒアリングはこれで終了したいと思います。   |
| 1:31:01 | 録音します。  |
| 0:00:00 | はい、了解しました。  |
| 0:00:03 | 規制庁山口です。それでは午前中に引き続きヒアリングを進めたいと思います。ちょっと出席者変更ありますので、                                  |
| 0:00:11 | 記者の紹介しますと規制庁班長側から、アライヤマグチ、その他WEBからコサクハバサキオオカフジワラ。                                     |
| 0:00:22 | 以上になります。当原燃側にも出席者の変更があれば、改めて説明だとぼぼなメニューの議題の構成について説明をお願いします。                           |
| 0:00:33 | はい。日本原燃事務局の仲間です。  |
| 0:00:36 | 日本原燃の出席者へ改めて紹介いたします。主な説明者といたしまして、イシハラ、あと資料作成メンバーの部隊、そろってございます。                        |
| 0:00:48 | あとMOX及び最初にですね、  |
| 0:00:51 | 事務局含めて許認可含めて、参加させていただいてございます。よろしくをお願いします。   |
| 0:01:00 | はい。逃げる者でございます今日の資料ですが、共通中に、資料 23、   |
| 0:01:08 | 4 サトウ個別補足というものを出しています。今日の説明の順番はまず、  |
| 0:01:15 | 直接共通要因の今の本体側に影響ない関係のないアノイセ 43 から始めて、そのあと、共通 12 の修正箇所を関連する個別補足という流れで説明をさせていただければと思います。 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:01:30 | はい、規制庁ヤマグチですとその順番でお願いしますと、それはまず溢水から、資料の説明と達成目標含めて説明開始してください。                                |
| 0:01:41 | はい。重野イシダでございます。溢水 43 実際は溢水自体は説明グループさんでの説明になりますが、その説明にあたって、                                  |
| 0:01:51 | 各申請開示で分割申請をしますので、何をどういうふうに示していくのかということの前提を、まずは整理をしていきたいということでございます。                         |
| 0:02:02 | この整理に基づいて説明グループさんで、第 2 回申請での申請内容ということ、システム設計構造設計配置設計復命、説明をしていくということで整理を進めたいと思っています。         |
| 0:02:14 | ということで 41043 のレビジョン 1 ということで 2 月 15 日に提出をさせていただいたものになります。                                   |
| 0:02:24 | 特に修正したポイントまでに、右下 3 ページ、2 ポツでございます。  |
| 0:02:30 | ここで溢水に対する基本的な方針ということで、  |
| 0:02:35 | 機能喪失高さを上回らない防護対策設備を講じるということと、あと 1000 限界のヒアリングでもご説明しました特にユニット用核燃料物質、MOXマツオカを取り扱う工程室、これについては、 |
| 0:02:51 | 木製巻と水の生食っていうのを避けるために、SAを極力せせ削減をするということ、あと溢水高さを制限するという、あとは内包する液体を内包する設備を万が一つけなきゃいけない場合でも、    |
| 0:03:06 | 整理しないような、設計上の考慮をすると、というようなことで、設計を実現していきたいということでございます。                                       |
| 0:03:14 | あと  |
| 0:03:16 | 第 1 回で示してます概略評価を示しました屋外の溢水に対しても、必要な高さを開口部の高さを設けることで、建屋内に入らないように設計をするというようなこと。               |
| 0:03:28 | あと前回、話のやりとりをさせていただきました貯蔵大井容器の搬送用道路についても、基本的な考え方をこの右下 3 ページどこに野辺勝、具体的話はそのあたり、                |
| 0:03:40 | ということで見解をさせていただいてございます。   |
| 0:03:43 | はい。   |
| 0:03:44 | 次にですね、PEEK変更したところ、右下 5 ページ。   |
| 0:03:50 | 薄井クボタが、対象設備、これ革新性解除それぞれ出ていきます。それに対して、安全機能を損なわないように、必要な没水等の影響に対して、                           |



|         |   |
|---------|---|
| 0:04:02 | いろいろな高さを考慮しなきゃいけないかとですねこれをちゃんと示していくということとあわせて、概略評価配置も含めた概略評価で、その高さで機能喪失することはないですと。                  |
| 0:04:15 | いうことを示そうということで整理をさせていただきます。   |
| 0:04:20 | 右下 5 ページの一番下側から書いてあるのは、先ほど言った工程室への水の合図ということで、委員会管理上も含めて整理をしていくということを示してさせていただきます。                   |
| 0:04:34 | 続きまして、右下 7 ページの 6 ページからの線となりうる設備の考え方として先ほど申し上げました、  |
| 0:04:44 | 水源となり得る設備については、その下、各申請回次において、応力評価耐震評価をやって、溢水から除外することができるということと、                                     |
| 0:04:54 | 設計として示していくと、テックスで示していくという整理をさせていただいてございます。  |
| 0:05:01 | 右下 8 ページのところは、第 2 表は、前回の説明大変失礼いたしました。蒸気が思いっきり抜けてましたんでこれを足したということと、                                  |
| 0:05:12 | 三階 4 階で出てくる水源についても、今回明示をさせていただいているということでございます。  |
| 0:05:19 | 右下 9 ページのところはエキスパンションジョイント、前回、エキスパートジョイントところの、単純にエキスパンションジョイントでコウ接続してるから入ってこないということじゃないでしょうかということで、 |
| 0:05:30 | どういった構造にしていくことで、それを担保しようとしているのか、また毎日、地下水が流入した場合でも、ピットに集水するということと、検知系でそれを検知可能な状態とする。またたまった水は、        |
| 0:05:45 | 回収できる運用を確保するというような一連の設計の担保を、この銅像もさが説明グループさんで出てきますのでその中で説明をしていくということで考えてございます。                       |
| 0:05:58 | はい。   |
| 0:06:00 | 最後のページに評定ですね、マルとかをしたりしたんですが、  |
| 0:06:07 | 第 4 回申請の 1 セキ及び設置のところ 300 になってますけどこれも本間での申請ですのでここをすいません私どもの動きでございますバリューになると思っております。はい。              |
| 0:06:18 | 説明は以上です。  |
| 0:06:20 | はい、規制中ヤマグチです。説明ありがとうございます。  |
| 0:06:24 | 藤。  |
| 0:06:26 | 前回のヒアリング踏まえてまず MOX における水の取り扱いとして、大枠の方針を述べた上で各申請会議での   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:06:37 | 申請対象設備に対しては概略評価でちゃんと設計の妥当性を示していくっていう方針で認識しました。ぱコウなコメントとしてはあまりないんですけども、                      |
| 0:06:49 | 資料の3ページで、今回追記していただいた内容2ポツですね。   |
| 0:06:55 | 等、  |
| 0:06:58 | 以前からなんですけど、例えば2ポツの二つ目のポツで、溢水水位が高さを上回ることはないように、  |
| 0:07:06 | こういう防護設備の対策を講ずる設計としますって書かれてるんですけど。  |
| 0:07:12 | 全般その没水に対する設計ニシカワ水系しか考慮されてないように読めるんです。   |
| 0:07:21 | 読めてえと被水や蒸気影響に対する防護設計っていうのが、   |
| 0:07:25 | 読めないんですけども  |
| 0:07:27 | 原版そ被水と蒸気に対しての設計でもわかるように、  |
| 0:07:33 | 記載拡充していただきたいんですけども、よろしいでしょうか。   |
| 0:07:39 | はい、浦上志賀でございますありがとうございます前回も総括の話を出したりして説明してましたので、そういったことが読めないというおっしゃる通りだと思います一線として想定しないといけない。 |
| 0:07:50 | 今で言うと、7ページに書いてあるようなもの、これが全般的に   |
| 0:07:58 | グローボックス等を設置する法定数での考え方として影響がないように設計するんだということがわかるように、整理をして記載を整理をして確認をさせていただきたいと思います。          |
| 0:08:10 | はい。規制庁山内です。お願いします。あと  |
| 0:08:14 | 今この同じページで2ポツの、  |
| 0:08:16 | 例えば二つ目のポツ、  |
| 0:08:19 | とか三つ目の普通もなんですけども、   |
| 0:08:22 | 工程室については、   |
| 0:08:25 | こういう設計としてっていうことで主ボデー工程室はっていうことで、始まって溢水に対する設計方針を述べられてるんですけども、一声評価での区分けとして                    |
| 0:08:38 | 対象設備があるところは評価対象区画として価格を設定してっていうことで評価をされると思うんで、ちょっとその工程室等、                                   |
| 0:08:48 | 今回説明してあげてる工程室等の評価で使う溢水評価対象区画との関係性がちょっと不明確で、   |
| 0:08:57 | 溢水評価で、  |
| 0:08:59 | どう扱うか比どう評価するかっていうところでは、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:09:05 | 区画との関係性がわかるように、ちょっと記載見直していただきたいんですけどもいかがでしょうか。   |
| 0:09:17 | はい。弓削ニシダでございますはい。ありがとうございます。承知いたしました確かに今、  |
| 0:09:24 | 工程室自体、徹底的に水を排除しようといったグレードが高いものを、大分足を置いて書いてますので、全体の評価対象がいる部屋に対する、設計の考え方というのを書いた上で、          |
| 0:09:41 | 郷提出に対して特別、これをさらにグレードアップするなり、追加をするなりっていうのはこう考えてますよっていうような書き方で整理をさせていただければと思います。             |
| 0:09:50 | はい。規制庁山梨です。お願いします。ちなみにですけど一応工程室の外にも溢水の防護対象設備があると思う。  |
| 0:09:58 | ありますよねっていう。  |
| 0:10:01 | はい、イナミネ社でございます。アリマでございます前回、口頭ですけどお話しした排風機みたいなものが、地下1階イマセ、これは工程室と関係ない安全の設備ですのでそこに対しても同じような、 |
| 0:10:14 | 設計の考え方をしないとイケないと、それは溢水高さゼロというよりは、機能喪失高さを設定したそれ以上の水位にならないように設計をするということでございます。               |
| 0:10:24 | はい。既設ヤマグチ、同じような設計をするっていうことで、   |
| 0:10:30 | 明確にして記載見直し、  |
| 0:10:33 | よろしくをお願いします。   |
| 0:10:35 | あ、すいません、保坂です。今の関係でちょっと、  |
| 0:10:38 | 石原さんの回答でよくわかんなかったんですけど、  |
| 0:10:43 | この部分の記載って、MOXの特徴を踏まえていうこと。   |
| 0:10:48 | なんですけど、  |
| 0:10:50 | MOXの特徴を踏まえといった上で一般的な対応を書かれると意味がわからなくなって、   |
| 0:10:58 | 特徴を踏まえたところから順々に書いてもらった方が私としてはわかりやすいんですけどわかりました。はい。日本原燃石田でございますそういう意味でいくと、この一つの             |
| 0:11:10 | 特徴を踏まえて言ってるのは、2ポツ目と3ポツ目、あと強いて構造上の一番下これもMOXの特徴かと最初にもう堂々あるんで同じような形かもしれないけども、                 |
| 0:11:22 | そういう特徴的なところをしっかりと述べるということで、  |
| 0:11:27 | 山口さんが言われた共通的なことは、そうですね。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:11:33 | ちょっとパーツを分けて書くか、特徴だけを書くかちょっと考えて、整理したいと思います。  |
| 0:11:40 | はい。コサクです。それも含めて特徴だと思うんですね。  |
| 0:11:46 | 水を排除するっていうことと、それ以外、それより外にある安重については、   |
| 0:11:54 | 制限する。   |
| 0:11:56 | というような古藤じゃないかなと思うんで、  |
| 0:11:59 | そういう構成にな、全体構成してるっていうのを特徴として述べてもらいながら、それぞれの、   |
| 0:12:06 | ベース設計っていうのを行っていただけるといいか。  |
| 0:12:09 | よろしくお願いします。   |
| 0:12:11 | はい。日本原燃石原でございます承知いたしました。  |
| 0:12:16 | 長ヤマグチです。  |
| 0:12:19 | 藤。  |
| 0:12:21 | 確認。   |
| 0:12:23 | んですけども、ちょっと没頭で言ったようにボスC。  |
| 0:12:28 | に限定したような記載になってるか読めないっていうところでの確認なんですけども。   |
| 0:12:35 | 2 ポツの上から二つ目のポツですね、工程室については原則としてきたように、内包する設備は起きませんで、                                   |
| 0:12:44 | 当間設置する場合はまずい制限とならない設計とするかまたは、   |
| 0:12:48 | 機能喪失高さが埋まることない設計とするっていうことがあるんですけどここ、  |
| 0:12:53 | 工程室内に、1 水源がある場合、  |
| 0:13:00 | 猪野。   |
| 0:13:01 | コマタは以降ですね。でも、その被水と蒸気影響に対する設計ってどう考えてるのか。   |
| 0:13:10 | 回答できれば、   |
| 0:13:12 | 説明いただいていいですかそれとも、   |
| 0:13:14 | あれですかね補訂してない被水や蒸気影響が想定される 1 制限はないっていうところで完結してるっていう説明になるんでしょうか。                        |
| 0:13:23 | はい。宮城の石田でございます。そうですね基本、先ほど言うと、7 ページに書いてある大井オクオカ耐震評価で、想定破損地震による破損、                     |
| 0:13:34 | これもにより 1000 円を排除する、ないようにしていくということで、それに伴う被水とかの影響も想定しなくていいように設計をしていくというのが今のコンセプトでございます。 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:13:49 | はい、規制庁やマグチSコンセプトとしてわかりました被水とかだと   |
| 0:13:55 | 水がかかっても大丈夫なような  |
| 0:13:57 | IP何とかとかそういう設計もあったと思うんですよ、基本的にはかかからないっていう一声県を排除するっていう考えで対策とられるということでわかりました。                    |
| 0:14:07 | コサクです。それで言うと、やっぱりこの二つ目のポツ記載が悪くて、  |
| 0:14:13 | 最後の機能喪失高さを上回ることはない設計ってまでいっちゃうと、他と変わらなくなっちゃうじゃないですか。   |
| 0:14:22 | はい。これでいいんですか。   |
| 0:14:24 | はい、日本インダでございますそういう意味でいくとそうですねおっしゃっていただいている通りで制限とならないような設計をするというのが、被水、                         |
| 0:14:34 | 情景業没水の影響を、  |
| 0:14:37 | 考慮しなくていいように、水源にしないということが基本的な設計方針だと思いますので、最後の語尾を機能喪失高さを上回ることがないというのはやはり、ちょっとかなり矮小化した感じなので、     |
| 0:14:50 | 適正化させていただきたいと思います。  |
| 0:14:53 | はい、長田ですよろしくお願いします。  |
| 0:14:55 | これがですね、元の文章作成能力として一番問題なところだと思って、  |
| 0:15:02 | またはもそうなんですけど、   |
| 0:15:04 | 何でもかんでも書いといて下書いてあれば書かないようにして、   |
| 0:15:10 | 広く読めるようにしておこう。  |
| 0:15:14 | いう思いが非常に強いような気がしてて、結果として何がしたいんだか全然わからん。   |
| 0:15:20 | いうことになっていることが多いんですよ。午前中だけでもそういうようなところに繋がるんですけど、   |
| 0:15:27 | そういうのをやめてもらえないかなと思って。   |
| 0:15:31 | ちゃんと実態が伝わるように、日本を変えてもらわないと審査できないんですよ。   |
| 0:15:38 | そうってます。はい、上西瀬谷でございます。はい。そうですね私のチェックが十分じゃないところもあるかもしれません。7ページとかで言っている設計方針を、前にさかのぼって書いてることがそれを、 |
| 0:15:55 | 達成してる文章になってるか、あの辺に違う文章になってないかということをチェックしていけばおのずと、それぞれのパーツの紐づけですね、を考えれば、今ご指摘あったような、            |

|         |   |
|---------|---|
| 0:16:07 | 目的がよくわからなくなるような文章にならないと思うんで。はい。おっしゃっていただいている通りだと思いますが、  |
| 0:16:15 | さらに、ちょっと文章のチェックも含めて、しっかりやらないといかんかということでございます。はい。  |
| 0:16:21 | はい。補足です。お願いしますアノ書くときもそうですし、チェックするときのっていうことなんですけど、特に作業とかで、一方通行の作業をしないようにっていうことだと思ふん  |
| 0:16:33 | ですよね。必要十分というようなことがあると思うんで、やることが読めているか。はい。   |
| 0:16:41 | いや言えてない、間違っていないかっていう視点だけじゃなくてこの表現それ以外のことまでは言っちゃわないかと。   |
| 0:16:49 | いう。   |
| 0:16:51 | 視点もナイトウ、最終的に宣言として適切なものになっていかないので、その視点を忘れないようにということをお願いします。  |
| 0:17:01 | はい。日本原燃志田でございますありがとうございますおっしゃっていただいたように、こういうところで書いてあることは担保事項として何を我々が宣言するかということなので、何を担保にするかっていうのを明確に、かつ迷いがないように、あやふやにならないようにということ、何を対象にしているかが明確になるように、記載をする。 |
| 0:17:20 | ということで、作成者チェック者ともに見ていきたいと思ひますはい。  |
| 0:17:25 | はい。コサクですよろしく申し上げます。山口さんどうぞ。   |
| 0:17:30 | 院長山口です。   |
| 0:17:32 | 今回 2 ポツで書い  |
| 0:17:34 | いただいたことは  |
| 0:17:36 | 複数の設計の方針として今後申請書なりにも入れてくようなことだとは思ふので設計として何を約束してやっていくのかっていうことがわかるように、  |
| 0:17:48 | 蒸気とかのその影響それぞれの影響に対する防護設計とかもしっかり書き分けるように記載のほうの見直しをお願いします。  |
| 0:18:01 | 私からはこちらの資料に関しては以上となりますが、他、規制庁わかりますでしょうか。  |
| 0:18:14 | よろしいでしょうかですじゃあ、ちょっと軽微な話なんですけど、  |
| 0:18:21 | 8 ページ目で追加された第 3 表の、次回の申請設備の焼結II設備とか小規模試験設備は、この辺の冷却水を使うから書かれてる。  |
| 0:18:32 | ですか。はい。与儀ニシダでございます。まさしく、おっしゃっていただいている通りですこれ、特に先ほどの工程室で除外するものは徹底的に除外するんですが、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:18:42 | これだけはどうしても設備に冷却水を工事等で使いますんで、そこの関係で制限があるということで書いてます。  |
| 0:18:50 | はい、規制庁から通信制定もうこの焼結設備とか周アノ小規模試験設備っていう命名で冷却水も含まれた状態で書かれてるんです。  |
| 0:19:02 | 冷却する特別に冷却設備みたいな系統を設けるんじゃないくて、焼結設備の非一部として、  |
| 0:19:10 | 出されるってということですか。  |
| 0:19:19 | はい、乳井エリアでございます設備との取り合いも含めて整理をしますが工程室に入ったところもしくはその中でですね、冷却設備、冷却水設備等、焼却設備の取り合いのポイントを入れたと。                                  |
| 0:19:33 | 考えていてこう書いてますので、その辺の取り合いは明確にして、   |
| 0:19:38 | 3回の申請だったりの時にも明確にできるようにしていきたいと思えます。はい、松岡です。あと、水素アルゴン混合ガス設備の、  |
| 0:19:48 | いつ元ってこれは何、何なんでしょうか。  |
| 0:20:01 | はい、日本ヘニシウラでございます。このガスを精製すると機能火災を考慮した消火設備が対象になります。  |
| 0:20:10 | はい、規制庁からその消火設備の消火設備としてではなくてもうこっちの設備で、エントリーされるということですね先ほど来、はい、西原でございますおっしゃっていただける通りです。                                    |
| 0:20:22 | はい、規制庁課長わかりました。以上です。   |
| 0:20:27 | 補足です。私からもちょっと軽微なものですけど、  |
| 0:20:34 | この資料での説明は大体わかるんですけど、記載の中で、添付書類にて示すとか、補足説明資料で示すという記載があるんですけど、   |
| 0:20:46 | どの程度申請書添付書類に書くつもりか。  |
| 0:20:51 | 補足にするかっていうのがちょっとよくわからなくて、  |
| 0:20:55 | まずは、7ページの、   |
| 0:21:00 | 表の下の段落で、共通 12 で示すと。  |
| 0:21:03 | てルーのは、   |
| 0:21:06 | これは、   |
| 0:21:08 | 申請書でも示すということになるんだとは思いますが、そのあたり、どういうふうにするつもりです。   |
| 0:21:15 | はい。宮城ニシダでございますちょっと書き方が、浮ついて恐縮でございます失礼しました。おっしゃっていただいた競艇場 2 で書くと言ってることは全部それ以上書くつもりで、思っております。この思いがちょっと統一できないかどうか再度、社内で関係者、 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:21:31 | 共通認識を持てるようにしていきますが、ここは共通上位の構造設計だったり配置設計だとして設計で示していくことをいわゆる添付書類で示していくこと。そうすると、                                   |
| 0:21:44 | このまた書きで書いてプリと何が違うんだということになるので、その整合を図っていきたいと思います。  |
| 0:21:51 | はい、古作ですよろしく願います。だからそれで言うと、下の方も共通 12 でAはまず資料 3 でもってことだし、下は、資料 4 だと。  |
| 0:22:01 | いうことでまともに添付書類に適切に反映していくということですかね。<br>はい。日本原燃志田でございますありがとうございます。おっしゃっていただいている通りでございます。                           |
| 0:22:10 | はい。   |
| 0:22:12 | そこはまずわかりましたって、その前のページにいくと、  |
| 0:22:18 | 上から 10 行目辺りのところに 1044   |
| 0:22:23 | にて示すと、  |
| 0:22:25 | うん。   |
| 0:22:26 | これは概算評価ってということですけど、添付書類上どうするつもりですか。   |
| 0:22:37 | はい。日本原燃一緒でございますまず現状、すいません考えていたことを述べますと、第 1 回の時に屋外の溢水と一緒に概略評価と、屋外での開口部の高さの関係を、                                   |
| 0:22:51 | 添付書類を書いた時には、  |
| 0:22:54 | 概略評価をやってもこの開口部の高さを上回らないことを確認したということ、細かいアノ 1 制限として何を考えたか、概略評価をして何センチになったかっていうこと開口部の関係の、                          |
| 0:23:07 | 関係を補足説明資料で説明をしていたと、いうこともあったのでそれと同じように今展開しようと思ってました。ただ後は、添付書類を書いた時に、概略評価でその水を機能する高さを配慮が必要であれば、超えていないことを確認したと言って、 |
| 0:23:24 | 本当にそれだけの文章で、添付処理として 0 になるかということは、   |
| 0:23:30 | 状況としては考えなきゃいけないとは思ってました。  |
| 0:23:33 | はい。どうぞです。わかりました。ちょっといいですか。どうぞ。第 1 回のときの整理で添付書類の図面の方で、高さを明記してもらってそれで確認したってということになっています。                          |
| 0:23:48 | 愛甲高沢示しました。で、溢水高さの 10 センチは個別補足で確か言っていたと思ってましたのでアノアノ金城配慮が必要な高さは当然ながら、図面とあと、                                       |



|         |   |
|---------|---|
| 0:24:00 | 仕様表で示します、で実際概略評価を出したときの水位がどれだったか、どうだったかっていうのは、水源との関係配置等関係、全体の部屋の広がりも含めた、  |
| 0:24:13 | 評価をどうしたかっていうのを個別要則でやろうと思ってました。はい、規制庁からわかりました。   |
| 0:24:21 | はい。コサクですどこまで添付P書くかっていうのは少し議論かなとは思いますが、まずは、共通 12 の資料作成と、それに合わせて補足で確認させていただいて、  |
| 0:24:35 | 最終的にどこまでの文書をするかということで話ができると思い   |
| 0:24:41 | ます。   |
| 0:24:42 | もう  |
| 0:24:45 | うん。   |
| 0:24:48 | だから、  |
| 0:24:52 | とですねエキスパー   |
| 0:24:55 | 存在んとこのところのページ、  |
| 0:24:59 | 追記いただいたところなんですけど、   |
| 0:25:02 | これは基本設計方針として、何か配慮が必要かもなって気がするんですけどそのあたりと考えてますか  |
| 0:25:13 | はい、イノウエニシダでございます。はいおっしゃっていただいている通りだと思ってます基本設計方針上建屋外からの溢水に関する防護設計という意味で、   |
| 0:25:24 | 現状の記載ですと、建屋外のどちらかということと屋外にあるタンクとの関係を書いているような記載になってますので配慮が必要なポイントとしてこういうところがあるということと、  |
| 0:25:38 | どういう設計にすることによってそのイセに対しても考えるかという、設計方針としては基本設計方針じゃないと駄目かなと思ってますので、そこを、溢水の資料に提示する時には基本設計方針をどう変えていったらここはやめるのかということも含めて整理をしてご説明できればと思ってます。 |
| 0:25:59 | はい、小崎です。わかりました。よろしく申し上げます。ちなみに、これって、最初に言っても、同様の視点が必要かなと思うんですけど、再処理ってどうなってるかとかってチェックしてますか。   |
| 0:26:15 | 日本原燃石田でございます。   |
| 0:26:18 | 六ヶ所日成チーム稲井んだよね。最初飯野は、   |
| 0:26:21 | いや、最初の基本設計方針の構成もMOXで第 1 回時に合わせてやってきて、屋外の溢水についての記載はあまり変わってないので、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:26:31 | 今、MOXでこういう考慮事項があるよねってところで、再処理側も同じように考慮する必要があるところがあると思ってますので、同じように修正をしていかないといけないと思ってます。    |
| 0:26:43 | コサクです。わかりましたよろしくお願ひします。以上です。  |
| 0:26:49 | 規制庁の藤原です。1点すいません。説明されてたら申し訳ないんですけど、   |
| 0:26:55 | 通しページ8ページの第3表の申請開示4回目の再処理施設と共用するイセ下となりうる設備、これだけ何か具体説明じゃないって何か理由があるんでしたっけ。                 |
| 0:27:09 | はい。表現でしたようでございますこれはすみません私が、この五名のところにもうちよつとちゃんと書けばいいかと、第1回的に井清01すでに溢水になるもの概略評価出してますので、かつ今、 |
| 0:27:20 | 再処理側でも屋外の水源の評価、前提の考え方だつたりを整理をします。それと合わせてやっていこうということがまず前提で考えてました。少なくとも現時点では、101に書いたものが、    |
| 0:27:34 | ベースになると思ってますけど、ちょっとその辺が、最初にね、今の検討で変わるんであればそれに追隨する形で整理をしていく必要があるという対象別だと思ってました。            |
| 0:27:46 | 規制庁のフジワラですわかりました再処理の、一応は、利益できなくはないけれども再処理の整理も、  |
| 0:27:53 | 含めてちょっと待ってるっていうことで理解しました。ありがとうございます。以上です。   |
| 0:27:59 | はい。   |
| 0:28:00 | 規制庁山口です。  |
| 0:28:04 | しかちよつともう1点。   |
| 0:28:06 | もし、細かい話になってしまうんですけど、  |
| 0:28:09 | 9ページの労働の話で、   |
| 0:28:13 | その毎日として収集して、  |
| 0:28:16 | 漏えい検知器より近畿検知してっていうコウ設計を、  |
| 0:28:20 | 毎日の対応として書かれてるんですけど、ここ期待してる設備たちは、その溢水対策設備として何か申請設工認申請対象になってくる。                             |
| 0:28:31 | なってる。   |
| 0:28:32 | 者たちですか。ちよつとそれ、位置付けを確認させてください。   |
| 0:28:42 | イノウエイシハラでございます。現状の整理としてはなってませんが、こういうことを期待しますという以上は、溢水防護設計上期待するものと、                        |
| 0:28:53 | いうことになり得ると思うので、そういう整理を進めたいと思います。はい。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:28:59 | 規制庁山口です。  |
| 0:29:01 | お前、   |
| 0:29:02 | 基本の、  |
| 0:29:03 | 対策があつてその第2弾として万一で対策を期待してるのであれば、   |
| 0:29:11 | はい、母体アノ溢水防護対策設備として、   |
| 0:29:17 | いや、1でも駄目でしょうか。結局、だってこれがニノミヤだと言つたつて必要な行為じゃないんだつたら、   |
| 0:29:26 | これがもう万が一にも、0.1%0.1%もありませんけどねみたいな話だつたんだけど、もうそんなこと言えないでしよつて、だつたら対策設備じゃない気がするけど。                         |
| 0:29:36 | すいませんでしたはいと思つてますはい。   |
| 0:29:40 | はい。季節ヤマグチです。わかりました。対策設備となるとまた強度とかそういう話とかも出てくるとは思ふのでちよつと位置付けには、  |
| 0:29:50 | 見続け確認していただければ、整理をお願いします。  |
| 0:29:55 | おそらくですねのためですけど、   |
| 0:29:59 | 改修用の資機材によりとかつて書いてあるところろはどうか考えてます。   |
| 0:30:07 | はい。与儀ニシダでございます。タグチの前までだと思つてました。はい。  |
| 0:30:12 | コサクですわかりましたと言いつつですねその前の検知も含めてつていう視点もあると思ふので、はい。   |
| 0:30:21 | どこまでつていうのの考え方は整理をしていただきたらと思ひます。緊急性があれば、自動検知じゃないとちよつとしんどいつていうことが、                                      |
| 0:30:30 | ありますからその毎日というのはどれぐらいのものまでを、   |
| 0:30:34 | 想定をするのが設計、以下、   |
| 0:30:37 | ということだと思ひますけど、私たちも何らかないと、ちよつと体系とれないなと思つて先ほど基本設計方針で話ししましたけど、設備つてなると、またもう一段考えることもあると思ふので、整理をよろしくお願ひします。 |
| 0:30:53 | はい。二本木西原でございます。はい。地下水の入院としてのピットでの検知の時間軸だつたり緊急性だつたりというのも含めて全体の構成物に対してどこまでを、対策設備とするか、どつから運用とするかと。       |
| 0:31:07 | ということで、整理を進めさせていただきます。はい。ありがとうございます。  |
| 0:31:13 | 規制庁山内です。お願ひします。   |
| 0:31:15 | あと他1溢水の資料について規制庁側から確認ありますでしょうか。   |
| 0:31:21 | 規制庁のハバサキですちよつとよろしいですね今9ページに出てた搬送用のドウドウの件なんですけれども、その地下水からの   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:31:33 | 流入の話なんですけれども、ノックスタケヤ自体はこれ周辺に吉江とい<br>いますか 4ヶ所にですね地下水排水設備で、   |
| 0:31:43 | 基本的には地下水位は地下基礎マット下場ということで設計されてるん<br>ですけども、  |
| 0:31:50 | この道道に関しては、その地下水排水設備のを期待してるかどうかで<br>すね、その点ちょっと説明してもらえればと思うんですが。  |
| 0:32:01 | はい。日本原燃集でございますこれおっしゃっていただいたようにPA建<br>屋、あと接続されてるCB建屋にもそれぞれ地下水排水設備がありま<br>す。その両側の地下水排水設備でどこまでの地下水を基礎レベル以下<br>までできるかと。 |
| 0:32:17 | いうことを一応評価はした上で、道路全部オカコウノはちょっと難しいだ<br>ろうということで今回地下水の流入を考慮しないといけないかなというこ<br>とに至ったところでございました。                          |
| 0:32:30 | はい。規制庁ババないケース同等部分に対しての地下水位の評価まで<br>されているという上でということで理解しました。  |
| 0:32:38 | そういった結果っていうのはあれですか、今後示される地下水をはい。<br>はい。   |
| 0:32:45 | ユリイシダでございますこの労働部分の説明をする時に地下水の流入<br>をする場合ですね、どういう想定をしているのかっていうことをその根拠<br>として示す必要があると思っておりますので、そこも含めて、                |
| 0:32:59 | 説明をして、やばいと、カミデはすごいコウエミをしていきたいと思いま<br>す。はい。  |
| 0:33:07 | はい、規制庁ハバサキです理解しました。   |
| 0:33:10 | 私から以上です。  |
| 0:33:13 | 古作です。今の話。   |
| 0:33:16 | でいうと、道道全体はっていう話はそうかなとは思うんですけど。  |
| 0:33:22 | 一方でエキスパンションジョイントの場所ってMOX建屋に近かったと思<br>うん   |
| 0:33:29 | ですけど、そのエリアが大丈夫ってことになりませんか。  |
| 0:33:40 | はい。はい。日本原燃伊田でございます。はい。ちょっとそこも事実確認<br>をもう1回しますと私も大分前に見たやつなんですけど、おっしゃって<br>いただいたように合同全部はカバーできてなくても、                   |
| 0:33:51 | 建屋の直近とかはいけてたとは思いますがその辺の事実関係も含めて、<br>それでも万が一を考えて間どこまで考えるかっていうことだと思うので、<br>そういった根拠も含めて整理をしてご説明します。                    |
| 0:34:03 | はい。そこら辺が大丈夫かというのに関しましては、ちなみに、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:34:09 | は、現地確認で見せていただいたらもうくすのところでしたけど、再処理側のエクспанションですか、それともそっちは固定ですか。                            |
| 0:34:21 | 日本原燃磯田でございます現状まだ壁等アノと途中で止まってる状態ですけど最終的にはエクспанションでつなぐ、同じような、はい。なります。                      |
| 0:34:29 | わかりました。じゃあ、そちらの影響も含めて整理をしていただき  |
| 0:34:35 | はい、イノウエシダでございます承知いたしました。  |
| 0:34:41 | 1 ヤマグチ穂オカ規制庁側からよろしいでしょうか。   |
| 0:34:47 | はい。   |
| 0:34:49 | それでは続いて次のメニューに移りたいと思います。  |
| 0:34:57 | はい。日本原燃正田でございます。共通中に、本文から資料 4 までございますんで修正したポイントの説明を、それぞれのパーツでさせていただければと思いますが、             |
| 0:35:09 | 本文については、再処理の代表選定の話、研修金曜日にやる前にこれにも反映して出していますので、ここで説明してもまた同じような話になりますので割愛をさせていただきたいと思います。   |
| 0:35:27 | 本文上は、本件対象が入ってないですけど、資料 4 のところでの   |
| 0:35:38 | 別名の文章を、前回のやりとりを踏まえて拡充したところが説明ポイントと思ってまして、あれ、フィードバックの話をちょっと合わせなきゃいけない。                     |
| 0:35:50 | 今回の沖さん。はい。右下 42 ページのところ、例示をそれぞれ書いているもの、それぞれ評価での代表設備の考え方どうしていくかと。                          |
| 0:36:02 | ということ、結局は評価のプロセスを変えていってその中の 2 の評価項目だった  |
| 0:36:09 | を説明するものとしての網羅性という観点で代表を選びつつ、代表設備には適用されないものは差分として説明をしていくということ、ページをもって、説明をさせていただくように拡充をしたと。 |
| 0:36:23 | いうところで、また今回、  |
| 0:36:27 | 説明ポイントとしては、ということだけでございます。はい。以上です。   |
| 0:36:32 | はい、規制庁のアライ説明どうもありがとうございました。そうすると冒頭説明あった通り例えば、   |
| 0:36:38 | 本文の 25 ページ目から 26 ページ目。  |
| 0:36:42 | 代表の話とか、あとは別表っていうのは、おのずと修正されるっていう認識でいいですかね。  |
| 0:36:50 | はい。日本原燃志田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます本文 25 ページの話とあと別表、結局、ぜひ光田別表の話も前回、                  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:37:03 | 昨日ですかね、一昨日、月曜日、月曜日にお話した代表の話で、考え方を整理するのと、あと表の形で要求事項と対象設備との関係を整理していくという、そのマトリックスが多分、概略としてついて行く別表の別紙で、       |
| 0:37:22 | といった細かいものは、それぞれの代表選定の話で、添付、資料 2 の後ろだったり、資料 3 なのかの頭だったりちょっとつける場所を考えますがについて言えばいいのかなと思いますので、そういう形で、          |
| 0:37:37 | 今後修正していこうと思ってました。はい、わかりました。特段今回のヒアリングではそこは言及しませんけど、   |
| 0:37:43 | しません。それで、   |
| 0:37:45 | ちょっと立ち返って、  |
| 0:37:49 | 前回のヒアリング立ち返るようで申し訳ないですけど 34 ページ目から、資料 4 関係の評価項目一覧表の記載が、   |
| 0:37:58 | ありまして、それで評価項目一覧表再処理側もつけてるんですけど、M OXも同じなんですけど、   |
| 0:38:05 | 評価項目一覧表ってこの本文の中で、   |
| 0:38:10 | ここで示さなければいけない理由とかってあるんですけど、   |
| 0:38:13 | 情報としてすごい唐突感が出てくるような気もするんですけど、いかがですかね。   |
| 0:38:19 | はい。日本原燃石田でございます。おっしゃっていただいている通りかと思えます少なくとも参考支援との関係も含めた参考資料で定数みたいのを書いてますけどもそれとの関係も含めて、                     |
| 0:38:32 | 本文上この評価項目を出すためのプロセスだったり、その際のその留意事項だったりというのが書いてあればですね、オノと結果が出てきますので、                                       |
| 0:38:42 | 特段この表、もともと表を見せていたのは、ボックスをつけるときにまずここで 1 回全体像を示さないとねと思ってつけて、そのあと、資料 4 の(1)ができ上がった時点で、                       |
| 0:38:55 | 消してもよかったかもしれませんが。その辺のちょっと前後関係も含めて、今後整理をしていきます。はい。はい。要するにおっしゃった通り資料 4 の段階で細かく評価項目一覧表の作成プロセスっていうのが説明されてるので、 |
| 0:39:08 | そこが添付すれば事足りるかなと思った次第です。   |
| 0:39:14 | はい。続いて、本文関係で、最後なんですけど 42 ページ目先ほど最後に説明のあったところなんですけど、   |
| 0:39:22 | 複数代表を選定する場合と差分がある場合の違いって何なんだっけっていうところの、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:39:30 | 説明学齢されてるのかなと思っていてですね、例示を見ると、非常にこういうことなんだねっていうのは、わかりやすくなったのでいいのかなと思うんですが、                              |
| 0:39:41 | 簡単に言うと、評価手法っていうところが、共通してるか共通していないかってところで、   |
| 0:39:48 | 複数選ぶか選ばないかっていうのが決まってくるのかなっていうのは、  |
| 0:39:52 | 考え方として示されてるのかなと思うんですけど、42 ページ目のポツの一番最後の複数の設定の話の中で、  |
| 0:40:01 | 細かい話なんですけど、拳評価法評価手法の違い等によりっていう等って何を想定されてるんですかね。   |
| 0:40:16 | はい、与儀根井者でございますちょっとこれも具体例でやった方がいいのかな。これ、   |
| 0:40:22 | 関係足したらわかりやすく、そうですね。   |
| 0:40:26 | はい。   |
| 0:40:29 | 結局評価指標の違いだったり、評価をする、説明をするときに、一連の流れで説明していかないと何をやってるかよくわからなくなるんじゃないかということろ要は差分だけを示しても、                  |
| 0:40:42 | 評価の中での位置付けだったり、この差分が何を意味してるかっていうのがわかりづらいものがあるんじゃないかなと。例でいくと換気って言ってるその風量の設定みたいなものがまさしくそれに当たるのかなと思っていて、 |
| 0:40:54 | そういう視点も含めて、どうなるべくブレークしてかつ例示をふやす形でちょっと考えていきたいと思います。はい。はい。お願いします。今野理事ダテ評価手法の違いだけなので、                    |
| 0:41:05 | もう少し補足というような形で整理をお願いしたいと思います。   |
| 0:41:08 | 本文関係で私からは以上です。オカ規制庁側から確認あればよろしくお願いします。  |
| 0:41:15 | 規制庁課です。次の会合との関係なんですが評価項目一覧表で今回再処理の方もついてきてはいますが、この辺で結局今の議論を踏まえてどうされるっていうことなんです。                        |
| 0:41:29 | はい、日本インダでございます。資料4の(1)が登場するタイミングで、最初のやつも出そうと思います。はい。はい。それ超過じゃそこまでは、                                   |
| 0:41:40 | とりあえずよく項目一覧表自体は、もう整理を淡々と進めるっていう感じですか。   |
| 0:41:47 | はい。日本原燃石田でございます。我々として代表選定で資料4のことも考えながらということ念頭に、概略今掴みに行こうと思って作ってますが、具体としてはやはり、                         |

|         |  |
|---------|--|
| 0:41:59 | 資料の(1)ができ上がるときに、出す必要があるときにタイミングとして出させていただくということかと思ってました。はい。はい、末岡ですよろしくをお願いします。それで結構ですので、よろしくお願いします。ありがとうございます。 |
| 0:42:12 | スタッフです。今の点あの会合ではそれでいいんですけど。  |
| 0:42:18 | 再処理の方での代表選定の議論を、この間代表選定の考え整理をし   |
| 0:42:26 | している段階で実作業のところまできてないんですが、  |
| 0:42:31 | その際にはやっぱり何らかの整理状況は聞かない等、   |
| 0:42:35 | 話ができないかなあと思う。  |
| 0:42:38 | れるんですけど、どう進めるつもりですか。   |
| 0:42:41 | はい、インドネシアでございますはい。主に前回、ある種、設計項目、設計項目がせっかく条文での要求説明すべき事項ですかね、等の  |
| 0:42:57 | 大枠がまずつかめるよう、加来勝、加来勝申請設備との関係がわかるような一覧表を作りつつ、資料3 資料4での、  |
| 0:43:09 | いわゆる呉等、各条文各要求事項での所説明すべき項目事項のブレイクしたものを、同別表でつけたりという作業をそれぞれしていったって、代表等の関係を、                                       |
| 0:43:22 | 示していかないといけないと思ってますので、先ほどした大枠の考え方を整理しつつ、実際のその表を作りながらですね資料3 資料4での、   |
| 0:43:33 | 代表ってのをどう選んでいくのかということの、実際の作業状況ですね別表をもつけた上でご説明しようと思ってますが、そのスケジュール感がまだちょっとうまく引けてないので、                             |
| 0:43:45 | その中で、合わせて全体をやる、やるべきこと、こういうスケジュール感でこういうものを示していったって、確認をしていこうということのヒアリング設定だったり、                                   |
| 0:43:56 | いことこの提示をさせていただきたいと思います。  |
| 0:44:01 | はい、蘇武です。どういう形でも困りますけど、対応を進めていただいて説明いただければと思います。  |
| 0:44:10 | で、現状評価項目見ると、言葉がいろいろ等、  |
| 0:44:16 | ばらついてるように見えて、  |
| 0:44:20 | 評価項目と言ってるんですけど、  |
| 0:44:23 | 評価条件の設定での評価と、  |
| 0:44:28 | 最終的な判断のための評価ってというのが入りまじっ。  |
| 0:44:31 | 出るんですけど。   |
| 0:44:34 | この辺りって何か整理できない。  |
| 0:44:37 | はい。おっしゃっていただいているように  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:44:42 | MOXで会計で 41 ページですかね農協は、前回は超過項目を書いている資料 4- (1)とその後ろについてべ  |
| 0:44:54 | で、  |
| 0:44:55 | との関係で別添で全部終わった上で、かつそれが評価条件等が評価そのものなのかというリンクづけをして評価条件のものはどこの評価に合う中で見るべきものですかということで、それぞれ紐づけをしていって最後の、 |
| 0:45:09 | 評価項目の一覧表を作ってます。スパプロセスがまだ再処理ができてないので、そういったことをやらないと、最終的には同じようなステージデータないというふうには思っております。                |
| 0:45:20 | 浅田です。わかりましたその整理とかは適宜見ていただいて、  |
| 0:45:25 | ということをお願いします。   |
| 0:45:29 | まず、それ認識していればよかったと思うんですけどそれがないと、結局先ほどの代表とかの議論のときでも、視点がぶれてしまって混乱するかなと思った。                             |
| 0:45:44 | はい、規制庁アライですけど他本文関係で、  |
| 0:45:48 | をさ。   |
| 0:45:49 | 最初に話しとってバックアップして、   |
| 0:45:54 | 石原さん続いて資料 2 の方ですかね、ポイントだけ説明いただければと思います。   |
| 0:46:02 | はい。ヤギニシダでございます。雑音が入りまして恐縮でございます。はい。資料 2 でございますが資料には、  |
| 0:46:09 | 今回修正をしているのが、ありがとうございます。   |
| 0:46:14 | 16 条の搬送設備、  |
| 0:46:18 | あと 25 の廃棄 23 条の管理資料 1 としての修正点でございます。  |
| 0:46:28 | 16 条の搬送設備、129 ページからでございます。  |
| 0:46:34 | これにつきましては、前回もお話をさせていただいたもともと構造設計と評価だけの組み合わせがほとんどでしたが実際の   |
| 0:46:45 | 搬送設備としての対象内にするかということも含めてシステム設計でしっかり語った上で、具体の構造設計につなげていくという、他でやっていたことがなかなかこちらができてなかったので、             |
| 0:46:58 | 資料 2 にさかのぼって全体整理をさせていただいたということでございます。   |
| 0:47:05 | 20 条の廃棄ですけども、これが 140 ページからミナミます。修正したポイントとしては前回のやりとりで  |
| 0:47:15 | 148 ページで、上から 2 段目ですかね右、右側の方で説明グループの考え方で、火災との関係。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:47:23 | どこを愛知でやってるコウ関係で、火災なのかというところの関係性が不明確だったので、そこを明確にさせていただいたということでございます。      |
| 0:47:34 | 評価であって、今のAからFの6品質の関係をもうちょっと記号で示すと、全体流れがわかるかもしれませんが現状言葉で示させていただいております。    |
| 0:47:47 | 実際は6インチで行ってる表、資料4で出てくる換気回数はAになって、炭酸ガスのやつが、                               |
| 0:47:57 | 有害の質のやつがFですね、AAの項目でリンクがされてますということを書いてます。                                 |
| 0:48:06 | はい。最後が23条の換気設備が163ページからでございます。   |
| 0:48:15 | これは窒素、これも看過されてる関係ですね、かさみ必要な炭素濃度と、窒素雰囲気にして生産上の管理での、                       |
| 0:48:28 | ものの関係性がわかるようにということで明確にさせていただきました。結局は生産管理上の方が圧倒的に                         |
| 0:48:38 | その分が低くなってるということでございます。   |
| 0:48:41 | はい。  |
| 0:48:43 | 資料は以上です。はい。  |
| 0:48:45 | はい。規制庁の荒井です。   |
| 0:48:47 | 説明としては搬送設備については資料4等の精査にしてところを資料にフィードバックするところがあると、特にシステム設計のところ、全体の搬送対象、何ら |
| 0:49:00 | 何なのかっていうところを説明する、なると。  |
| 0:49:03 | この反映が必要だっというところを書き出した部分が多いと。   |
| 0:49:07 | いうところなのかなあとは思っています。  |
| 0:49:10 | フィデアの  |
| 0:49:13 | 伴宗。  |
| 0:49:15 | ちょっと説明グループ1と3で、どのような切り分けをしてるのかなっていうのがちょっと再確認になってしまうんですけど130ページ目ですかね。     |
| 0:49:27 | 130ページ目の、例えばナンバー、  |
| 0:49:31 | 一番左の2と3の中で、  |
| 0:49:34 | 運搬製品容器っていうのがあると思うんですけど、  |
| 0:49:38 | 運搬製品容器の  |
| 0:49:43 | 搬送設備で取り扱うことを考慮した構造っていうのは、グループ1で示すんですか。                                   |
| 0:49:51 | 示しているんですか。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:50:02 | 今現状グループ 3 で、メインの  |
| 0:50:07 | 容器の構造っていうのは示すことになると思うんですけど、   |
| 0:50:14 | はい、上西でございます現状おっしゃっていただいたように落下防止等の対策を説明する時に構造設計を説明するときに 4 キタノの取り合いがあるので、   |
| 0:50:25 | どちらかというとは今は説明グループ 1 の段階では機械装置搬送設備側で、どういうロック機構にしますかという機構の説明をしてると思っております。   |
| 0:50:35 | 実際ロック機構と容器の構造との取り合いのところは、多分おっしゃっていただいて趣旨としては、それもないと、落下防止の説明にならんのかなというので今現状説明グループさんに、                            |
| 0:50:50 | 全部はつけてますけど、前回、いろんなところでやった   |
| 0:50:55 | ちょうど設備等、搬送設備の取り合いだったりというところの関係を同じように整理が必要な気がしますので、さらにちょっと検討させていただきたいと思います。                                      |
| 0:51:07 | はい。   |
| 0:51:08 | それで、説明グループ 1 っていうところになるとこの設計説明分類が、例えば本部の 18 ページの表とかにも増えてくるのかなって。  |
| 0:51:19 | 思ってるんですけども、そこら辺の、   |
| 0:51:22 | 反映の話とかも出てきますので、   |
| 0:51:26 | このグループで何を示すのか、ぜひ別のグループで何を示すのかっていうところがもう少しわかるような形になればいいのかなと思った次第です。  |
| 0:51:36 | はい、井上志田でございますはい。今おっしゃっていただいたり、説明グループで説明する範囲と説明グループさんで説明する範囲を分けるのであれば、その中で、同じ、違うグループに同じものが出てきても、こういうところで切り分けますと、 |
| 0:51:51 | いう説明も、それぞれしないといけないですので、ちょっと整理をしていきますはい。はい。  |
| 0:52:03 | はい。   |
| 0:52:04 | は、  |
| 0:52:05 | ちょっとページ飛ぶんですが、  |
| 0:52:08 | 廃棄関係ですかね。   |
| 0:52:11 | 148 ページ目。   |
| 0:52:15 | ナンバー 19 番ですかね。  |
| 0:52:20 | それで最初のナンバー 19-1 のシステム設計のところ、11 条 29 条火災関係の話も絡めた、記載が※書きであるんですが、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:52:34 | ファンとかダクトがどこにどう繋がっているのかっていうのは、系統構成の話だけなので、システム設計で説明できるのかなと思うんですけど。   |
| 0:52:44 | ※で説明している有害物質の希釈に必要な容量の説明っていうのは、   |
| 0:52:50 | この資料 2 上どこでこれが読めるようになってるのかっていうのを教えてもらえませんか。   |
| 0:52:59 | ここで読んでるんですか。  |
| 0:53:02 | はい。イノウエニシダでございます。そういう意味で具体ですね、このシステム設計を、一応今、19-1 というのがシステムの番号売られてます。その下の評価のところにもナンバー19-1 があって、ここで言う容量風量なんかを評価しますよと言ってる中に、 |
| 0:53:19 | この中身が入っている関係性が入っているということでございます。はい。  |
| 0:53:23 | はい。そうすると、その有害物質の希釈の話だけれども、この中に入ってるっていうところが、   |
| 0:53:31 | はい。今の時点では読めないけども、一応評価の中に飛ばしてるっていう、そういう理解なんですかね。   |
| 0:53:38 | はい。日本イシハラでございますので先ほど申し上げた資料 4 の段階で今回、風量設定のところに出しました 6 因子の話ですねこれを、   |
| 0:53:50 | この資料 2 の段階でも出してそれぞれどういう関係性にあるかっていうのを、評価のところと紐付けながらお互いに多分わかるようにしていくということをしないと、今言われたような後、ご指摘になると思いますので、                     |
| 0:54:03 | 全体像を調べて、紐づけが明確になるように、記載を拡充をしていきたいと思えます。はい。お願いします。要するに、先ほど言っていたいた通り資料 2 条、   |
| 0:54:14 | 6 品種の話っていうのがどこにどう散りばめられてるのかっていうのは、わからなくなっているっていうところがあるので、どうシステム設計構造設計評価なりで整理されてるのかっていうのがもう少し明確になった方がいいのかなっていう、いうところです。    |
| 0:54:32 | あとは、どうぞ、はいありがとうございました。  |
| 0:54:36 | あとは少しページが飛んでしまって、個別補足説明資料一覧表の、  |
| 0:54:42 | 話になってしまうんですが、   |
| 0:54:45 | 194 ページ目ですかね。   |
| 0:54:51 | 搬送のときの搬送 01 のところで、  |
| 0:54:56 | 共通中における説明との関係というところで、申請対象設備の話なので、   |
| 0:55:03 | 共通 12 の資料 1 っていう話なんですけども、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:55:07 | 資料 1 との紐付けってどのように行っているのかっていうのがわからなくてですね、実際、資料 3 の方にだけ紐づけてるような気がするんですけど。   |
| 0:55:16 | クボって、資料 1 にて説明するっていう形で資料 1 の方では、読めるようになるものなんですか。  |
| 0:55:24 | はい、日本イシハラでございます恐縮失礼しました資料 1 上はですね、さて、資料 3 との紐付けも、資料 1、搬送ゼロイチ搬送 0 に搬送予算をそれぞれ紐付けてリンケージを図って飛ばし飛ばしていくことによって、搬送 02 では資料 3 で搬送出るんでは資料 4 |
| 0:55:43 | その対象になるものが、資料 1 とのリンクがわかりますということで、どこがリンク図れるのかっていうのは、資料 1 上ですね、説明の右側にずっと条文ごとに、   |
| 0:55:56 | マルつけマルチじゃないんだよね。B-1 とか何とかだっけ浅井です。リンケージが図られていて、これが要求事項が適用、適用される部分の設備ですということがわかるようになってますので、   |
| 0:56:08 | 16 条の対象としてそれぞれ必要な設備をここで選んだものをエントリーしていくと、それが条文との関係で資料 1 でわかるようにしていくというのが実際の作業になります。  |
| 0:56:19 | 資料 1 そのものってことなんですか要するに、はい。はい、わかりました。  |
| 0:56:23 | 私から資料 2 関係は以上ですが、規制庁側から確認等あればよろしくお願いします。  |
| 0:56:32 | 規制庁大賀です。ちょっとKBな話で恐縮なんですけど 131 ページ目で、今回搬送いろいろ 130 ページ目から再フィードバックしていただいて、   |
| 0:56:44 | そこはよかったんですが 131 ページ名の、  |
| 0:56:49 | 設計説明分類の隣の行の各基本設計方針の対象となる範囲っていうところの、   |
| 0:56:57 | ここの下線って何か意味あるんですけど。   |
| 0:57:14 | 代表のやつを引っ張りイデカセそういうこと、意味がないですねすみませんこちらのミスです。ちょっと   |
| 0:57:22 | いたします。ごめんなさいはい、すみません社が入って調査、間違えて当然あれば、はい。特に確認ありません。以上です。  |
| 0:57:30 | はい。ありがとうございます。  |
| 0:57:32 | 資料 2 関係で他規制庁側から確認等ございますでしょうか。   |
| 0:57:40 | はい。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:57:42 | では次の項目に行きたいと思うんですけど資料3ってなってるんですけど、資料3の搬送ワー、資料4の(2)で絡めた方がいいかなと思っていますので、 |
| 0:57:53 | 資料4の方から説明をお願いできますでしょうか。お願いできますでしょうか。                                   |
| 0:58:02 | はい。宮城ニシダでございますはい、承知しました。資料4(2)、藤副会長200280ページ、あれ。                       |
| 0:58:10 | 評価項目一覧表なんか直したっけ。   |
| 0:58:13 | もし、  |
| 0:58:14 | ないですか。   |
| 0:58:18 | 甲斐とかの世代で制限値を設定も、タオカの中で水色のハッチング、青字ってあんたもまた親切な。                          |
| 0:58:27 | 失礼しました。はい。4の(1)の強化項目一覧表。   |
| 0:58:33 | これ前もそうだった。   |
| 0:58:35 | いや、それは直し、こっちから直した。   |
| 0:58:39 | 267ページからの表の資料4の(1)、前回までは一番右側だったり、アノミキカンバラ説明時期の、                        |
| 0:58:49 | 形を書いてますが前回   |
| 0:58:52 | 委員会で、核的制限値を、   |
| 0:58:55 | これは何だっけ、設定根拠なのかと言う話。設定根拠というのは途中で使うような、もう最後の答えな学的成立ですよという会話を、           |
| 0:59:09 | させていただいたと思いますその実態がわかるような、  |
| 0:59:13 | 評価概要の文章にさせていただいたということでございます。   |
| 0:59:17 | あわせて遮へいとかも、同じようなリンケージもあるところなので記載の機械の見直しをしたと言うのが、                       |
| 0:59:26 | 評価項目一覧表でございます。   |
| 0:59:30 | 280ページからが、資料4の(2)でございます。   |
| 0:59:40 | 284ページから10条の①というのが入ります。  |
| 0:59:45 | 前回月曜日に審査会合資料た時に、   |
| 0:59:50 | まず284ページの注書きこれが審査会合資料上も入ってなかったのは、失礼いたしましたここ見直しをさせていただくということと、          |
| 1:00:00 | あと   |
| 1:00:02 | まず構成として前回月曜日のヒアリングを受けて修正をしていきたいポイントをアップデート説明をさせていただきますが、               |
| 1:00:10 | 286ページから概要の続きと言ってるのはこれ評価プロセスとしてちゃんと項目立てて説明をしていきます。                     |
| 1:00:19 | 加えて2ポツの評価斎場の選定のところで代表の選定も含めて全体に流していくということ、整理をしたいということを考えてます。           |

|         |   |
|---------|---|
| 1:00:29 | 漏えいの方は、それプラス、   |
| 1:00:34 | これも、  |
| 1:00:36 | 代表と差分の話を、ちゃんと代表で書いてることを差分で書いてること<br>差分についてはどういう差分なのかとわかるようにしてそれぞれ   |
| 1:00:47 | 中におりませながらそれぞれの項目で代表書きサブを書きということで<br>整理をしていきたいと思います。そういう意味で欠損のところ(8)が抜<br>けているところは差分として入れていくということで整理をしたいと思っ<br>ているということでございます。 |
| 1:01:04 | 1 構成としては、全体枠そういう形でやっていくということと、  |
| 1:01:10 | あと、この資料自体としてセンター介護資料に向けてもそうですが、修<br>正をしなきゃいけないのは、右下 290 ページ、ここで、  |
| 1:01:20 | 漏えい箇所と漏えいのは、よく漏えいとして考えられる。  |
| 1:01:26 | 地域だったり配管の範囲をどう設定するのかということで、その考え方<br>がそもそも 290 ページにかけてないということこれが発作んで、何だか<br>よくわからない 292 ページの 20%に全部押し付ける形。                     |
| 1:01:42 | になっちゃってるので、まず全体の考え方を 290 ページのところ、ち<br>ゃんと整理をしていこうということで考えてます。   |
| 1:01:49 | 基本的には演芸できるところでこれで演技できるのかということの前提<br>を書いた上で、想定箇所を変え、考えた上で最大漏えい量になるところ<br>ってのをどう考えたのかと、いうことを示していくということとその漏洩量<br>最大になるところで、      |
| 1:02:04 | 漏洩量として考えられる機器の容量、配管の容量を全部足し合わせ<br>て、実際のウェブカウントにしていくということで、説明を展開しようと思<br>ってます。   |
| 1:02:17 | はい。   |
| 1:02:19 | 他何か。  |
| 1:02:21 | それぐらいかな。はい。資料の最初の表片括弧 1 の、10 条の①は以上<br>です。  |
| 1:02:30 | はい。   |
| 1:02:33 | はい。はい。どっかで聞いた方がいいですよ。全部流すよりは、   |
| 1:02:38 | じゃあ、垣内で区切りましょうか。その前に評価項目一覧表の話もあり<br>ましたので、まずそっちから。  |
| 1:02:46 | 確認していければいいかなと思っています。  |
| 1:02:55 | 軽微な確認なんですけど、  |
| 1:02:58 | 273 ページ名で、  |
| 1:03:03 | 評価項目の上のタイトルの欄、水色ハッチングにしている、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:03:09 | それで※書きの内容は非常にシンプルになったのかなと思ってんですけど。  |
| 1:03:14 | ここで言う評価条件っていうのは、  |
| 1:03:17 | 先ほどの本文でも議論のあった通り、   |
| 1:03:22 | 5行目の左から5行目の分類っていうところで示す評価条件ということ<br>でいいんですよね。   |
| 1:03:29 | はい、二本木西尾でございます。はい。大丈夫でしょうか評価条件か書<br>いてある評価条件の話です。はい。はい。それで、275ページ目とかで<br>ずらっと耐震関係ではほぼほぼ評価条件という形で、 |
| 1:03:45 | 示されているんですけども、上のタイトルの※等、個々の内容がわかる<br>ようにこの内容のところにもコメント方した方が見やすくなるんじゃない<br>のかなと思うんですけどいかがですかね。      |
| 1:04:06 | 米田でございます。ごめんなさい私がついていけませんでした。どこ、例<br>えば、はい。275ページ目の60、27条59の                                      |
| 1:04:19 | はい。両括弧DからHっていうのは、この下もそうなんすけど全部評価<br>条件じゃないすか。そうでないように、左側に機器の耐震評価にかかる<br>っていう部分があると思うんですけど。        |
| 1:04:31 | はい。この文の冒頭に※書けば、リンクが繋がるのかを言ってるわけ<br>です。  |
| 1:04:36 | はい、宮城石田でございますはい、ありがとうございます。ちょっとそう<br>いう形でちょっとリンケージがよりわかるように、整理をしていきますあり<br>がとうございました。             |
| 1:04:46 | 評価項目一覧表は、とりあえず以上ですか。他、規制庁側から確認等<br>あればよろしく願います。   |
| 1:04:59 | では特になければ、また後で戻る可能ですので、  |
| 1:05:03 | 最初の280ページ目以降の漏えいの話から  |
| 1:05:10 | 確認を進めていきたいと思います。  |
| 1:05:15 | 200 呉 84 ですかね、アノ十条の①。   |
| 1:05:21 | ていうところで大体月曜のヒアリングの際に、もう構成もろもろ含めて、<br>いろいろとコメントしたところなんですけども、                                       |
| 1:05:31 | その中の一つとして例えば292ページ目で、   |
| 1:05:36 | 1バッチ処理量に対する10%、   |
| 1:05:39 | この10%っていうのは補足説明資料でも、  |
| 1:05:44 | これを考慮して容量を設定しますと書かれてるんですけど、   |
| 1:05:48 | 10%自体の根拠っていうのがあんまりなくてですね。   |
| 1:05:53 | ここは   |
| 1:05:56 | 容器出口配管の構造なり寸法なり、  |



|         |   |
|---------|---|
| 1:05:59 | そっから算出される容積とかを示してですね。   |
| 1:06:03 | しっかりと10%超えないっていうところの根拠を示す必要があると思いますがいかがですか。                                       |
| 1:06:22 | ないです。日本イシダでございます。   |
| 1:06:25 | そういう意味では10%ってあんまり書いてもあれだけど、結構これポンプの場合だよ。重要な、どっちかって、一番左ヒライでちょうど排実際のそのポンプへの影響を考えると、 |
| 1:06:37 | 残す医療ってのが実際こうなりますっていうのが構造から出てくるやつね。はい。そうすつとさ、                                      |
| 1:06:44 | 10%の話在设计根拠に説明しますなんじゃないよね。今は実際の容器形状を踏まえた残留液量というのをどうはじいているかを、はい。個別補足で説明しますってことだよ。   |
| 1:06:56 | そこが変に誤解がないように書くしかないのかな。   |
| 1:07:00 | 要するに、これって、ポンプの運転可能。   |
| 1:07:05 | 圧力の話絡めてやってるんですかね。結局はそうです。そうです。ポンプ自体がに空気を巻き込んで、ポンプの故障に繋がらないように、                    |
| 1:07:16 | 出る手前で、コンピューターを止めるというときの、設定になっているということでございます。必要最低水位の考え方を出してそれが確率10%っていうところで、       |
| 1:07:29 | 担保されますよっていうのを示していただくっていう形になるんですかね。  |
| 1:07:33 | はい。人間イシダでございますそういう形になるかな。はい。何か、   |
| 1:07:39 | 全体の考え方が確かに実態をその容器に対して適用したとしてもこうなってますという紐付けで、説明をさせていただくということかと思えます。はい。             |
| 1:07:51 | 補足の中でもう10%ありきでも評価がスタートしてる部分がありますので、そこはしっかりと補足の中とかで示せるように入り、整理をお願いしたいと思います。        |
| 1:08:07 | あと、関連して、閉じ込め03ですかね、補足説明資料の、   |
| 1:08:16 | 閉じ込め03の、  |
| 1:08:18 | 3ページ目から1ポツの概要っていうので始まると思うんですけど。   |
| 1:08:23 | 本資料の、   |
| 1:08:25 | スタートとして、  |
| 1:08:28 | すでに代表が選定されているところからスタートされてるんですね。   |
| 1:08:34 | そういう意味だと、他の項目と比べて、評価対象の選定に係る  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:08:40 | なんていう項目っていうのを、共通 12 と同様に設けた上で、共通中に示した事項の根拠となる部分、いわゆる業界を埋めるような部分っていうのを補足するような構成にさせていただきたいと思うんですけど。 |
| 1:08:53 | いかがですか。   |
| 1:08:59 | はい。日本原燃志田でございますおっしゃっていただいておりますが、3 ページの真ん中辺に本資料で代表設備を入れとして、ヒライ書き下しているので実際の評価のプロセスだったり評価対象であったりと、   |
| 1:09:13 | 全体の流れがわかるようにしてそれぞれ代表をもとに書き下していくという流れにしていければと思います。はい。はい。お願いします。                                    |
| 1:09:23 | あとはですね、共通順位戻っていただいて、295 ページ目の、このろ過装置類の話なんですけど、  |
| 1:09:32 | これって結局、今後の資料の直しで、   |
| 1:09:35 | 反映なのかなと思うんですけど、差分として抽出されるっていう理解でいいんですかね。  |
| 1:09:52 | ここなあ。   |
| 1:09:55 | 多分言われてるのは、  |
| 1:09:59 | 今の代表のですね。はい。あれですよ。代表の表の中で、単純に黒丸だけ打ってあるんで、   |
| 1:10:06 | この中で、代表として(1)の①いわゆる容器の話と、括弧 2、ろ過装置の話を、この代表で説明しますと言ってるつもりで今、                                       |
| 1:10:20 | 書いてるということで整理してるんですけど、その位置付けが多分、いきなり容器、いきなり、6 月を突いてさらに差分の話もなく、                                     |
| 1:10:31 | 294 ページみたいな話が始まるんで、その一連の流れをちゃんと代表との関係で説明をして、ここで説明する対象というのが何で、それに対してどういうことを説明していくかという最初の里道。        |
| 1:10:44 | かえってそれぞれにつなげていくということをすれば、全体の流れも含めてわかりいと、明確になるかなと思います。   |
| 1:10:51 | はい。   |
| 1:10:53 | そうですね結局は、   |
| 1:10:56 | 欠損部堆積の話とか、あと容器の形状とかで、代表差分っていうのが出てくるのかなと思っていたので、その考え方にのっとると、今回のやつは、                                |
| 1:11:08 | 容器の容積の出し方が少し変わるっていうところで、差分なのかなっていうイメージでいたんですけど、そういう考え方ではなかったですかね。                                 |
| 1:11:19 | はい、西田でございます。ちょっとそこの整理の仕方は、もうちょっと考えます現状小阪です。はい。ごめんなさい。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:11:30 | ちょっと変な方向に行くかもしれないんだよ。はい。はい。私の理解は最初に、石原さんが言われたようにx97の評価と、                 |
| 1:11:39 | というのが代表の説明事項でその中にはろ過装置での漏洩量設定もあると。                                       |
| 1:11:47 | ということで、一連の説明にはこの漏えい量の設定の(1)だけじゃなくて(2)の説明も必要だと。                           |
| 1:11:56 | ということで入ってるのでいいんだと思ってましたけど、   |
| 1:12:03 | その点では、荒井さんはどういう認識で今話をしています。  |
| 1:12:10 | 評価、  |
| 1:12:14 | 手法。  |
| 1:12:15 | 評価条件。  |
| 1:12:17 | ていうところで、   |
| 1:12:18 | 評価手法が、   |
| 1:12:20 | 評価手法の対象が何の評価をするかっていうところが変わってくる関わってこないかっていうふうに思っていて、                      |
| 1:12:28 | ここで言うと、(イ)、両括弧1と、両括弧2っていうのが評価手法が違うので、                                    |
| 1:12:35 | 両方代表として選定してるっていうイメージでいたのかなあと思ってた思っていたんですけど。                              |
| 1:12:40 | そもそも容積を出すっていう、   |
| 1:12:43 | 意味だと、形状がタダ違うだけなので評価条件が違うので、  |
| 1:12:48 | 差分として書ける。  |
| 1:12:51 | 書くっていう手もあるのかなって思ったってだけです。  |
| 1:12:54 | 古作です。それで言うと、(1)での評価方法と、(2)での評価方法にも共通事項があるから、そこはダブって説明する必要ないでしょ。          |
| 1:13:07 | ということかな。そうです。  |
| 1:13:10 | おそらくです趣旨はわかりました。代表選定とか差分とかっていう、  |
| 1:13:16 | ウタ設備でも云々っていうとちょっと違いが出てきちゃうけど、  |
| 1:13:22 | だからそうだな。私自身もう、その説明としてダブるのあんまり、   |
| 1:13:29 | 書いてあってもいい。   |
| 1:13:34 | 省くの難しいような気もするのでもいいんですけどさ、なるべく類似のところは類似であって、この部分が違いますっていうのがわかったほうがいいかなとは、 |
| 1:13:45 | 思うんですけど。   |
| 1:13:47 | ちょっとどういう対応ができるかっていうのをイシハラさんの方で説明いただき、                                    |

|         |  |
|---------|--|
| 1:13:52 | はい。日本原燃石田でございますはいまず、そうですね。今、差分も含めてごちゃまぜに書いてるので今おっしゃっていただいて、x97 の評価をしようと思うと、                |
| 1:14:04 | 漏洩量の対象として、292 の容器というものと、295 ページにある呉ろ過装置と、  |
| 1:14:14 | いうものが、そう考えられますということ。その上で、292 頭、295 で共通的な説明がある場合には、   |
| 1:14:25 | 仕様表から持ってきますとかいろいろな考え方が共通してるものを、全体の容積から見ますよなのか、その辺の共通項は、最初に書いたら、あとは、                        |
| 1:14:35 | その分は同じで、緑化装置であったら特別考えなきゃいけないのこういう部分ですという書き方で、整理をしていければと思います。                               |
| 1:14:44 | 実際、ただもう一つあるのは、   |
| 1:14:47 | 第 290 ページで今もともと、   |
| 1:14:51 | 一番左側の第二課ステーター処理供給槽、  |
| 1:14:56 | もう弁までとタンクの中を漏洩量としてカウントしてましたけど、この間の話をさせていただいた。  |
| 1:15:03 | 漏えい箇所をどうするか、逆止弁みたいのがあって、どっちがにいかないよねみたいなことがあればそこで維持できますよねみたいなこと考えると、実際あのろ過装置の下側で切れるとですね。    |
| 1:15:15 | ランプロック装置と配管全部また落ちてくるので、そこが多分最大なのかなということで、カウントとしては全体容器もろ過装置もしないといけないという、対象にはなるので全体含めて資料構成も、 |
| 1:15:28 | そういう形で抽選をしていこうと思ってます。はい。   |
| 1:15:39 | コサクですアライさんどうぞ。はい。  |
| 1:15:41 | わかりました。そういう意味だと、   |
| 1:15:44 | 差分という形になるんですかね結局、  |
| 1:15:50 | 日本原燃石田でございます差分というよりは   |
| 1:15:53 | 二つの項目が代表でランダムに関係する要領になりますということでしたしそれぞれ共通項がある場合は、(1)で書いたものを(1)の各というニワ(2)側では                 |
| 1:16:07 | こういう部分が違うところだということを知るように変えていくということだと思ってました。  |
| 1:16:12 | まさにそれが差分かなって思ったってだけ、ごめんなさい、古作です。荒井さん、言葉遣いがちょっと。  |
| 1:16:19 | 難しくて、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:16:21 | 代表差分って言うてる時今設備っていう意識でずっとイシハラさんなり私はして、  |
| 1:16:28 | ここは漏えい液受け皿。  |
| 1:16:31 | を意識してるので、  |
| 1:16:34 | x97 って意味でやって容器ろ過装置じゃないんですよ。  |
| 1:16:40 | そういうことですか。はい。評価対象何に見るか、その評価対象っていうものに着目して、代表、笠文化みたいなことをやっているんで、あくまでこの上に乗っかってる設備は評価対象からしゃべるとその中身の一部でしかない。                                  |
| 1:16:56 | 思ってますんで、これ代表差分ってのはあんまり使わないように今使うと訳わかんなくなって、そういう考え方にはしてません。了解ですちょっと私が踏み込んで細かいところで、さらに代表者分っていうのを考えるようになってしまったってだけですのではい。ちょっと元に立ち返って理解しました。 |
| 1:17:16 | 補足です、一方で、その、その内数の中での評価手法の中でも、パターンとしては幾つかあるものがあって、それについても   |
| 1:17:29 | 共通するところは最初のもので説明をして後続のものは、類、同じであれば同じです。違いはこういうところですよということをわかるように説明されると。  |
| 1:17:41 | ということで理解をしましたのでよろしくお願いします。   |
| 1:17:45 | はい。  |
| 1:17:46 | ありがとうございます。承知いたしました。   |
| 1:17:49 | はい。  |
| 1:17:50 | あとは、廃棄てちゃあれですけど、簡単なところで、   |
| 1:17:55 | 資料の中で、例えば 305 ページ目で、   |
| 1:18:01 | 回収槽ってあるじゃないですか。  |
| 1:18:04 | おそらくこれ、漏えいした後のものを回収するっていうところの設備なのかなとは思ってますけど。  |
| 1:18:11 | そこら辺の役割を明記しないと、評価対象の整理の中で、   |
| 1:18:17 | 漏えい元となるものっていうところの検討対象に、  |
| 1:18:22 | なってしまう恐れもありますので、   |
| 1:18:25 | その切り分けをうまくするためにもちょっと役割とかっていうのを目明確化したほうがいいのかと思うんですがいかがですかね。   |
| 1:18:33 | はい。日本イシダでございますはい。そうですね。これ、   |
| 1:18:39 | これとは違う。ちっちゃいですか。また別に漏れない。  |
| 1:18:44 | いやあ、これも受け皿って言うてみれば、  |
| 1:18:47 | これ回収倉庫ってない。違う。いや、ついてる。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:18:57 | でも、これ回収槽自体の出っ張りなんだよね。これ、これも込みでの容積なんだけど。はい。これ何のためにちょっと回収すっけ。                       |
| 1:19:07 | はい。日本原燃瀬谷でございますと目的も含めて、明確になるように記載をしますはい。はい。                                       |
| 1:19:15 | 私からは漏えい関係の補足まで含めて以上ですが、他規制庁側から確認対応よろしく申し上げます。                                     |
| 1:19:25 | 規制庁甲斐です。ちょっと確認させていただきますがまず先ほどちょっと説明あったと思うんですが、先日の会合資料案の部屋を受けて、                    |
| 1:19:37 | 結局、   |
| 1:19:39 | ここで保有する、  |
| 1:19:40 | 口、塗料液量漏洩量は変更しそうですか、しないんです。  |
| 1:19:48 | はい、弓削西原でございます。河合ます。   |
| 1:19:51 | 変わるんですけど今、その細部も含めて確認して、今日の段階で出きるかどうかはちょっと今検討中ですけど、それぞれのパーツで分けて、分けれる根拠も含めて図面から、    |
| 1:20:05 | あと構造から外れてますので、変わることは確実です。ただどこを取るかはちょっとまだ検討評価中です。はい。                               |
| 1:20:14 | はい。政調会です。ちなみにそのときにその案。  |
| 1:20:18 | どのように扱われる、今までは1バッチがこの上にしか乗らないから、1バッチ分を基準に考えますっていうところで、前から                         |
| 1:20:28 | 案、そこが、  |
| 1:20:30 | ちゃんとアンドウにならない理由っていうのをちゃんと説明してくださいねって言ってたところ、アンドウの部分が出てくるっていうことなんですよね。             |
| 1:20:44 | はい。宮城ニシダでございますはい。バッチの話との関係でどう整理するかですけども、  |
| 1:20:51 | もともとの絵の中でもですねちょっと我々の方の説明が不明確だったところもあり、  |
| 1:20:57 | 実際 290 ページの系統でいくとですね、   |
| 1:21:03 | 確かに第 2 活性炭処理供給槽と第二課セーター処理受け槽、   |
| 1:21:08 | はバッチでそれぞれ 1 バッチ分が左から右に動く形になります。そのバッチが終わった、送り終わった瞬間に、どうなってるかというと、                  |
| 1:21:20 | 供給槽と受けソウノ液が逆転するのがまず状態なんですけど、ろ過装置と配管にも水が入った状態が、多分止まった状態なので、                        |
| 1:21:30 | 1 番手云々の話をするにはもともとこのタンクで切れるから 1 バッチがどうのこうのという説明したんですけど、最大量を考えようと思うと、第二課セーター処理供給槽が、 |

|         |  |
|---------|--|
| 1:21:41 | 満杯とかある程度量が入っててかつ、その前のバッチで送った分の残液がろ過装置と配管残ってる状態、これが多分、  |
| 1:21:51 | ラップ。   |
| 1:21:52 | インターが多くなるパターンかなと。それを全体その右の方に移して行ってそれぞれ、  |
| 1:21:58 | 園芸しながら、この範囲だったらどうだ、この範囲だったらどうだが一番最大になる量っていうのを、はじこうと思ってますんで、ただおっしゃっていただいたようにバッチの区切れってのが、                    |
| 1:22:09 | 上の第一化成田井処理受け槽からどういうバッチで送られてきてここが演芸できるのかっていうのも含めて全体の整理は必要だと思ってますので、そういった意味も含めて全体の説明シナリオと、                   |
| 1:22:20 | いうのを整理していければと思っております。  |
| 1:22:22 | はい。村長課です。で、結果が結構変わる。   |
| 1:22:27 | 思うんですが、そこは今の設計からは変わらない。  |
| 1:22:32 | ぐらいでくるっていう見込みはあるんです。   |
| 1:22:35 | はい。日本原燃車でございますはい。見込みはあります。はい。はい、規制庁ではその結果を待ちたいと思います。今日出てくる資料でもまだちょっと、                                      |
| 1:22:43 | 追いついてないということです。数字になる可能性はあります。ただこういうやり方で、区切って、評価をしていって最大なるものを選ぶという考え方は、書けると思ってますあとバッチとしての状態で、えんじができるのかどうかと。 |
| 1:22:58 | いうことの説明も、しっかりさせていただくという意味では資料の修正はしてあります。   |
| 1:23:03 | はい、規制庁カセわかりました。290 ページなんかも、前から   |
| 1:23:09 | 相当ろ過装置に、どっちも工水が、光田の駅があるような、  |
| 1:23:16 | 記載ぶりになってルー   |
| 1:23:18 | で、それでアンドウアノ関係をもうちよつと聞いてて、特にろ過装置の説明のところですね。   |
| 1:23:23 | 1 番地処理量とは別にとか書かれると、じゃあアンドウになるんじゃないかとか、でもここ実際は終わってそういうことをする。  |
| 1:23:31 | すいませんコサクです。  |
| 1:23:35 | 私も最終的にはアンドウになると思っていました。  |
| 1:23:41 | ばってしまいそう。  |
| 1:23:43 | 処理するタイミングにおいては電話開放当然しているわけで、その時に旅行全量入っている。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:23:52 | ことになるので、20%を置いてですね、なので、現状であれば、297 ページで書いてあるところでこれの最大というよりは、                        |
| 1:24:03 | 組み合わせをした上で   |
| 1:24:06 | 9 万 5000 プラス 1001 万 2000 円と。   |
| 1:24:09 | いう 7 万 7000 分が   |
| 1:24:14 | 漏えいリスクのある状態になるべきがあると。  |
| 1:24:19 | ということだと思ってます。  |
| 1:24:22 | それで漏えい検知で隔離するとかっていう、自動支援ケースを入れるんだったら別ですけど、倉庫まではしないんでしょうから、閉 7 万 7000 円となって、        |
| 1:24:36 | その上で、  |
| 1:24:39 | 312 ページの判定のところ行くと、   |
| 1:24:43 | このAの 6 万 5000 というのが 7 万 7000 に変わってと。   |
| 1:24:47 | ということですけど、A、   |
| 1:24:50 | 増益という関係では、4.4 が上がっても 5、  |
| 1:24:56 | ぐらいなんでしょうから受け皿の中には十分とまたあります。   |
| 1:25:01 | いうことで設計を変えることにはならないっていう、今の状況かなと理解をしてますけど、イシハラさんあってます。                              |
| 1:25:08 | はい、峰志田でございます。はい。考え方をおっしゃっていただいている通りです実際スギタ閉めれば 1 万 2000 円掛ける 4 基なので、その分、カウントされるのと、 |
| 1:25:18 | あとは配管の分も全体ももうはじいて、   |
| 1:25:22 | 立ち合わせようと思ってますんでその分も足し合わせられます。で、4.4 が 6 号、  |
| 1:25:30 | 6 ぐらいだよな。6 ぐらいになるかなというところぐらいです。はい。   |
| 1:25:34 | 細田です。すいません。わかりました。   |
| 1:25:36 | その上で   |
| 1:25:39 | 規制庁かすみません、私勘違いしました。  |
| 1:25:43 | これが 4。   |
| 1:25:45 | イトウandlになるタイミングでっていうこと。  |
| 1:25:50 | 質問でございます。実際この図で書いてあるポンプが、逆流を演じていけるポイントにはなってるんですけど、                                 |
| 1:26:02 | 右側から左側に入ってくるって、  |
| 1:26:06 | だんだん逆だよな、右側から左側に入ってくる、ないんですけどその逆は防止できないので、   |



|         |   |
|---------|---|
| 1:26:14 | ポンプより左側で落ちれば、右側のものが来ないですけど、ポンプから左が右側で、破断されると、左側のタンクも含めて全部落ちてくることになるので、一番最大は処理、供給槽に、           |
| 1:26:28 | バッチをスタートする状態利益が入っていて、その前のバッチで流した槽駅がろ過装置 4 棟に入っている、例えば 4 日装置処理とかに 4 棟に入っていると。                  |
| 1:26:40 | いう状態、これがマックスです。   |
| 1:26:42 | なので、そのMACCS分を、体幹部も全部カウントして、漏えい量として評価をしようと思ってるのが今の現状のやり方です。                                    |
| 1:26:51 | はい、政調会長わかりましたすみません、私振込ついてませんでした。  |
| 1:26:58 | とちなみにこれx97 だけでやってますけど他の設備も全部、   |
| 1:27:03 | そういう考え方を見ていくってということなんですか。はい。日本イシハラでございます現状そういうことをやらないと、ちょっと本当にこれでいいのっていう説明が、                  |
| 1:27:13 | 反応した上荘なので、そういう考え方で全部に展開しようと思ってます。はい。  |
| 1:27:19 | はい。規制庁加瀬です。そ、俺も余裕あると言えはるので。はい、わかりました。   |
| 1:27:26 | その前提の上で、運転の流れなんかを今補足説明側でこう書いていただいて、閉じ込め 03 で、   |
| 1:27:35 | の 4 ページ目なんかに戻っていただいておりますがこういうところを、  |
| 1:27:40 | 全体として徐々にこう、   |
| 1:27:42 | 徐々にというか、共通 0。   |
| 1:27:45 | 共通中に本体の方で変えていくってことなんです。はい、西田でございます。今の 290 ページの上です。ねやはりそれぞれの演技できると思ってるポイントなんかでどういう状態が想定されるのかと。 |
| 1:27:59 | 例えば液を一掃してない状態で状態を、菅管理、もともと空気作動弁で液体を移送しない場合閉になりますとかですねそれで実態の、                                  |
| 1:28:12 | 設備の構造との関係で、えんじができるポイントや報であると実際液が入っている、処理をする前のポンプが動く状態で、処理棟の方には、                               |
| 1:28:23 | 液が、その前のバッチの分が残ってる状態ですよとかそういう前提条件をそれぞれ書いていくのを、このページでやろうと思ってました。                                |
| 1:28:31 | はい、清町オカです。はい。その流れでお願いします。   |
| 1:28:36 | ぱっとちょっと軽微な点を幾つかなんですけど 296 ページ目で、  |
| 1:28:43 | 共通 12 側の 296 ページ側で、   |
| 1:28:47 | 数式等の説明を少し、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:28:51 | 丁寧なされたってところなんですけどまず注記の1は、これ道具業績だけじゃなくて配管部業績にも、   |
| 1:28:58 | 説明にも使おうと思ってここ書かれていますよ。   |
| 1:29:11 | IR、二条の1って、括弧Cにも使ってるよねっていう、   |
| 1:29:16 | そう。はい。同じ※1は両方触れないと。はい。はい。はい。おっしゃっていただけると。はい。規制庁カセであと半径がこの図で、誰でも分かることはわかるんですけど、         |
| 1:29:31 | 図面上内径使って、式の上で半径使ってるっていうのも何か、   |
| 1:29:36 | 下は、順注釈にはない形使ってて、次ない形です。整理した方が丁寧じゃないかとかそういう、見せ方の配慮みたいなのを、                               |
| 1:29:47 | もしもいただいてもいいのかなと思った次第ですがいかが。  |
| 1:29:53 | うん入園者でございますはい。   |
| 1:29:56 | ちょっと式自体はどっかの用紙、講師から持ってきているので、これを今回のものに変換した場合に、どういう式の中身になるかと。                           |
| 1:30:07 | ということ、括弧括弧B括弧シート間継続アンケートというのが流れてわかるように、整理をさせていただきます。はい。はい、鶴岡です。                        |
| 1:30:17 | あと、298 ページ目、   |
| 1:30:21 | 今回、今まで   |
| 1:30:24 | 添付書類とだけ書いてあった2ポツ目のところですね、  |
| 1:30:28 | 設工認申請書の添付書類の構造の別紙って書いていただいたんですが、何の構造図かっていう、そのタイトル、                                     |
| 1:30:37 | まで開いていただいた方がわかるかなと思ったんですが、   |
| 1:30:42 | その辺はいかがかと、添付書類を使うのであれば、そこまでやる必要があるかなと思ったんですが、今、  |
| 1:30:55 | はい、日本ヨシダでございますはい。ちょっと構造図の後、さらに下側での階層で野辺氏との関係する構造図の名称も含めてはい。記載をさせて特定できるようにさせていただきます。はい。 |
| 1:31:07 | はい、清町オカです。よろしくお願いします。  |
| 1:31:12 | あと3ポツ目のところが、   |
| 1:31:16 | ずっとこの黄砂の話が2%程度の減少っていうふうに、  |
| 1:31:21 | 書かれていて実際黄砂は、   |
| 1:31:24 | 幾らかっていうことも含め、ここが臭い。  |
| 1:31:29 | する必要2%のアノ。   |
| 1:31:33 | 根拠を説明する必要があると思っていて、ここ、補足説明も確かなくて、実際公差が幾らでやりました。はい、宮城西田でございますコウ作業自体でいくと1%ぐらいですね。はい。     |

|         |  |
|---------|--|
| 1:31:45 | はい。成長は、こういう部分、先ほどの 10%の話もありますが、ちょっと埋めるような数値を出しているところは、共通順位の会計ではその数値の小アノ、     |
| 1:31:57 | 考え方がちゃんとだとかっていうところをちゃんと示していただきたいので、こういうところは少しまた見直していただければと思います。              |
| 1:32:05 | は、そこ、  |
| 1:32:07 | 御社が幾らだから、  |
| 1:32:09 | 何%ですっていうことをちゃんと説明していただければと。  |
| 1:32:16 | はい。助言者でございますまず全体の考え方、かつアノコウが、代表的にどうを考査表も含めて見ているかということの、代表としての説明ということの、今、指揮し、 |
| 1:32:28 | きつとご退席を書いてないですが、この辺の関係性もちよっと拡充をして、繋がりも見えてわかるようにしたいと思います。                     |
| 1:32:36 | はい。規制庁岡です。次、欠損部の考慮のところ、300 ページ目の②の話は、  |
| 1:32:43 | あって一律大きいサイズで体積を算出する場合があります。303 ページ名のところで、                                    |
| 1:32:53 | ちょっとわかりづらくて、   |
| 1:32:57 | 新と國西theイデソネ震災は、断面は共通だけど横方向の長さが普通あって、それぞれの地域ますとあってでも元の考え方からいけばここは②なんじゃないかと。   |
| 1:33:09 | いうふうになるんですが、   |
| 1:33:12 | こら辺って何か考え方ありますか。   |
| 1:33:25 | 日本原燃石田でございます。あれですね、今言われているのは、  |
| 1:33:34 | でもあれだな。  |
| 1:33:45 | C型のやつは、今言われているのはもともとは形状がこの図になっているものを、視覚の形状として、                               |
| 1:33:56 | カウントしますと、これが①の断面とかも含めて、実際の形状よりも体積がオオクマにしますよと言ってるのが、                          |
| 1:34:06 | もともと 01 を使ってる理由なんですが、  |
| 1:34:09 | 今岡さんが 0 にも該当するんじゃないかと言われたのは、どこの部分ですかね。はい。それちょっと強い方の説明の下の方、800、925 とか、        |
| 1:34:22 | 610 のやつ  |
| 1:34:25 | ええと今誤解を与えている理由はやっぱり①が断面であって、   |
| 1:34:31 | ①②とも断面の考え方であって、  |
| 1:34:36 | それが長さ方向で適用してしまうと、かなり   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:34:42 | 後の保守的になるので、実はその設置、面積ですかね、設置しているところの断面はってということなんだろうと思うんですが、                                 |
| 1:34:55 | そういうことなんですよね。はい、井上西原でございますおっしゃっていただいている通りですただここで間違いがあるにも河津 その違い通りやりますよと言ってる考え方が書いてないのでそこは、 |
| 1:35:07 | この呉評価パターンシバタ01を使ってやった形状ってのが一体全体の形状のどの部分を言っていて、実際この610から925の三つのパターンを、                       |
| 1:35:18 | そのままおっきい925でやったときにあまり評価上あまり意味のない保守性を持たせてしまうということの関係性も含めて、記載の拡充なりを考えたいと思います。                |
| 1:35:31 | はい、末岡です。はい。誤解を与えないようにっていう意味でのコメントですので、そういう意図でとらえていただければと思います。303ページ目ここ、C型の方は、              |
| 1:35:42 | この横を60から何でモデル化したら65になってるんですか、数式も60だから。   |
| 1:35:51 | モデル化のところが起きないんですか。   |
| 1:35:57 | ヤギインダでございます。これはこちら大変申し訳ございませんアノ式の通りで誤記でございます6060でやってますはい。                                  |
| 1:36:04 | はい、規制庁、そういうところも、せっかく審査会合にもかかるようなものですので、少し確認の方しっかり進めていただければと思いますし、                          |
| 1:36:19 | 309ページ名の田巻。  |
| 1:36:25 | 何ですか。古川。   |
| 1:36:29 | 水平に設置されるよう調整を行うことから、   |
| 1:36:33 | ちょっとまだ、設工認の添付書類としては、   |
| 1:36:39 | 説明が薄いなっていう。  |
| 1:36:42 | ところで、  |
| 1:36:44 | 具体的にどうやってこの据付状態の推定であることを担保していくのかっていうことなんだと思いますが、   |
| 1:36:51 | 何か考えられますか。   |
| 1:37:05 | はい。逃げインダでございます床自体の水平の確保と、実際設備自体が、ポイントとして今回の領域イケダの部分が、                                      |
| 1:37:18 | 勾配がなく水平になるようにということで、全体の調整ですね、高さの調整だったりというのを、何らかパーツを挟んでやったりということもあるので、                      |
| 1:37:29 | そういった流れがわかるように、ちょっと記載を削除させていただければと思います。すいません。補足です。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:37:38 | ものは絶対はないんですよ、水平、本当の水平に全部取れて、  |
| 1:37:44 | ええ。   |
| 1:37:46 | 夢もないんだってことはありえない。   |
| 1:37:49 | ホソノ考査がある。   |
| 1:37:52 | ですよ。  |
| 1:37:54 | なので、そこら辺の部分はどう取り扱うのかということの説明するのが大事だと思いますけど。   |
| 1:38:10 | ハタ悪いね高さね。また笠野構想ミヤグチにとっては、こっちが0でこっちがプラスで何かマイナスなのか、だったらまあ勾配は出てくる全体の評価に対して、                              |
| 1:38:21 | どこまでの影響がありますかっていうことじゃないかなと、全体はず。  |
| 1:38:27 | もう内側の高角シライちょっと。   |
| 1:38:31 | 涌井委員。はい西原でございます。ちょっと実態含めておっしゃっていただいているように評価上どういうポイントを押さえるべきかというところに抜けがないようにということも含めて整理をさせていただきます。     |
| 1:38:43 | はい、規制庁カセ結局は、はい。黄砂の話、いつ思えますので、ちゃんと担保することをしっかり説明してもらって、そこでどのぐらいの  |
| 1:38:56 | コバヤシを考慮しなくてもどうだっていう説明になるかって言うのもしっかりポンプだけ説明いただければと思います。  |
| 1:39:07 | あとはですね、300、   |
| 1:39:11 | 9 ページんじゃないでしょうか。  |
| 1:39:15 | すいません 310 ページ目で、ここの府 2 行目、今言った  |
| 1:39:21 | 公称値とか、黄砂の話もあるんです添付書類、構造がこっちは残っていましたので、  |
| 1:39:28 | 同じように、  |
| 1:39:31 | はい。はい。  |
| 1:39:34 | はい。   |
| 1:39:35 | このスポーツ中には、書類とかあと審査会合資料案の添付書類、添付図面になっちゃいますので、その辺はしっかり、はい。ないようにお願いします。                                  |
| 1:39:47 | はい、ありがとうございます。ここもですねすいません若干すいません今全体、この漏えい液受け皿の話、食う量の話とかいろんなものを合わせて同じような展開にしていこうと。                     |
| 1:40:01 | したときに、若干、310 ページも、許容限界として(2)はおさまりが悪いことを書いたりするので、教育委員会の教育委員会として書くこと、例えばですね一番上のリード文に近い形ですけどこれはどちらかというと、 |

|         |   |
|---------|---|
| 1:40:14 | 評価結果 6 ポツの話の中で、書いたりするものも、ここに入ってますのでちょっとその辺のやりとりは整理をしていこうと思ってました。                                      |
| 1:40:23 | はい、規制庁河津 先ほどの仕様の関係なんかも含め、全体的にどこに書くのが一番フィットするのかっていうところまで含め、検討いただくということで認識しました。                         |
| 1:40:35 | で、あと 312 ページ目の結果のところなんですけど、漏えい器受け皿だけ、   |
| 1:40:44 | 戸田処理の考え方を数値に言っていて、  |
| 1:40:48 | 他はパラメーターに言っているんですが、で、   |
| 1:40:52 | 閉じ込め 03 の方も数値に、全部の数値に打っていただそのポリシーは全部同じだったんですが、これ何か考え方あるんです。   |
| 1:41:07 | イノウエニシウラでございますあるべき姿に合わせます。一つ一つ数字変えても意味がないので、全体共通の考え方として、植野アノコウムラインナミというところで、                          |
| 1:41:17 | 記載をするということで整理をしていきたいと思えますはい。  |
| 1:41:20 | はい。規制庁角ですよろしくお願ひします。あと、閉じ込め 03 の方、少しだけ確認なんですけどちょっと、   |
| 1:41:28 | 今結構直されるっていうところもあって前段の辺りから、少し記載を整えられるんだと思うんですが、  |
| 1:41:37 | 前回ちょっとだけ確認させていただいた 38 ページ目の、  |
| 1:41:41 | パッキングのいたIIを、  |
| 1:41:45 | 藤の話でちょっと今回X切りのパートx98 で片方に偏らせて、増益受け皿作りしましたというところで、   |
| 1:41:55 | ちゅ中土地パッキングが違う力、同じものを二つ作るっていう考え方じゃなくてこっちにしたのは、   |
| 1:42:02 | なんですかっていうのを聞いて確認しときましたような気がするんですが。  |
| 1:42:06 | 作ってなかったイトウえられました。   |
| 1:42:28 | ちょっとお待ちください。  |
| 1:43:32 | はい。二本木ニシノでございます。お待たせいたしました。   |
| 1:43:37 | この真ん中に入ってる罰金ですねこれを真ん中で境界にしてそれぞれ同じように振り分けたときに、あと実際の寸法が出た時のですね寸法の管理。                                    |
| 1:43:49 | 測定だったり管理だったりっていうのが結局小数点まで加わって非常に細かい数字になるので、なるべくこれを、整数の範囲にできても整数の範囲で管理をしたいということで、どちらかに寄せたというのが実態のようです。 |

|         |  |
|---------|--|
| 1:44:04 | はい、規制庁数わかります。そういう理由があっってこういう設計にされたんですね結構、  |
| 1:44:12 | 管理上の話ということで、簡単に追記いただいた方がいいかなと思いますので、よろしくお願いします。私からは以上です。                                 |
| 1:44:23 | はい。  |
| 1:44:25 | 規制庁の荒井です。  |
| 1:44:27 | 私がちょっと追加で、   |
| 1:44:30 | 1点なんですけど、今までのやつと共通するのかなとは思っていて、  |
| 1:44:36 | 例えば補足説明資料の閉じ込め 03 の 8 ページ目なんかで、もう今後数字は変わると思うんですが、  |
| 1:44:44 | 黄砂の話って出てくると。   |
| 1:44:47 | 思うんですねここでも、  |
| 1:44:49 | コウサノ上振れ分っていうところで、  |
| 1:44:52 | そうした場合に  |
| 1:44:53 | どの評価でもそうなんすけど、交差を考慮していることの、  |
| 1:44:58 | うん。  |
| 1:44:59 | 示す際のルールっていうのをちゃんと  |
| 1:45:02 | 決めといた方がいいのかなと思っていてですね共通的に、   |
| 1:45:06 | 例えば先ほど言った考査表が、   |
| 1:45:11 | 補足の中で出てくるとか、そういった体系的な整理っていうのを、   |
| 1:45:17 | 今後考えるってことでいいですか。   |
| 1:45:27 | はい。乳井ニシウラでございますはい。何に基づいて、その黄砂を想定していて、それっていうような書き方ですねその展開の仕方、共通的なものをまず作って、                |
| 1:45:40 | 同じように記載の展開をしていくということで、認識をしております。はい。はい。それで具体的な数字が載ってるのは、添付の構造図の座標なりに飛ばすっていうそういうやり方になるっていう |
| 1:45:54 | ことですかね。  |
| 1:46:04 | はい、イノウエニシダでございますはい。考査の考査表内でもってというものがありますのでそこはそのリンケージを図って、特定するということです。はい。                 |
| 1:46:14 | はい。  |
| 1:46:15 | わかりました。  |
| 1:46:18 | 他の。  |
| 1:46:20 | 閉じ込めの、この漏えい器関係で規制庁が確認等あればよろしくお願いします。   |
| 1:46:32 | はい。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:46:33 | では、ちょっとここで、あれですかね、ほとんど、ほぼほぼ、2時間ぐらいたっておりますので、一度中断したいと思いますけど。  |
| 1:46:43 | 日本原燃いかがでしょうか。  |
| 1:46:46 | はい。よろしくお願ひします。はい。はい。それでは、  |
| 1:46:52 | 15時30分から開催したいと思いますので、またその際にお集まりいただければと思います。  |
| 0:00:00 | お願ひしました。   |
| 0:00:02 | はい。そしたら換気風量の話のところからの説明再開お願ひします。  |
| 0:00:10 | はい。二本木西原でございます。換気風量の方ですが、  |
| 0:00:18 | 月曜日の話でも結構ポイントいくつか修正が必要な箇所が出ますのでまず構成として、  |
| 0:00:30 | オオキ河津 アノこれ偉い概要が長いので、全体の目次を最初に挟んで、構成がわかるようにしていくということ。   |
| 0:00:40 | あと   |
| 0:00:44 | 実際の今回の閉じ込めに関する風量の話がいかと。  |
| 0:00:50 | こっから326ページから始まりますがここでも   |
| 0:00:57 | 評価プロセスとの関係どうなってるかということの、全体の流れがわかるようにしていくということで328ページ自体は、評価対象との関係での説明になりますので、328ページから、2ポツ1の説明をするところに、 |
| 0:01:13 | 移動して、全体の対象の話、各グローボックス工程室建屋の負圧等に必要な風量を出すために、  |
| 0:01:26 | 負圧等じゃないんだ、全体の因子としてどういうものが対象になっていて、それをはじくときに、システムとして、は、評価をしないといけないです。                                 |
| 0:01:37 | ここは評価対象が全体、カバーしてるところで代表云々ってのはあまり登場しないのかなと思ってます。ただしグローボックス関係、工程室関係建屋換気、それぞれ三つを三本立てでやるのか、              |
| 0:01:51 | グローボックス上カバーできる範囲が一番大きければそれで代表にするのか、工程室建屋で、違う部分があったときにそれを多分としてあるのか、全体を流してやらないと意味がないので、                |
| 0:02:04 | ダブル代表みたいな話でやるのかっていうのは、その2.1の中で説明をしようと思ってます。はい。   |
| 0:02:12 | ていうような、ステージをするのと、  |
| 0:02:15 | あと、  |
| 0:02:19 | 田井っていうのを、全体通して修正をしていこうと思ってますというポイントが、今日お出しをする。   |



|         |   |
|---------|---|
| 0:02:27 | 中では、そういう修正を加えて勝リード文がないところがいくつかありますんでリズムを変えて全体の中での位置付け何を説明したいかっていうのをわかるように修正をしていこうと思っていると。 |
| 0:02:37 | ということでございます。はい。   |
| 0:02:41 | よろしいですか。  |
| 0:02:44 | 以上です。すいません。以上です。はい。   |
| 0:02:46 | わかりました。じゃあ順に確認していきたいと思います。  |
| 0:02:51 | まずページ限定しないんですけど、今回グローブボックスと工程室建屋ってところその三本立てで風量を出していきまして話で、                                |
| 0:03:02 | 説明が流れていっているんですけど、   |
| 0:03:05 | 評価における同等の扱ってどう整理しているのかっていうところ、説明をお願いします。  |
| 0:03:23 | 例えば廃棄 01 の区分表は後ろについていると思うんですけど、そこでも堂々が出てこずに綺麗にしました  |
| 0:03:33 | 盤内へ配置でうちか廃棄 01、セトタケや換気が対象になるので、   |
| 0:03:40 | かつ  |
| 0:03:45 | それはなあ。  |
| 0:03:52 | it01 ノダから 5 ページのところの建屋排気設備の賠償に道路が入ってますって説明しないといけないそうです。                                   |
| 0:04:00 | それをやると同等との関係が、結局だからあれだよな。決めとびあの会議じゃないけどそれとの関係で、排気風量との関係も説明しないといけないね。それが説明グループさんなんだよね。だから、 |
| 0:04:12 | そういう関係性も含めて、説明をするようにします。はい。はい。  |
| 0:04:17 | そうすると建屋排気設備の対象ではあるんですけど、今回  |
| 0:04:22 | 建屋とかで仕切られると、多分道道って別物なんで入ってこないのかなと思いますので、物のジャンルとしてですね、                                     |
| 0:04:31 | そこは少し明らかになった方がいいのかなと思っています例えば廃棄 01 の、   |
| 0:04:37 | 3.3 表だと建屋ってなってますので、   |
| 0:04:41 | そこら辺の整理も必要なのかなと思います。  |
| 0:04:53 | 原理よろしいですか。  |
| 0:04:56 | はい、承知いたしました。  |
| 0:04:58 | はい。   |
| 0:05:01 | それで共通 12 の本体の方に戻っていただいて 316 ページ目。   |
| 0:05:09 | 今回、青字で下の方に記載していただいているんですけど、   |
| 0:05:15 | dポツの、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:05:18 | バランスの話ですがねバランスに必要な数量については、資料 4 の 20 条①説明グループ 3 で示すって言うてるんですけども、  |
| 0:05:28 | 移行の評価の中で、CポストDポツを足し合わせて必要風量を出すって<br>いう話と、  |
| 0:05:35 | あんまり整合しないような書き方になってるような気がするんですけどこの<br>意図っていうのを教えてください。   |
| 0:05:59 | はい、上西でございます。この二つの関係なんです。   |
| 0:06:04 | はい。ここも誤解がないように正しくそれぞれちゃんと書き合わそうと思<br>いますdポツで書いてある、316 ページのdポツの下にですね、括弧書き<br>で、閉じ込め機能維持カッコ開口部風速維持っていうのと、          |
| 0:06:18 | これが十条 23 条、気体廃棄物の処理確保、20 条と言っているもの、こ<br>の北井廃棄物の処理と言っているものが何を指してるかっていうのはもう<br>少し明確にして、                            |
| 0:06:29 | 議員の中の左側を今回対象にして、右側 20 条の①でグループ 3 でや<br>りますということと言いたかったんですがそれが適切に伝わるように、文<br>章の整理だったり、                            |
| 0:06:42 | 上のAからFの書き方だったりを整理したいと思います。はい、わかりま<br>した。要するに物の中でも要素が二つあって、一つはこっちで合わせて<br>説明するけどもう片方はグループ 3 で説明するとそういう理解ですよ<br>ね。 |
| 0:06:55 | はい。イノウエの石田でございますはいありがとうございますおっしゃっ<br>ていただいている通りでございます。はい、わかりました。   |
| 0:07:01 | 続いて 321 ページ目、お願いします。   |
| 0:07:12 | 0.25 ボリューム%パーアワーのお話で、  |
| 0:07:18 | この数字自体は、許可のギブン条件で、与えられた条件で設定されて<br>いるってところで、あまり根拠等を示し、示す必要がないというのがこの   |
| 0:07:30 | 書き方なのかなとは思っているんですけど。   |
| 0:07:34 | 内容を実態見てみるとですね下の、   |
| 0:07:37 | 青字の内容を見ていくと、   |
| 0:07:40 | 試験の際は、マイナス 700PASCAL－500PASCALの状態を考えます<br>っていう話を書いてあって、  |
| 0:07:49 | それでこの漏れ率っていうのも、漏れ量の話っていうのも、  |
| 0:07:55 | 負圧が深ければ深いほど上がってくるっていうことを言うてるんですか<br>ね。   |
| 0:08:07 | 要するに 0.25 ボリューム%パーアワーの根拠としてはマイナス 700 か<br>らマイナス 500 時点の漏れ量がこれぐらいだっていうことを言っていて、                                   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:08:18 | それが通常の、   |
| 0:08:20 | 通常運転の圧力の範囲だとそれ以下になるよねってことを言ってるんですよね。  |
| 0:08:25 | はい。日本原燃志田でございますはいちょっと日本語が不足で申し訳ございません。おっしゃってることはマイナス 700 から 500 と言っているのと -400200 と言っていれば、               |
| 0:08:35 | 関係からすると、深い場合の方が漏れ量が増えるということなんですけど実際試験上は、判定基準は同じ 0.25 ボリューム%でしたパワーでして、                                   |
| 0:08:46 | マイナス 700 から 500 でも 0.25 を上回ることはなかったと、なので、当然それよりも負圧が浅倉の方であれば、これは満足できるということを言いたかったんですけど全社が書いてないので、        |
| 0:08:57 | 日本語ではちょっと不足ですみませんでした。わかりました。  |
| 0:09:02 | 原理はわかってですねその前の 320 ページ目の話になるんですけど、  |
| 0:09:07 | そうすると負圧を形成するための、なんていうか、手順みたいなのここで示していて、   |
| 0:09:15 | ステップ 1 の負圧環境の形成のところ、  |
| 0:09:19 | 漏れ量とか、給気量排気量っていうのはここは数、実態の数値ではなくて数ちゃ 10 というところでバランスがあるっていうところを最終的に示したいので、おそらくこういう数字をエリアで入れてるんだと思うんですけど。 |
| 0:09:33 | 赤字で漏れ量 0.1 っていうところは、実際には 0 から 0.1 の間っていうことでいいんですかね。先ほどの、  |
| 0:09:42 | 0 でない方が変わるって考えると、日本のイシダでございますはい、ありがとうございます。0 から 0.1 っていうのが例示として正しいと思いますはい。はい、わかりました。大体、原理はわかりましたので、     |
| 0:09:55 | まとめていただきありがとうございます。   |
| 0:09:57 | それで、  |
| 0:10:01 | 323 人。  |
| 0:10:04 | ちょっと言っていたいて、  |
| 0:10:08 | dポツのバランスの   |
| 0:10:11 | 調整のために必要な風量というのが出ているんですけども、   |
| 0:10:16 | 結局、   |
| 0:10:18 | バランスを保つための、ましてシステム設計なり構造設計で、  |
| 0:10:24 | 必要な部分っていうのは、  |
| 0:10:26 | 必要な部分という各機器の具体的な構造っていうのは、   |
| 0:10:31 | グループ 3 の資料 3 で示すっていう理解でいいんですかね。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:10:35 | 例えばダンパの開度をこういうふうに調整して、このようにバランスを保ちますとか、   |
| 0:10:43 | そういう一連のやバランスを達成するための仕組みっていうのはどこで説明されるのかなと。  |
| 0:10:51 | 日本原燃石田でございます。   |
| 0:10:56 | 吸気量とか廃棄量のバランスをとることによって、ダンパーの配慮が変わっていくバランスダンパみたいのもありますし、おっしゃっていただいたように真ん中でのその風量調整に使うような、首藤の                                |
| 0:11:09 | 調整みたいなものですねそれは実態、建物を作って機器を入れて排風機をまわしてみても吸気排気のバランス取りながら、   |
| 0:11:19 | 最終的に目標ターゲットの負圧だったりになるように、現場で調整していくものなので、そういう手順は書けるんですがそれが、系統構成上こういう値に持っていくということは、さすがにちょっと無理かなと思ってます全体のバランスの取り方みたいの手順だったり、 |
| 0:11:35 | それでのや、それぞれのパーツの役割だったりということはグループさんの中でも説明できるかなと思います。わかりました。先ほどの9月度400の話もありましたけど結局手順で達成するようなものっていうところは理解しましたので、              |
| 0:11:50 | 公正、後半で行っていただいているようなことをまとめていただくのかなというふうに認識しました。  |
| 0:12:01 | あとはですね少し飛んで、  |
| 0:12:08 | 3、飛んでっていうか326ページ目なんですけど、  |
| 0:12:16 | ここで最初に質問最初の方に質問したCポストdポツを足し合わせますっていう話があるんですが、   |
| 0:12:27 | dポツの要素が、なぜ閉じ込め維持に必要なんだっていうところの説明があんまりなくてですねそれを明確にさせていただきたいんですけどいかがですかね。   |
| 0:12:45 | はい、日本イシハラでございます。はい。す。   |
| 0:12:50 | そうか。  |
| 0:12:52 | きちんとDの関係はわからないんだな、Dができるかはい。承知しました。  |
| 0:13:00 | 結局は、  |
| 0:13:03 | どっかで言っている、いわゆるウィークDFの部分はどう、どこを、一定の水準にして抑えにいっかということと、  |
| 0:13:15 | おっしゃったようにDぽつの方はどちらかというところこういう開放が開いたとしても、負圧が達成できると言っている開口の話という全体のバランス  |

|         |   |
|---------|---|
|         | の話ではある石堂Dポツが唐突に確か出てくるのでその辺の関係性を、  |
| 0:13:30 | 明確な理由に記載をしていくということで認識をしました。   |
| 0:13:35 | はい。要するに、とじ込み機能維持、Dの要素が必要っていうことを、新保津野概要欄とかに、橋渡し的な記載をすればいいのかなとか思ったりしたんですけど、定義がわかるように整理をお願いしたいと思います。 |
| 0:13:57 | はい。与儀ニシダでございます承知いたしました。はい。  |
| 0:14:02 | 続いて、  |
| 0:14:06 | グローボックスではDぽつの、  |
| 0:14:11 | 印紙っていうのは 326 ページ目で  |
| 0:14:16 | 入れ込んでいるんですけど、工程室とタテやってDぽつの因子の観点でどう整理しているんですしたっけ。  |
| 0:14:25 | 327 ページ目ですかね。   |
| 0:14:34 | 泊まってください。   |
| 0:14:37 | 特に開口部という、   |
| 0:14:40 | ところが目立ったところがないのでdポツ入れてないっていただけなのかなと思ったんですけど。  |
| 0:14:53 | はい。良いニシウラでございます 323 ページでいくと、  |
| 0:14:59 | あれですね一つは、建屋側、9-1 って真ん中についでるドラフトジャンパからの給油入ってくる分、   |
| 0:15:08 | 吸排気のバランスをとるために必要な風量、  |
| 0:15:12 | として見ている部分。  |
| 0:15:15 | あとグローボックスのインリーク呉じゃないですけど開口部での入ってくるものが、旧さんの下、  |
| 0:15:24 | こういうのを考えて、急に等級、   |
| 0:15:27 | 最後の紫の部分のバランス合う。   |
| 0:15:30 | ピンク化のバランスを考えなきゃいけないということです。その辺の関係性もちょっと吸排気のバランスと言っている部分が一体何を指しているのかがわかるように、記載を整理します。              |
| 0:15:41 | はい。   |
| 0:15:43 | お願いします。   |
| 0:15:46 | 続いて、飛び飛びで 343 ページ目。   |
| 0:15:56 | ちょっとこの、   |
| 0:15:58 | スライドで、黄砂の話は先ほどと同じような形で、根拠と、   |
| 0:16:04 | 考え方っていうのはそれぞれ適切なところでまとめていただければと思うんですけど、前回一律 5%を加えて設定するっていうふうになってたんですよね開口部面積に掛ける 1.05 市で、          |

|         |  |
|---------|--|
| 0:16:17 | それって何でなくなったんでしたっけ。   |
| 0:16:33 | はい。日本原燃石田でございます一度出した数字をちょっと引っ込めてしまつて恐縮でございますちょっと5%乱暴なやり方だったなということももう一度ちょっと改めて考えまして実態に合わせた                    |
| 0:16:47 | 寸法との関係っていうのでどうはじくかということ形状も含めた形で整理をした方がいいかなということで、この343ページのような形で整理をさせていただいたところでした。                            |
| 0:17:01 | わかりました。開口面積の不確かさの出し方を少しもう変えたということで、  |
| 0:17:08 | はい。認識しました。それで、   |
| 0:17:10 | 343ページ目の最初のポツがあると思うんですけど、  |
| 0:17:15 | ポートはっていうところから始まると思うんですけど、  |
| 0:17:18 | これってどのポートを指してるのかが不明なんですよ。  |
| 0:17:23 | それであの、   |
| 0:17:25 | それ以降の二つ。   |
| 0:17:27 | 二つポツがあつて最後のポツは、  |
| 0:17:32 | それ以外のって書いてあるんですけど、   |
| 0:17:35 | 一番上のポツだと、黄砂を+0mmつてやっている一方で、一番下のポツじゃ。   |
| 0:17:42 | プラス側の公差を立ててっていうところで、   |
| 0:17:45 | ちょっとどのポートを対象としてるかっていうのが、いまちはっきりしないんですけど。   |
| 0:17:50 | ミイがクリバヤシとか、  |
| 0:17:52 | はい。日本原燃瀬谷でございます。ちょっと等まず  |
| 0:17:58 | 342ページにもかかってないんでね、全体は、   |
| 0:18:02 | 甲斐技師でございます開口として考えなきゃいけないパーツが何があるかというのを言った上で、それぞれに対しての面積の出し方。   |
| 0:18:13 | だったり、黄砂をどう考えるかということの、対象物とそれぞれの説明のリンク有無を測ってですね説明をさせていただきたいと思います。  |
| 0:18:24 | 実際開口部で考えなきゃいけないのが、オープンポートボックスとかにあるポート部分でして、  |
| 0:18:31 | これはそれ以外に、去つたとかがあつて開口する部分これも開口としてカウントしますので、それぞれこういう部分が、外構としてカウントしなきゃいけない項目ですと、それぞれに対して、黄砂含めてどう考えていくかっていうところを、 |
| 0:18:45 | そのあと書き下していくということで整理をさせていただきます。はい。  |
| 0:18:49 | あと、ついでに言うんですけどねこの343ページ目の左下の図が、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:18:55 | 平面なのか立面なのかってわからないんですけど、   |
| 0:18:59 | どう見ればいいですかね。  |
| 0:19:05 | はい。ヤギのイシダでございます。これも何かあれじゃない。装置の全体像を変えてやらないと、個別のところで書いてんだっけ。これ自体おっしゃっていただいている通り                                |
| 0:19:18 | 上から見た、ある断面を指してます。上から掴みにいくやつは町道要求を掴みにくいやつが来て、それを使う時の開口と容器との関係っていうかねそれを示しているものになります。                            |
| 0:19:34 | 実際物は閉じ込め 022、開口部の説明をしてるやつに入っているの、それとのリンケージを図るかどうかちょっと考え整理をして考えます。はい。はい。お願いします。                                |
| 0:19:47 | あとは、  |
| 0:19:48 | 続いて 344 ページ目。   |
| 0:19:53 | 2.4 の許容限界の書き方のところで、   |
| 0:19:59 | 最初にグローブボックスの容量、   |
| 0:20:03 | 5 万 4820 立米。  |
| 0:20:06 | オオキを限界としてっていうところのあとの 2.3. 1 の括弧。  |
| 0:20:12 | 一度、   |
| 0:20:14 | (2) のオカさんっていう形で書いてるんですけど、2.3. 1 の(2)って、工程室及び建屋の   |
| 0:20:22 | 容量なので、  |
| 0:20:23 | 2.3. 2 を足すのが正確なのかなと思うんですけどいかがですかね。  |
| 0:20:40 | はい。イノウエニシダでございます。そうですね失礼しました。   |
| 0:20:46 | 対象が間違ってますね。失礼しました   |
| 0:20:49 | 加えてちょっとこの文章も教育委員会として確認は、何を教育委員会とするかまで書けばよくて実際は評価結果のところは何を評価の結果とするかのサブリーダー一部になると思うのでその辺ちょっと分、先ほど影響受けたじゃないですけど、 |
| 0:21:04 | 分解をしてそれぞれ適切場所に変えていくということで整理をさせていただきます。はい。お願いします。ついでに言うと、その下のまた書きの部分の、   |
| 0:21:14 | 2 行目の 2.3. 2 の(1)ではなくて 2 点。   |
| 0:21:19 | 3.2 の(2)なのではないのかなと思うんですけど。  |
| 0:21:26 | はい。これもそうですね失礼いたしました 2.3. 1 の(2)ですかね、対象は。はい。   |
| 0:21:33 | はい。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:21:36 | と思うので、いたしましたはい。しっかり適正化をお願いしたいと思います。はい。   |
| 0:21:43 | 続いて閉じ込め 02 の方で確認したいと思っけていてですね。   |
| 0:21:51 | 閉じ込め 02D、5 ページ目ですかね。   |
| 0:21:55 | 閉じ込め 0 に大幅に前。  |
| 0:21:58 | 大分前にコメントしたやつの、反映なので、結構時間かかっているんですけども、  |
| 0:22:05 | 具体的には 5 ページ。   |
| 0:22:07 | メディア。  |
| 0:22:09 | 最初の両括弧Bの保守点検の話っていうのを、どの項目についても、具体的にどのような作業があるのかっていうところの観点で、  |
| 0:22:19 | 拡充していただいたのだと思っているんですけど。  |
| 0:22:24 | 最後の文章で、  |
| 0:22:26 | 火、   |
| 0:22:28 | 例えば 4 ヶ所を超えて人の作業が必要な場合は、   |
| 0:22:33 | おそらくそのオープン、オープンポートにグローブを取り付けて作業して、   |
| 0:22:37 | 4 ヶ所を超えないように運用にて管理するってなっているんですけども、   |
| 0:22:43 | ここのオープンポートボックスのポートがグローブを取りつけられる構造であるのか、かつ、その取り付け部分っていうのは、  |
| 0:22:52 | 他の全体的には閉じ込めに影響与えないのかっていうところで、資料 3 側の手当とかって必要だと思うんですけどいかがですか。   |
| 0:23:02 | はい、日本エリアでございます。まずグローブボックスと同じようにオープンポートボックスもグループが取り付けられるような構造になってますそれは資料 3 の上で明確にする必要があると思いますがそのリンクを図ります。 |
| 0:23:17 | 実際、このグループをつけるやり方のグローブボックスと同じですので、これを取りつけることによって、リークが発生しないような管理をしながら、部での採用に行くということです。実際その                 |
| 0:23:33 | 4 ヶ所を超えて、作業が必要な場合ってのは当然グローブを取りつけるときも、4 ヶ所以上いっぺんにやるという理由は 1 ヶ所、順番にあって、開口がもともとゆったり 4 ヶ所を超えないように、           |
| 0:23:45 | 管理をしていくということが前提になると思っけてます。そういった管理の仕方も含めて明確にしていければと思っけてました。はい。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。                          |
| 0:23:56 | もう一つは、飛んでですねこの補足の 41 ページ目。   |
| 0:24:03 | フードの開口部の話を書いてあっけてですね。  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:24:09 | フードの開口までの高さっていうのは、  |
| 0:24:13 | 300 で一律、  |
| 0:24:16 | 設定しているんですけど、その理由って、   |
| 0:24:20 | 開口部風速から来るもの。  |
| 0:24:24 | ダイレクトに書いててあんまり余裕がない数字んなっているものなんですか、ここは。   |
| 0:24:30 | 要するに高さの制限を、   |
| 0:24:33 | 普通だったら 450 とか、  |
| 0:24:35 | もう少し幅を持たしてストッパ 1 を 300 にするとかそういう、   |
| 0:24:39 | 形にするのが普通。   |
| 0:24:41 | なんていうか、考えられる手なのかなと思ったんですけど。   |
| 0:24:45 | そういう段階的な対策にしない理由とかがあってあるんですか。   |
| 0:24:49 | はい。二本木イセでございます私の記憶の限りでは同じ、あまりこの風土にですね、タイプってなくてですね、ストッパーがついてる高さって一律だったと記憶をしています。この風土も物を買ってくるのが前提でして、うちより何か改造してっていうことは前提で考え |
| 0:25:09 | てませんので、一般的にフードとして、多様な分析接液で使われているものと同じものを対象にして、管理をしようと思ってました。  |
| 0:25:20 | それで、この高さが一律 300 になっているということでございます。  |
| 0:25:26 | はい。   |
| 0:25:27 | その次の質問としては外国風速の話とか、あんまり関係なさそうな気もしたんですが、   |
| 0:25:35 | 42 ページ目だと、例えばハバノ違う風土が、  |
| 0:25:40 | 出てくるわけですよ。そうした場合も全部 300 ミリに設定するっていう、  |
| 0:25:48 | ことなんですかね。   |
| 0:25:59 | はい、日本イノウエ社でございます高沢市立ですおっしゃっていただいているのはこれと 42 ページでいうと、幅はバカバカ、   |
| 0:26:09 | 幅が 1000 だったり 1300 だったりっていうタイプの違いがあるけども、この田井ハバノ違いによって高さの制限を変えたりしないのかっていうご質問だと思っておりますがそこはもともと、                              |
| 0:26:22 | 購入できる範囲で考えても、300 固定なのでこれを変えるとは思ってませんで且つこれを前提に開口部の風速を出そうと思ってました。はい。  |
| 0:26:33 | ババ開口部の風速を出したいニワ 1000 と 1300、両方あるってことなんですね。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:26:39 | はい、イノウエニシダでございますおっしゃっていただいている通りですただやり方は変わらないのでこの数字が変わったとしてもあまり影響はないと思って。はい、わかりました。                    |
| 0:26:51 | 続いて廃棄 01。   |
| 0:26:54 | の方で、  |
| 0:26:57 | 5 ページ目ですかね。   |
| 0:27:03 | 5 ページ目で、前回も   |
| 0:27:07 | コメントしたと思うんですけど、やっぱり 6 因子を、  |
| 0:27:12 | 説明するってなると、グローボックスのやつが先に出てくると 4 位しかないので、   |
| 0:27:18 | これはこれでいいんですか。   |
| 0:27:25 | はい。与儀技師長でございます。   |
| 0:27:29 | おっしゃっていただいている通りだと思いながらも一応ここで全体の風量として考えなきゃいけない設備というのは何があるかということで、背景等三つ挙げた上で、その三つに関係する部分として 6 日だと。      |
| 0:27:43 | 言って、それぞれのパーツで説明するときにはそこに必要な因子がこれとこれということで整理をしようと思ってました。資料 4 との関係でも、                                   |
| 0:27:55 | いきなり括弧イシタポイント始まる前にですね、グループグローボックス排気設備、工程採決ニツタデアカイン設備で、この 6 因子がどういう関係性にあるかという表を 1 課朝んでからこれそれぞれの説明した方が、 |
| 0:28:09 | よりわかりやすいかもしれませんのでそういった工夫をしていければと思います。はい。  |
| 0:28:14 | 読んでいくうちにそごが出ないような誤解が生じないような形で整理いただければいいかなと思います。   |
| 0:28:22 | それで、続いて 13 ページ目お願いします。  |
| 0:28:28 | 13 ページ目で、おそらく、評価対象のところでもまた整理し直すのかなとは思っていますが、  |
| 0:28:39 | グローボックスの  |
| 0:28:42 | グルーピングを破線で、この中にはしているんですが、   |
| 0:28:48 | グルーピングの考え方っていうのも、しっかり共通中に側の方にも示していただいて、なぜそのような単位で区切り区切ることにしたのかということも、                                 |
| 0:29:00 | あわせて示すようお願いしたいんですけどいかがですか。  |
| 0:29:16 | 聞こえましたでしょうか。  |
| 0:29:19 | すいませんマイク来てますすいませんでした。グローボックスじゃないな、換気設備のシステム設計の中で、換気設備、グローボックスだっ                                       |

|         |   |
|---------|---|
|         | たりの負圧あたりの維持をしなきゃいけない対象物の関係をどう系統設計していくかと。  |
| 0:29:34 | 意味でシャッターとかで塩切りをされるという部分を考慮して、あるましまりでの吸気排気だったり、シャッターで区切られる範囲での休憩配置だったりと、           |
| 0:29:46 | いうことで系統構成をしていくということを系統設計として説明をしていくように、記載を拡充していければと思いますので対応します。はい。                 |
| 0:29:56 | 要するに複数のグローボックスか、或いは単一のグローボックスで、   |
| 0:30:01 | 吸気ラインが設けられてる単位っていうのが多分このグループの話なのかなとは思んですけど、なぜそうしたのかっていうのがわかるようにはい、整理をお願いしたいと思います。 |
| 0:30:11 | あとは、この図の中で、   |
| 0:30:14 | 四角の塗りつぶしとかマルの塗りつぶしとか三角とかあると思うんですけど、   |
| 0:30:20 | これは何かの任意の名称が入るっていうところを見据えて入れた希望なんですか。   |
| 0:30:33 | はい。表現のインダでございます例示として書いてるので資格資格三角三角にあり、あまり意味はないんですけどとはいえ、                          |
| 0:30:43 | 括弧東部だったり括弧A部B部って書いてる形なんか入れるもの決まってるかのように見えるのでそういう誤解がないように記載が0であることも含めて、整理をします。はい。  |
| 0:30:54 | はい。お願いします。  |
| 0:30:57 | あとは、これ最後なんですけど、24 ページ目以降で、  |
| 0:31:02 | 最初農道の話と同じような形なんだと思うんですけど、   |
| 0:31:08 | 汚染区分の話が出てくると思うんですけどCさんの話とか、CEAとかあると思うんですけど、                                       |
| 0:31:16 | MOX施設において、これらの汚染区分がそれぞれどのような意味があるのか。  |
| 0:31:22 | そもそも考え方とかっていうところが、示されない中で、もう決まったかのように出てきているので、                                    |
| 0:31:30 | ちょっとその辺の考え方、  |
| 0:31:33 | どのような考え方で設定されているものなのかっていうところを、補足というか説明書きを、  |
| 0:31:39 | いただきたいんですけどいかがですか。この廃棄の01にも共通事項にも、  |
| 0:31:45 | 必要なかなと思ってんですけど。   |
| 0:31:48 | はい、上西でございます戦分の設定の話はもともと廃棄、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:31:54 | 換気設備管理設備ですね、換気設備のシステム設計の中で書いているものがありますのでそれを同じように、配置 01 にもそれを書きながら、全体の管理の仕方を、                              |
| 0:32:07 | 変えていくと、それと汚染区分がどういう関係にあるかっていうのがわかるようにして整理をしていければと思います。  |
| 0:32:16 | はい。よろしくお願いします。  |
| 0:32:19 | 風量の設定について私からは以上ですけど、ほかに規制庁側から確認等ありますでしょうか。  |
| 0:32:27 | 規制庁岡です。じゃ、ちょっと今の、   |
| 0:32:32 | 触れられなかったところでいくつかなんですが、先日の会議資料のヒアリングの時にハバサキの方からもちょっとありましたとカミデらもあったんですが、                                    |
| 0:32:42 | それぞれの県、一般法令の、   |
| 0:32:45 | ところは、今日出てくる資料ではもう、明確化されてるんでしょうか。  |
| 0:33:00 | はい。乳井根井町でございます例えばでいくと、今の資料でいいですか。ええ。  |
| 0:33:09 | 直したよ。   |
| 0:33:14 | 建築基準法施行令流通とミシマ 4 カネコ。   |
| 0:33:21 | はい。   |
| 0:33:23 | はい。   |
| 0:33:26 | 違う。この絵だなと今、318 ページに入っている。   |
| 0:33:32 | 当建築基準法施行令で、第 20 条 8 とか書いてあるやつもですね。  |
| 0:33:39 | これ自体で設定してる項目に対して、   |
| 0:33:43 | 考慮すべきものが何なのか、これについては第 1 号、  |
| 0:33:49 | だけではなくていいの(1)で、シックハウス対策として、0.3 回パーアワーという風量をですね、換気回数を期待要求しているということ。これを踏まえて、                                |
| 0:34:02 | 燃料加工建屋では換気回数というのをどう考えるかということをつなげて、要求事項との関係が明確になるように記載を整理しております。   |
| 0:34:11 | はい、規制庁からわかりましたじゃそこら辺の対策はまた、資料として出てくるということで理解しました。ちなみにここ今おっしゃっていただいた施行令第 20 条の 8 の第 1 項第 1 号               |
| 0:34:25 | 他は、どこにタテや、  |
| 0:34:29 | の回数に使われてるってということですよ。  |
| 0:34:38 | 政調会ですシックハウスって言っていただきました。そうですね。はい。制御室とか廊下とか一般的な、今で言う 5 ページで 318 ページでいくと※に書いたようなところは、最初のスタートになりますのでここと 0.3。 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:34:55 | が関係しているということになります。はい、規制庁カセわかりました。   |
| 0:35:01 | あと 326 ページ目で、   |
| 0:35:05 | 先ほどちょっと関連する話もあったんですが、1 ぽつ概要の上のところ<br>でグローブボックスのなぜ四つなんだっていう、   |
| 0:35:17 | この前段が書かれてるんですが人の立ち入りがないしか書かれてなくて、<br>テープをする理由っていうのが今入ってないんです。   |
| 0:35:28 | そこは必要だと思いますので追加いただければと思います。   |
| 0:35:41 | だから、炭酸ガスっていうのを、人の二酸化炭素だっていうんでしょう。<br>でもさ、それ以外に炭酸ガスを発生させなきゃいけないと。  |
| 0:35:49 | そんなことも入るんじゃないのって言われてるんで、だからそれもあります<br>ということを前提に、だから、この禁止は考えなくていいですっていう<br>説明につなげないと、全部を否定できてませんよっていう。                       |
| 0:36:01 | オダでどういった炭酸ガスのことですか、水素ガス。  |
| 0:36:07 | あ、すいません有害物ですね、有害物質はあれ蓄電池か、どうしょう<br>か。   |
| 0:36:14 | いやそれはそういう代物を発生する機器がそもそもそこにいませんって<br>いうことを前提に、要は対象外ですっていうことも含めて、前置きをちゃ<br>んと説明しないと、  |
| 0:36:24 | なぜFが消えるかがわかりませんので、  |
| 0:36:27 | 理解OKですか。はい、上西でございますという認識をしました。はい。<br>はい。お願いします。宇津木さん、ごめんなさい。ちょっとさっきのものも<br>含めてなんですけど。                                       |
| 0:36:40 | 伴希衣回数の設定  |
| 0:36:45 | を   |
| 0:36:50 | オオモトの話は説明ちゃんとするということになってましたけどそこから<br>積み上げていくといったところの説明ってどんなふうになるんですか。   |
| 0:37:07 | ありがとうございます。今言ったのは、0.3 歳パワーがもともとベースの<br>ところであってそこから 0、1 回から 2 回しちゃって最後グループ後 6 回<br>になってますけど、この積み上げをどう考えてやったのかっていう考え<br>方ですね。 |
| 0:37:24 | はい。はい。現状はかけてませんので、整理しますはい。  |
| 0:37:30 | コサクですでもそももが積み上げていいのかっていうこともよくわからな<br>くて、  |
| 0:37:35 | それぞれに意味合いが本来あるはずなんだと思ってたんですけど、ない<br>んですか。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:37:41 | イナミネ資料でございますおっしゃっていただいたようにシックハウス云々でも、一般的な構築物として部屋として考えなきゃいけないものがベース 0.3 だということに対して、そこに、 |
| 0:37:53 | 粉末を扱うか使わないか。グローブボックス、ご提出、タケヤみみたいなものです。ごめんなさい。   |
| 0:38:02 | そもそももうリスク 0.3 はいいんですけど、はい。  |
| 0:38:09 | それは、先ほどシックハウスっていうことであれば、アノを使っている溶剤なり何なり、  |
| 0:38:17 | の性状からして、  |
| 0:38:20 | これぐらいの発生量があり得ると。  |
| 0:38:24 | それに対して健康影響が出ない濃度にするにはこういう係数が必要だっていう、  |
| 0:38:30 | ような計算なり試験なりをやって求められているはずで、  |
| 0:38:36 | そういうことに該当するのであれば、それに準じてやる必要がありますし、  |
| 0:38:43 | 特にこれ、人の環境っていうことじゃない、設計ばかりなので、   |
| 0:38:49 | その時にどういことを考えて設定する必要があるか、場合によっては 0.3 より低くてもいいはずで、  |
| 0:38:56 | そういったところ考え全くなで、ただ、上乘せですって言われると、説明として論議がなアリタってないっていうふうになっちゃうと思う。                         |
| 0:39:06 | ですけども、  |
| 0:39:11 | 何ですかね。  |
| 0:39:17 | はい。いやギリシャでございます。いや、違う。今言われてるのは、   |
| 0:39:24 | 汚染が可能性が低い部屋ん物粉末取替工程室、粉末を扱うコウ提出用ボックスって分けてそれぞれ書いてるけど、                                     |
| 0:39:34 | もともとのシックハウス対策でやってる 2.3 回パワーのもともとの出し方を考えて、それと、   |
| 0:39:43 | 関係するのかしらないのか。   |
| 0:39:45 | アンケートするにしても、それのもともと 0.3 回決めてるものに対して、ここでの対象にしなければいけない部屋ってのは、こういう環境だから、上に乗せをしましょう。        |
| 0:39:57 | 多分そっから先の粉末を取り扱うとなると、いきなり、多分それとは全く関係ない世界で、おっきい数字ならいいだろうって言って今、                           |
| 0:40:06 | 3 回とか 6 回とか決めてるよね。だからもうこの世界ともう完全に独立しちゃってるわけです。  |
| 0:40:12 | でそう決めた根拠が全く書いてない状態で、0.3 かより多ければいいでしょって言うてる状態なので、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:40:19 | 僕は説明になってないってことを言われてる。  |
| 0:40:23 | コサクですけどさらに言うと、粉末取り扱うのだったら隔離状態にして、関係しないって方がいいんじゃないって考えもあるのはわかります。はい。  |
| 0:40:34 | おっしゃる通りですね。  |
| 0:40:36 | まあさ。うん。  |
| 0:40:38 | 処理です水素掃気に当たらず空気流しちゃって、逆に排気関係に飛んじかないかみたいな。  |
| 0:40:45 | 回せばいいだろうっていうんではない。   |
| 0:40:47 | 粉末が、   |
| 0:40:49 | 今はないと言っても、関係減らした方が、空気の流れが減るから、   |
| 0:40:54 | せっかく窒素巡回設置送風機というものも消えていかないし、   |
| 0:40:58 | 全区画内買い付けには、  |
| 0:41:01 | 崎田井清ふやせばいいってもんでもないっていう。  |
| 0:41:04 | そこの関係をどう整理して設定したかっていうことのを考え方を、   |
| 0:41:09 | 何とか交換、まずみんなできる、整理して、はい、理解をしました。はい。はい。コサクです。やはり、やることには何らか意味を持たせないと、維持管理する時とかでも、   |
| 0:41:20 | 或いは設計変更するという議論ができなくなっちゃうので、しっかりと整理をして場合によってはこういう数字変えた方がいいかもしれないなと思ってますので、検討よろしくお願いします。                                     |
| 0:41:35 | はい。ヤギの石田でございますおっしゃっていただいているところは理解をしました運用管理コウノなった時にですねこの根拠をちゃんと書いておかないと、多分何の今回もなくこの回数を勝手に変えられたりとかです。ねそういうよくない方向に行く可能性もあるので、 |
| 0:41:51 | まずちゃんと設計として決めたときの考え方を残しておくことでその根拠も含めて整理をします。はい。  |
| 0:42:01 | じゃあ、規制庁課ですと、328 ページ目のシャッターで区切られたグローボックスの話なんですけど今後整理されるということでしたが、   |
| 0:42:12 | ポツからポツで、この単位で  |
| 0:42:17 | 評価を行ってるものとあと単体で行ってるものとか全体で行ってるものとかいろいろあると思うんですが、   |
| 0:42:24 | この辺ってどう考えればいいんでしょうか。   |
| 0:42:42 | うん。  |
| 0:42:44 | わかってるよみたいなわかるよ。  |
| 0:42:46 | だったら、上に入るこの会議でやるんだよね。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:42:49 | でね、絵の左側の下側で赤い点線で区切ってんじゃない、これって、参考連系としたら、どの因子も全部サンポ連結してやると。                                |
| 0:43:01 | そういうわけじゃないでしょ。だからその考え方を示さないと、この西出はこうやりますこのイシダでこうやりますって、なぜなの、理由がないと、何かいいとこ取りしてるみたいに見えるから。  |
| 0:43:13 | そうならないように考え方もあわせて、この因子のときにはこういう考え方がいるんです。なので、この単位でやりますみたいな説明をしないとイケない。                    |
| 0:43:22 | いらないと。  |
| 0:43:24 | ただ兵庫。   |
| 0:43:26 | 立米だけ並べても意味ない。   |
| 0:43:30 | やつの考え方とセットなんですっていう。   |
| 0:43:32 | 逆に問1の関係でその単位がどうなるかを多分一覧表で書いておかないと、よくわかんない。  |
| 0:43:38 | いうこと。   |
| 0:43:39 | 理解をしました。はい。室長のおっしゃる通りで今、それが整理されてるものと思ってるかがシライでしたが、はい。この整理されるのであれば、そこがわかるようにしていただければと思います。 |
| 0:43:52 | 古作です。   |
| 0:43:54 | 午前中にもお話したんですけど、今みたいな話って、何でこう、   |
| 0:44:00 | 設コウ2、3年もやってて、   |
| 0:44:04 | 説明ポイントとして理解できてないのかなっていうのは何でなのかを、  |
| 0:44:09 | ついてもらえませんか。   |
| 0:44:20 | はい。荻野イシダでございます。一つは、私のチェックも重要じゃないにしろ、そういう視点で、今受け答えしてますけど、実際他の2年やったらこの受け答えんならなくてですね。        |
| 0:44:35 | もともとこうやってますという回答になるんでしょうけど、まだその位置付けから、多分真木認可からI河津 抜けきれてなかったり、                             |
| 0:44:45 | というところなのかなと   |
| 0:44:48 | 努めて、  |
| 0:44:49 | 気づいたときにはその都度、なぜこの説明じゃ駄目なのかってのは、話をしながら、修正をしながら、方向転換はしてるんですけど、また全体が、                        |
| 0:45:01 | そういう思想になりきれてないところは理屈3年たったのになぜというのはおっしゃる通りな気もする気持ちがありますが、                                  |
| 0:45:10 | まだかなというところですねはい。  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:45:14 | 古作です。わかりました。そうですね。この設工認の最初で既認可に遺族し過ぎと。  |
| 0:45:23 | 民間でもなぜそうしたのかっていうのを考えたら分かるはずだっていうのが、この3点議論をしてきたことであると。   |
| 0:45:33 | それがまだ展開できてないっていうことで理解をしましたがは、   |
| 0:45:38 | それ自体が問題だと思うので、  |
| 0:45:42 | ちょっと大柿さんにちゃんと伝えていただいでですね。   |
| 0:45:46 | 全然やるっていったことがやれてないと。   |
| 0:45:49 | いうことで問題意識を、   |
| 0:45:52 | していただいて対応を進めていただかないと、とても工程として間に合わないよと。  |
| 0:46:00 | いうことだと思いますのでよろしくお願いします。こういうのって、やっぱり、  |
| 0:46:07 | 真剣にすぐに自分の業務として取り組んでやっていかないといつまでたっても変わっていかないと思うんで、   |
| 0:46:14 | 全社皆さんしっかりと考える。  |
| 0:46:18 | いうこと。   |
| 0:46:20 | ですし、業務一つ一つにおいて常にみんなでこういうのは何だっけとかっていうのを議論すると。  |
| 0:46:27 | いうことをやらないとですね定着しないと思いますので、どこが1人がチェックのときに議論するとかっていうことじゃないですから、                                   |
| 0:46:36 | 今聞いて不原電社員みんなしっかりと認識していただきたいんですけど、対応よろしくお願いします。以上です。   |
| 0:46:47 | はい、日本イシハラでございます。はい。大脇にも伝えます。あとおっしゃっていただいたように、   |
| 0:46:53 | 1人のチェックではやはり限界がありますし、作る時点で、そういうことを認識、考えながら、   |
| 0:47:00 | 積み上げていくということも重要ですのでそのために関係、作成者も含めてヒアリングに同席をして、会話ができるようにさせていただいているつもりですまだちょっとまだ、まだまだ、            |
| 0:47:12 | ですけども、しっかりとしていきたいと思いますはい。   |
| 0:47:20 | 規制庁岡です。ちょっと聞い334ページ目の、  |
| 0:47:27 | グローブボックス等の説明をしているところで、主要寸法をどこから持ってきているかっていうコメントに対しておそらく注釈5が入ったのかなと思うんですが駐車クボが、第3回申請のことしか書いてなくて、 |
| 0:47:42 | スタック乾燥装置のことが書かれてなくて、どちらかというと第2回申請のスタック乾燥装置の主要寸法はここですよを示してもらおう。                                  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:47:53 | た上で第3回行って、他は第3回ですっていうふうに、   |
| 0:47:57 | くるイメージだったんですが、掘ってスタック主乾燥装置のことってどっかに書かれてるんですか。   |
| 0:48:04 | イノウエネシアでございます。大変失礼いたしましたアノ※3では何か名称が書いてますが、実際、   |
| 0:48:11 | 寸法の出し方みたいなものは書いてませんので、はい。おっしゃったように第2回、第3回のこととも考えますと言いながらも、メインは第2回の  |
| 0:48:22 | 申請対象の話を書くということで認識をしますのではない。   |
| 0:48:26 | 整理をします。はい。  |
| 0:48:29 | はい、辻岡ですよろしく申し上げます。ちょっと補足の方で気になった点、幾つかありまして、閉じ込め02の4ページ目。  |
| 0:48:40 | 2、先ほどアライとのやりとりでも、いろいろ追加されているというところで、ずっと気になったのが、   |
| 0:48:49 | 2.1の(1)のポツの   |
| 0:48:55 | おったのと、取る、そっちのオープンポートボックスの   |
| 0:49:01 | 2段落名の説明で再処理施設に手を新検査が実施されたものを受け入れるけど、  |
| 0:49:08 | 最近施設で長期保管に伴う訓練量別等の防止、応援を考慮して書いてあってこれって具体的にどんな、  |
| 0:49:17 | いう状況になることをイメージされているんでしょうか。  |
| 0:49:23 | はい。与儀ニシタニございます。ダイゴとか前提で語ってます。何かあるような感じで書いてますけど、結局最初の方の貯蔵設備容器ですねこれも  |
| 0:49:35 | 単品で固定をしてリークがないようにして、  |
| 0:49:39 | CB建屋で保管されてる状況、ここで何か異常がない限り、異常と言っても容器自体に異常が使えるような状態にならない限りは、リークはないと思ってます。とはいえ、万万が一ナカマ何らかのリスクを考えて、設備を作るという意味で、オープンと |
| 0:49:58 | ポートボックスにしていると、いうことを言いたかったということです。   |
| 0:50:02 | はい、規制庁ハウスここを単純に読むと核燃料物質等が漏えいしてくる4になっていてそれだとオープンポートボックスじゃちょっと抱えきれないような、  |
| 0:50:12 | 状況等、見えますので例えばシール部からのリークとか、  |
| 0:50:18 | 本当に間蓋を開けるときに考えられる、  |
| 0:50:22 | ことで、だからオープンポートボックス大丈夫ですを説明するところですのでそういう説明をもう少し拡充していただきたいんですが大丈夫。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:50:30 | はい。日本原燃志田でございます。失礼いたしました。故障形態で容器の中に粉末缶が酸化入った状態ですので、その中の雰囲気が出てくる可能性みたいなものも含めて、                         |
| 0:50:41 | 考えているわけで、核燃料物質が粉末缶が直接的ということを考えているわけではありませので、誤解を与えないように正しくへ種記載をしたいと思ひますはい。                             |
| 0:50:53 | はい。規制庁岡ですよろしくお願ひします。あと 44 ページ名で、  |
| 0:50:58 | ポートボックスとかフードの最大開口状態が説明されてるんですが、   |
| 0:51:04 | ここへA系とかB系あるものも全部一緒くたで説明されているんですが、共通 12 の方で使うときはA系B系とかその何個あるか。   |
| 0:51:15 | 何系統あるかもちゃんと明記されていて結構そこが気になってくる場所ではあるので、そういうところからの共通 12 の補足説明ということでしっかり記載をあわせていただきたいなんけ何kがあるかっていうことまで、 |
| 0:51:28 | あと明記いただきたいんですがそこはいかがですか。  |
| 0:51:33 | はい。宮城ニシダでございます大変失礼いたしましたABR物も確かにありますので、全体がちゃんとわかるように、整理をします。はい。はい。松岡です。よろしくお願ひします。                    |
| 0:51:45 | 次は 1 期 01 に対して、   |
| 0:51:49 | なんですが、  |
| 0:51:52 | 5 ページ目の後、   |
| 0:51:54 | これは経理の話ですがちょっと、   |
| 0:51:57 | 読みづらいなというところで、4 ページ目ですか。  |
| 0:52:01 | すべてのグローブボックス等同等の閉じ込め機能を有する設備っていうのが 4、四つめに追加されていて、   |
| 0:52:09 | ここ、一番上にすべてのグローブボックスっていう、  |
| 0:52:13 | この後、  |
| 0:52:15 | 何か、何を意図してるのかちょっとわかりづらいので、もうちょっと考えていただきたい。大変失礼いたしました。評価上も、   |
| 0:52:23 | はい。許可上もあくまで設備としてグローブボックスと同等の閉じ込め機能を、  |
| 0:52:28 | を有する設備というタイトルで、すべてのがあると何か誤解を与えそうなので、はい。許可との関係も含めて正しく表記をするようにします。実際対象はグローブボックスオープンポートボックスフードが対象だで、     |
| 0:52:43 | 理由の中に合わせて、すべてのグローブボックスがということ対象がわかれば、いいとすることが伝わると思うので、記載含めて整理をさせていただきます。                               |

|         |  |
|---------|--|
| 0:52:53 | はい。室長加賀です。   |
| 0:53:02 | 13 ページ。  |
| 0:53:04 | g目、先ほどもちょっと見たところだったんですが、ここのなお書きで、1<br>特に一つ目のなお書きなんです、  |
| 0:53:14 | 無料設定の単位の図示は、説明グループさんにまわしますということだ<br>と思うんですが、   |
| 0:53:22 | 今回、その風量設定の説明をする上で、その図示がなくて、切り分けら<br>れるっていう、  |
| 0:53:29 | 理由がわからなくて、そういう理由を書いて欲しいんですが、そもそもな<br>ぜ切り分けられそうなんでしょうか。   |
| 0:54:04 | はい。二本木清でございます。今後、評価対象の選定の考え方と、先ほ<br>ど荒井さんから、   |
| 0:54:12 | タカノだったかな、この 13 ページで、この表と後のミーティングの話なぜ<br>このグルーピングなのかということの連携ですね。                                |
| 0:54:23 | という説明との関係もあるので、整理をしていきたいと思います実際は   |
| 0:54:30 | まず今回の風量設計については負圧の方は、   |
| 0:54:35 | 一番大きなグローブボックスで掛ける 301 して、全体の必要な体積を求<br>めて風量を設定するので、この風量としてのインアウトの関係にはあまり                       |
| 0:54:49 | 寄与しないということ、オープンポートボックスの開口もう結局開口が生<br>じるものの、外構面積を全部足し合わせて必要な風量を設定するので、                          |
| 0:55:00 | この分用のインアウトの関係性ってのはあまり、最後のアウトプットとし<br>ての廃棄がどれだけ必要かということに答えを求めていっているのでは<br>あんまり関係ない企業がないということです。 |
| 0:55:11 | そういった関係性がですね 6 市それぞれどうということなのかっていうの<br>が、わかりづらいので、そこを含めて整理をして記載を拡充したいと思<br>います。                |
| 0:55:21 | はい。規制庁岡です。今回の説明範囲、   |
| 0:55:25 | という部分が、グループさんに飛ばすものは全部明確化されてると思う<br>んですがこの廃棄ゼロイチに関して、  |
| 0:55:34 | 今回の説明範囲自体が、  |
| 0:55:36 | 明確化されてなくて、   |
| 0:55:38 | それは 5 ページ目の(3)と(4)の一部、   |
| 0:55:42 | という。   |
| 0:55:43 | 理解なので、そっちを明確化してもらった上で、こうこうこういう理由だか<br>らグループさんのほうに飛ばしますがあれば、全体としてわかる。                           |
| 0:55:54 | 気がしますので、そういう配慮、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:55:57 | していただければと思いますがやっぱ、   |
| 0:55:59 | はい、日本原燃石田でございますありがとうございます承知いたしました。   |
| 0:56:03 | 規制庁ヶ月私から以上です。  |
| 0:56:07 | はい。市長あれですけど、他風量設定の関係で、   |
| 0:56:11 | 国等ございますでしょうか。  |
| 0:56:20 | はい。  |
| 0:56:21 | そしたらごめんなさい。すいません。  |
| 0:56:24 | 今のお話の、今回説明するのはこの範囲でっていうのは明確にすぐに行けると思うんですけど、なんでそれでいいのかっていうのが大事だっ<br>ていうことなんですけどそれって、                  |
| 0:56:39 | 今答えられます。   |
| 0:56:45 | はい、日本エリアでございます。そうですねそこを、まず今明確について<br>ないので整理をしないとイケないと思っておりますが、負圧に必要なもの<br>てのは系統で、排風機で一発で全部が繋がってる状態で、 |
| 0:57:00 | 負圧維持を達成するので、このインアウトというよりは全体どこに何が<br>ぶら下がっているかということを考えて、全体的に必要なと維持に必要な<br>風量を出すと。                     |
| 0:57:11 | システム的な系統としての説明になる部分かなと。  |
| 0:57:16 | 思ってます。開口部の方も結局、開口が同時にことを考えてそれぞれの<br>外構の空く場所を開く面積を、   |
| 0:57:26 | 適切に出した上で、それを系統として積み上げて、風量としての設定を<br>していくということ。そういう、多分、評価の仕方が、どういう考え方でや<br>ってるか、あとはそれが、               |
| 0:57:41 | 適切かどうかという話で我々としてはこうこう考えてこれが適切だと思っ<br>てますという説明を書いていくのかなと思ってました。                                       |
| 0:57:50 | とコサクです。ちょっと足りなくてですね。   |
| 0:57:53 | 次回に振るものは、工事課に振るわけじゃないのか。   |
| 0:57:56 | 工事課も含めて全部、今回、足し合わせてます。   |
| 0:58:03 | 古作です。足し合わせてますっていうことなら、足あわせールにあたって<br>その足し合わせた数字の妥当性を説明しなきゃいけないと。                                     |
| 0:58:13 | 思ってた、  |
| 0:58:17 | 数字が、の通りにちゃんとなってることっていうのは次回で確認をして説<br>明しますということだと思うんですけど、はい。  |
| 0:58:28 | そういうふうに、   |
| 0:58:30 | 今言われてます。何か説明は工事課にしますとただ言っちゃっててっ<br>ていう感じになってます。二本木ニシダでございます。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:58:38 | 2、3 階の部分を含めてどう考えるか、  |
| 0:58:45 | 今の考えてるかい概略というか業績を出しながらも詳細は、第 3 会議ということは、確かにあまり明確に書ききれてないところもあるんで、そのリンケージ最初のお約束がそうだったと思ってますのでそういうことをちゃんと絞って、                        |
| 0:59:01 | 説明をするように、記載を修正します。はい。  |
| 0:59:06 | はい。補足です。その対応が、まさに今回、   |
| 0:59:11 | 枠としてこういうふうに種整理して、  |
| 0:59:14 | 説明することで、全体として  |
| 0:59:18 | 今少なくとも今回の認可範囲において、適切性を説明できると。  |
| 0:59:23 | 工事会としての関係性も整理、   |
| 0:59:25 | ということだと思いますんで、それがない限りは認可としての審査が終わらないような気がしてますので、整理を  |
| 0:59:36 | はい、二本木の石田でございますありがとうございます承知いたしました。   |
| 0:59:42 | はい。他、よろしいでしょうか。  |
| 0:59:46 | そしたら搬送の方に入りたいと思いますので、  |
| 0:59:51 | どうしますか資料 3 から説明しますかそれとも資料 4 に絡めて説明しますか。  |
| 0:59:59 | はい、日本インダでございます。資料ターンをまず説明してから、資料 4 に行きたいと思えますちょっと絡めるにも、なかなかちょっと整理がうまくないので、今の現状だとそういう整理をするということを前提に個別にまずはやらしていただければと思います。はい。お願いします。 |
| 1:00:17 | はい、日本インダでございます。資料 3195 ページからで、199 ページから搬送のシステム設計を、をつけてます。  |
| 1:00:28 | 結局前回、資料 4 の頭でも説明していた、  |
| 1:00:36 | 申請、  |
| 1:00:37 | 今回の申請にあたってまず、第 16 条の搬送設備とは何ぞやというところの整理をしますというのがアノシステム設計所 205 ページの 3 の②の話。  |
| 1:00:49 | プラス、搬送設備としてエントリーしたものを、落下防止対策等々の関係で、類型分類をして、それぞれ、   |
| 1:01:00 | どんな対策が必要なのかと、いうことをピックアップしているというのが 206 ページでございます。結局この、205 ページで言う、   |
| 1:01:13 | 取り扱う核燃料物質の形態と、搬送設備等の関係というのを工程の中での示しとして 207 ページをつけたと、いうことこれで全体どんな搬送設備搬送物があって、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:01:26 | その搬送に対して、販促乾燥設備に対して、各安全機等の関係でどういったものを第 16 条の対象にするか、プラスその第 16 条の対象になったものに対してどういった落下防止等の対策が必要か。 |
| 1:01:41 | いうことを整理するのが、のシステム設計、入口のところの制約ということで整理をしました。   |
| 1:01:48 | その上で、構造設計側は、この提示を受けた上で、構造設計としてやるのが、搬送設備とエントリーしたものに対してそれぞれの先ほどあった類型との関係も含めて、                   |
| 1:02:04 | 落下防止対策等をどう整理していくかということで   |
| 1:02:08 | パターンとの関係で整理をし直しているということでございます。  |
| 1:02:13 | ただ  |
| 1:02:16 | 営業 1 課、   |
| 1:02:18 | 許さない。   |
| 1:02:20 | 性格容量との関係くって、  |
| 1:02:24 | はい。   |
| 1:02:26 | 業務の評価まで踏み込んで書いてるところがまだしきれてないところがありますので、そこは修正が必要だと思っておりますというのが資料 3 の状態ですね。                     |
| 1:02:37 | 例えば、223 ページあたり 224 ページあたり。  |
| 1:02:44 | いうところをヤノ治療に預けるところを、以前の主、考え方のまま予算残してますのでこちらは資料 4 が未整備としてきたということで整理が必要な状態でございます。                |
| 1:02:56 | はい。   |
| 1:02:57 | これが資料 3 として、資料 4 を踏まえて、直した部分になります。  |
| 1:03:04 | その上で、   |
| 1:03:07 | 搬送設備として、要求をかけるものってのは先ほどのシステム設計で体制を選んでますので、その対象に対して、という、                                       |
| 1:03:18 | 容量の設定をしていくかということ、それを 3 の取り扱うもの以上に定格荷重があるかということ整理していくっていうのが、                                   |
| 1:03:28 | 335、336、355、356 の整理でございます。  |
| 1:03:35 | ですが前回、月曜日のやりとりを踏まえまして、  |
| 1:03:40 | まず  |
| 1:03:41 | 今の、   |
| 1:03:43 | 354 ページの評価プロセスですねこれが他のものと名称が違ったりしてますので、2 ポツで対象設備と書いてますがこれが評価対象の選定とは言っても評価対象の選定は、              |
| 1:03:58 | A3 資料 3 のシステム設計で選んだものがその対象になります。  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:04:02 | ということで、入口のリンクを図ると。  |
| 1:04:05 | ということ。  |
| 1:04:06 | あとは、正確荷重の評価方法は、その考え方を示していくんですが、前回、  |
| 1:04:16 | やりとりを月曜日にさせていただいたときに、356 ページで、必要容量が定格荷重と、   |
| 1:04:26 | 取り扱う重量との関係で単純に比率を出して、マルバツをつけてますが、そもそも、  |
| 1:04:33 | この取り扱う重量に対して、どんな上振れなりの考え方があるのか、そういうことを考えて取り扱うものの最大荷重をどうはじいているかという考え方が、まずそもそも書いてないんでそれを、 |
| 1:04:47 | 拡充をしつつ、   |
| 1:04:49 | ×アノ搬送設備としての定格荷重に対してもですね。  |
| 1:04:53 | もともと定格荷重をインプットで決めるときに、搬送設備の構成する、いわゆるモーターだったり、ワイヤーだったり、そういう構成部材を、の必要な、                   |
| 1:05:05 | 設計仕様を決める際に、   |
| 1:05:08 | 動力にあるモーターであれば、非その定格荷重をつり上げるため、動かすために必要な努力が決まると、その努力を、それを上回るだけの能力のあるクドウ元となる。             |
| 1:05:21 | モーターを選んでくるというところでそれぞれ余裕が発生しますので、定格荷重以上のものをつり上げられるという能力はもともと持っているという、それぞれの考え方で、          |
| 1:05:33 | 大田さんと言った上で、最大荷重と定格用容量の低角等の比率をもって、   |
| 1:05:42 | 必要な量が運べるという能力がありますという説明をしようというのが現状考えている修正案でございます。                                       |
| 1:05:50 | 説明は以上です。  |
| 1:05:53 | はい、規制庁アライですけど、資料 3 の方から、  |
| 1:05:58 | でも構いません資料 4 の方から確認っていうところでも構いませんが、ちょっと私からちょっと。  |
| 1:06:04 | 本筋とはずれる。  |
| 1:06:06 | ですけど、先ほど最後の説明にあった回転機器の話で、   |
| 1:06:11 | ページで 258 ページ目。  |
| 1:06:17 | ですかね。   |
| 1:06:20 | 基本的に搬送設備で使ってる電動機っていうのは、   |
| 1:06:26 | このタイプ。  |



|         |   |
|---------|---|
| 1:06:27 | のものしかないという理解でいいですかね。  |
| 1:06:32 | 機械装置搬送設備の具体的にどの部分で、この設備を、   |
| 1:06:37 | 使ってるのかっていうところを確認したいんですが、  |
| 1:06:53 | はい。日本原燃石田でございます。158 ページ見ていただきますと、これ関連条文の第 10 条との関係で、クドウ元に関係するので内部発生飛散物という意味で書いてます。    |
| 1:07:06 | ので、機械装置搬送装置、設備にだんだん特化したと言えれば内部発生飛散物としての関係するものとして書いているところでございます。                       |
| 1:07:16 | ただこう流れてくると、だから突然違うものが入ってくるのでちょっと何だか仕切りを考えなければいけないと思いますので、整理はします。はい。はい。                |
| 1:07:28 | これってそもそもあれですよこの説明をする際には、機械搬送装置の設計説明分類を代表にして展開ってなっていたはずのような気がしていて、                     |
| 1:07:40 | なのでこの位置にいるのかなあとは思っているんですけど。   |
| 1:07:43 | そういう理解でいいんですよまずは。   |
| 1:07:52 | はい。2 番目のインダでございますまずそのはずでしたので、それも含めてちょっともう一度確認します。はい。                                  |
| 1:08:01 | それで搬送設備の一部として説明するのであれば搬送設備の例えば、どの部分ですっていうのを説明した方がいいと思っておりますね、他も全部同じタイプですっていうのであれば、これは |
| 1:08:14 | 回転を、  |
| 1:08:15 | 防止する構造というのはパターンとしては一緒ですっていう説明に繋がるのかなと思ったっただけです。                                       |
| 1:08:23 | うん。あ、すいませんコサクです。  |
| 1:08:27 | 少なくとも 258 ページは、インペラーと書いてあって、  |
| 1:08:32 | 搬送設備にペラはあるのかと。  |
| 1:08:35 | ということですけど。  |
| 1:08:39 | どうなってます。  |
| 1:08:41 | はい、日本に調べます事実としてはございません。   |
| 1:08:45 | 難しいな。212 ページと 233 ページで 16 条と十四条が絡んでいて、この説明の仕方の、                                       |
| 1:08:56 | 多分入れる場所が間違っんじゃない、これ。そうすると、はい。補足です。それで、午前中から含めてちょっと確認しようと思ってて忘れてたんですけど。はい。             |
| 1:09:07 | 多分、代表。  |
| 1:09:10 | 野瀬選定のところでの、   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:09:15 | 何て言うんすかね適切になっていうところがうまくできてないってことだと思うんですね。  |
| 1:09:24 | なのに、代表選定での   |
| 1:09:27 | ここで説明しますの割り振りの仕方ってところが、私が懸念していた、その一番数の多いところでやりますって言っちゃ、                                  |
| 1:09:36 | ているんだけど、   |
| 1:09:39 | これで説明するの適切じゃないよねっていうので、  |
| 1:09:42 | 変えたんだと思うんですけど、そうだとすると、代表の選定のところから変えなきゃいけないってことだと。  |
| 1:09:49 | 思ってた、  |
| 1:09:53 | ソウノ時 2 でも代表のところでも説明項目に入ってるよねとすると、  |
| 1:09:59 | どういうふうに書いたらいいんだろっていうところの悩みになってくるのかなと思ったんですけどどうですかね。                                      |
| 1:10:06 | はい、日本イシダでございますはい、おっしゃる通りでアノコウですねさっきの資料 3 の 213 ページこれ資料 2 のところでも次にボタンを                    |
| 1:10:15 | あけ間違ってる気がして、10 条の 23 が二つしたばかりというんですけど、   |
| 1:10:22 | 1、大きくは二つ、1 台で分かれていて真ん中からさらに三つに分かれるんですけど、   |
| 1:10:29 | ダブルスタンダードで多分、代表を行っていて、   |
| 1:10:36 | 下側の下から 2 番目の段にある従う代表と言ってる枠の下側、多分これ換気設備に割りつけないと説明合わないんじゃないか。                              |
| 1:10:46 | うん。  |
| 1:10:46 | はい。設置対策がこう分かれていく。いやだから落下防止とかそっちは機械装置搬送設備になります。会見機器の方は、換気設備は排風機で、                         |
| 1:10:58 | 代表になりますって言って最初に資料 2 の段階ですばっと開けて、だから、同じ設計で基本設計方針の要求を語るときに、それぞれの要求してる設計を語る中で、設計説明分類が二つあって、 |
| 1:11:11 | それぞれ代表になって、じゃないと全体カバーできませんってことなんじゃないか。   |
| 1:11:18 | それを多分資料にもさかのぼってやらないと、この状態で走ったときに、  |
| 1:11:23 | 機械装置搬送設備でやることじゃないよねと、回転機器の話。   |
| 1:11:28 | 共通   |
| 1:11:29 | うん。だからここが多分、ここまで来たときに、と思って、これ代表ってこういう誓い装置だけど、何かおかしくねっていうところに気づいて、さかのぼったらよかったね。           |

|         |  |
|---------|--|
| 1:11:39 | はい。どこかな。はい。ちょっと整理します。はい。   |
| 1:11:43 | はい。補足です。先ほど石原さん言われたように、資料 2 の段階で、ちゃんと視点が二つあります。  |
| 1:11:52 | いうこと   |
| 1:11:53 | 代表っていうことで、貼り付けていって幸アノ関係の話の説明もあるし、  |
| 1:12:02 | 外搬送設備の説明も代表としてそれぞれって上がってるので、その中で合わせ、それぞれをですね、説明していくと。  |
| 1:12:10 | いうことでそれを足し合わせるとこれの対応の一色が説明できるということだと思います。そういう足し合わせるんですわけの説明するんですってというようなことを、資料 2 の段階或いは                                |
| 1:12:26 | 資料 3①ですかね、家田段階なりでわかっていけばいいと思いますし、②の方でもう支店のこっちの説明します。   |
| 1:12:37 | こっちの方は別で、説明されてますっていうことがわかれば、   |
| 1:12:41 | いいのかなと思いますけど、そこら辺で整理を、   |
| 1:12:46 | 記載ルールもですね、整理いただければと思います。で、   |
| 1:12:50 | それで言うと、  |
| 1:12:53 | 差分のと聞いに。   |
| 1:12:56 | 差分の設備の施設での説明の時に説明したいことっていうのは当然書かれるんですけど、それ以外のものっていうのは、なるべく省略するということだと思いつつ、   |
| 1:13:12 | 長いつてなると、   |
| 1:13:16 | 他のを、その説明してる項目に対して他のものって影響しないのみたいなところが、   |
| 1:13:23 | わからなくなっって、これ、その部分ってどこで説明しましたっけっていうなこのも、  |
| 1:13:30 | 前って見比べてみてみたいなのが必要になってきやしないかなと思う思ってるんですけど。  |
| 1:13:38 | そのあたりどうしてくつもりかとかっていうのはありますか。はい、日本イシダでございます。構成的にはおっしゃってた、今代表、資料を 2 の段階で、設計説明分類単位で選びつつ、差分として考えなきゃいけないものがあるのかないのかっていうのは結局 |
| 1:13:58 | は 1 回は、この資料 3 の①のステージに戻ってきてきて、その結果としてやっぱり差分があるのかないのかって話なんですけど、その考えた結果がですね今差分なし。  |
| 1:14:08 | バーみたいな書き方しかなってないので、ここはちゃんと、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:14:14 | どういう観点で見て、差分がないとしたのかと、対象する設備は代表以外も含めて、左から4番目に書きつつこの設備にどんなものが入っていてそれが、  |
| 1:14:27 | このリスクを設計方針が流れてくる、設計要求としてどう関わっていくのかってというのが、まずは設備単位で書いてもようわからんということになるし、かつ差分がないってのが何でもわからないので、ちょっとそういうところの記載の、 |
| 1:14:41 | 丁寧な展開をするということ、1度やってみて、ルール化するにはどうしたらいいかということも検討していきたいと思います。   |
| 1:14:51 | はい。コサクです。まだ、   |
| 1:14:54 | グループ一位なので、   |
| 1:14:57 | あまりすでに説明したことの繰り返しになっちゃうっていう事案がそんなに発生してないから、とりあえず一生懸命書き込まなきゃっていう感じになってると思うんですけど。                              |
| 1:15:10 | 今後、  |
| 1:15:12 | 再処理、グループ1もではあるんですけど、グループ2の方になるとグループ1での説明事項。  |
| 1:15:21 | もう関係してくる設備があるはずで、  |
| 1:15:24 | その時に、  |
| 1:15:28 | グループで説明してるからこの基金に対しては説明しませんですんかっていうのは、ちょっと疑問があるので、その点でもですね、関連するところは  |
| 1:15:42 | そのポイントは明確にさせていただいてで、具体はグループ1ウノを見て、   |
| 1:15:50 | その上で関連してる部分の特記しますという、  |
| 1:15:53 | ことかなあと思っ   |
| 1:15:56 | てますので、   |
| 1:15:58 | また同じように書いてしまうとちょっと   |
| 1:16:02 | 二重の審査になっちゃったりとするとよくないと。  |
| 1:16:05 | その点で今後考えていただけ  |
| 1:16:11 | はい。日本原燃石田でございます。いたしまして実際おっしゃっていたようにグループMOXの説明グループの構造部分を今、  |
| 1:16:21 | 作成者が使う部分は、並行して作ってやりとりをしてますその中でもやはり、こういった資料3の①ダテ②を作る段階で、説明グループ2と1の関係っていうんすかね。そういうのが、                          |
| 1:16:34 | 総合関係の手続きってどうやって書こうかと、リンクを飛ばすだけなのか中身を、大体こういう意味で一緒だということを書かないと。ただリンク   |

|         |   |
|---------|---|
|         | 飛ばしてもねみたいな言葉ってやりとりをしてますのでちょっと考えて、書き方なり何なり整理していければと思います。はい。          |
| 1:16:51 | はい。コサクですよろしく申し上げます。今言っていたところ、                                       |
| 1:16:56 | 気にしてたところ是对応されてるなと思ったんですけど、  |
| 1:17:00 | 審査資料としては、記載は簡略的にしていただきたいところではありつつ、それぞれの担当者は、ちゃんとその部分の認識をして、         |
| 1:17:12 | 今お話いただいたような差分があるのかないのかを、同じ考えでいいのか。                                  |
| 1:17:16 | ていうようなことは、ちゃんと考えていただく。  |
| 1:17:20 | いうこと。それが先ほど、ちゃんと検討してもらわないとという話をしたところに繋がると思うので、                      |
| 1:17:29 | 少なくとも、MOXグループにはやられているということのようなので、それが資料に表れ、ヒアリングでも、示していただけたらなというふうに、 |
| 1:17:40 | ます。以上です。  |
| 1:17:43 | はい、西田でございますありがとうございます承知いたしました。                                      |
| 1:17:49 | はい。規制庁、荒井ですけど。  |
| 1:17:52 | 見直すというところで、内部発生飛散物の   |
| 1:17:57 | 説明として、少し明確にしたい部分がありまして、ついでなので、                                      |
| 1:18:03 | 確認なんですけど、258 ページ目の、   |
| 1:18:06 | 左下の、  |
| 1:18:08 | グラフみたいなあるじゃないか、回転速度が縦軸で、  |
| 1:18:13 | まず横軸は何なんだっていうところが、よくわからないと。   |
| 1:18:18 | あとは   |
| 1:18:20 | 負荷を考慮した回転速度を示すっていうところで、定格回転   |
| 1:18:26 | 速度、※1 っていうところに振ってるんですけど、不カトウ周波数の、                                   |
| 1:18:31 | 関係。   |
| 1:18:32 | ていうのは出てくるんかどうか。   |
| 1:18:35 | それともこれ示したいのは、   |
| 1:18:38 | 無負荷になったとしても、一律の周波数で回転速度が保ててるので、回転になることはないということを示したいのか、どっちなんですか。     |
| 1:19:07 | 日本インダでございます横尾は確か時間だと思ってますDEM無負荷の状態が一番                               |
| 1:19:16 | あれだよな。  |
| 1:19:18 | 何言ってんだっけこれ。   |
| 1:19:24 | ちょっとだけ待ってくださいすいません。   |
| 1:20:06 | はい。与儀李ソヤでございます。時間でもないですよ多分フカワか何かですね。ほんで、                            |

|         |  |
|---------|--|
| 1:20:13 | 負荷がかかったときにも今日は無負荷の状態の回転速度を上回ることはありませんということでこれ以上になることはないので、   |
| 1:20:23 | 一定の改定速度が維持できますということが、もともと聞いたかったことですが、  |
| 1:20:29 | 一言なんか書いてることでそれに当たるようなことがないので、ちょっとあの記載は、整理をします。はい。はい。   |
| 1:20:35 | 谷津言うと破線で緑が組の回転数速度＝の式があると思うんですけど、この   |
| 1:20:42 | 矢印が向かうところって一番上の、多分一定線のところなのかなと思っているので、ちょっとそこが明らかになるような形で、吹き出しをつけていただきたいと思います。                              |
| 1:20:54 | あ、ごめんなさいコサクです。それでもないと私は思って。  |
| 1:20:58 | パラメーターに計画周波数って書いてあるので、   |
| 1:21:02 | これだと。  |
| 1:21:03 | 固定値しか出なくて変動するような値にはならない。   |
| 1:21:07 | これで儘田から今アラインからは一番上の一直線のものじゃないですかという質問。   |
| 1:21:17 | ババになったと思うんですけど、  |
| 1:21:19 | そうだとすると、計画周波数でいいんですか。  |
| 1:21:23 | 与儀ニシダでございます。そうですねこのままだと低角周波数って言ってたから、一本線しかないんですけどこれ力率も含めてちゃんと正しい機器を変えて説明しないと意味が通じないですね、ちょっと整理をしますすいませんでした。 |
| 1:21:37 | はい。よろしくお願ひします  |
| 1:21:41 | とりあえず気づいた点は以上ですが、ほか、コメントをお願いいたします。   |
| 1:21:47 | 規制庁大賀ですちょっと今回転機器の扱いについて再確認なんですけど、結局、この回転機器をここで書いてたっていう私の理解では、  |
| 1:21:58 | 藤さんいう十四条の内部は生産物としてエントリーされてるもののほ多くは搬送設備機械設備の、   |
| 1:22:07 | ボイス設計に重なるところがあるので、一緒に説明していきますと、で、その中で唯一搬送設備のところの説明できないものは回転機器で、  |
| 1:22:18 | 一緒にここで説明しますっていうふうに始め整理されて目次上も、   |
| 1:22:24 | そうなってきたと。でそれを換気設備側に回す、地上部の間接機能に回すとまずそういう理解でよろしいですか。  |
| 1:22:32 | はい。イノウエニシダでございます。まず資料2の段階でそう整理しようかなと思ってますタダそれぞれのところでの  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:22:41 | 内部発生飛散物の要求全体に対して、それぞれどういうパートの部分<br>を説明していくかということがちゃんとわかるように、                         |
| 1:22:51 | 資料3の①でも、資料3の②でも、整理をしていくと、示していくというこ<br>とで、必要な要求事項に全体カバーできてますという説明につなげられ<br>ればと思ってました。 |
| 1:23:03 | はい、規制庁からわかりました。  |
| 1:23:05 | 補足です。すいませんそれで言うと、完全に二分できるわけではなくて。<br>へえ。発生元の方は若レールことができますけど、                         |
| 1:23:17 | どういう発生。  |
| 1:23:19 | はさせちゃいけないのかっていう、受け側での許容量みたいなところ<br>は、一つなり、また別になるということだと思うんですけど。                      |
| 1:23:30 | それはどちらかに寄せるっていうことでもいいんですかね。  |
| 1:23:35 | それとも大した話じゃないから両方、枕詞的に説明同じようにしますって<br>ことなのか、どういうイメージでしょう。                             |
| 1:23:56 | これは、どこで1案いうに預けて、分類上は、  |
| 1:24:01 | そうですね。もう同じ、違う全体の話をもつちが1つだけ。  |
| 1:24:11 | 意味通じた。   |
| 1:24:14 | 14条で全体のシステム設計なり説明してんじゃ、それは誰に預けたか<br>っていう。  |
| 1:24:22 | 規模   |
| 1:24:23 | はい。機械装置。   |
| 1:24:32 | 全部、  |
| 1:24:35 | システム設計いるオノナカに出席する。   |
| 1:24:39 | 社長。  |
| 1:24:41 | これも具体に行っちゃってるんでシステムの方では、ここは何かこう、二<br>分でやりますよって話は、                                    |
| 1:24:51 | それだと多分足りないね。   |
| 1:24:57 | 誰かに預けてあっせん要員としてこういうところを見ればいいんだって<br>いう内部発生し産物として、                                    |
| 1:25:04 | 加害者、   |
| 1:25:05 | 被害者が加害者との関係で、内部発生物、飛散物による安全機能喪失<br>っていうパターンがどんなものが考えられてみたいかな許可でも書いてる<br>よね。          |
| 1:25:16 | それを受けるシステム設計は誰かいけないといけない、落下防止があり<br>まして、回転機器ありまして、ではないんだよね。                          |
| 1:25:24 | これを、多分今ないんだったら資料言う段階でシステム設計変えて、  |
| 1:25:30 | 配置設計がユーザーの配置設計も変えて、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:25:32 | その上でそれを誰か、一番トップバッターの人に預けて説明させる。   |
| 1:25:38 | その中で、対策として必要な部分、加害者にならないように、対策としてそのものを、やっぱりオンダ 2 の段階でも必要な代表を挙げて飛ばすし、  |
| 1:25:49 | この資料 3 で受けたところは全体の中のここだっというのをちゃんと言っ。  |
| 1:25:53 | そういう意味で機械装置搬送設備で全体をカバーするっていうシステム設計なりを変えて、   |
| 1:25:59 | コウノする。  |
| 1:26:02 | こういうことにしようか。  |
| 1:26:04 | はい、日本イシダでございまちよっと全体、整理を、今お話する形で整理をさせていただきますまずは、   |
| 1:26:10 | はい、古作です。よろしく願います。   |
| 1:26:14 | 今、機構は、説明を開けてとかっていう話をしたので、お話しましたけど他にも類似のことはいっぱい出てくると思うので、早期の説明の体系っていうのがわかるように整理をいただければと思います。以上です。                                    |
| 1:26:30 | はい。二本木ニシダでございませ承知しましたそういったことが正しく資料を 234 を作る中での全体の紐づけ、をどうやっていくかという、共通上位だったりガイドだったりというところに、展開をするべきことかなと思いますので整理をした上で必要なところに展開をしていきます。 |
| 1:26:54 | 規制庁奥です。搬送設備資料 3 の方から個別に確認させていただきます。まず 205 ページ目で、  |
| 1:27:01 | 再整理されたっというところなんですがこの整理の基になっている補足説明資料と、一緒に確認したいんですが、搬送 01 の、   |
| 1:27:12 | 16 ページ目が、ここに出てくるものノモトになってるんですが、   |
| 1:27:18 | 搬送 01 の 16 ページ目で飛ばしている条文、例えば気体廃棄物協はい。   |
| 1:27:25 | の廃棄条文当然、  |
| 1:27:27 | ですし、はい。もうそうなんです、  |
| 1:27:30 | ここで、下の方で全部 10 条に、   |
| 1:27:34 | 展開するって書いてあって実際のところ、   |
| 1:27:38 | どういうふうを考える。   |
| 1:27:39 | 出ますか。   |
| 1:28:02 | はい、日本イシハラでございませ。いやだから今、越川が言った十条に飛ばして、   |
| 1:28:09 | 今 16 ページだから 20 条とか、   |
| 1:28:12 | 四条とか、違う条文書いてるやんね。   |



|         |  |
|---------|--|
| 1:28:15 | これ授業に飛ばしてっていう。   |
| 1:28:17 | 野辺藤堂に書いてあったっけ。   |
| 1:28:25 | イシタ決めてくれる。   |
| 1:28:27 | もちろん、  |
| 1:28:28 | ただし書きです。   |
| 1:28:30 | 相神宇波フルヤ系統  |
| 1:28:32 | や、   |
| 1:28:39 | その他の条文ってどこなのっていうの都合では、   |
| 1:28:46 | わかった、日本で2社でございます。そういう意味でいくと、   |
| 1:28:52 | ここのページの、今何。  |
| 1:28:55 | 資料3の表が足りないっていうことで、   |
| 1:29:01 | なりますね。今、搬送01の15ページのただし書きで書いてる、真ん中にあるやつです。                                    |
| 1:29:11 | これで言ってる住所に振るものが、今、紙資料3の表の中に書いてある対象物になるので、                                    |
| 1:29:20 | 岩相01の16ページに対してある十条に来る以外のもの。  |
| 1:29:27 | と、計とてもそうになったらあれじゃん。  |
| 1:29:31 | 営企はいは配管ダクト内に移動するって書いてあってミギタ24。   |
| 1:29:38 | 一方で売ってる所との関係の、   |
| 1:29:42 | 以上。  |
| 1:29:43 | 20条で、  |
| 1:29:46 | だったら、16ページにそれをちゃんと書こうです。   |
| 1:29:49 | 相手、パワポの表示も書こうよ。  |
| 1:29:53 | 上リンクとドイはい。   |
| 1:29:55 | どっちも違うこと書いてもしょうがないから。はい。日本イシハラでございますちょっと丁寧に書きます。はい。10所からの展開で、それぞれ個別の設備については、 |
| 1:30:06 | 形状なり何なりで展開をしますので、それがわかるように、整理をします。   |
| 1:30:14 | 入ってるなんハバサキを20、   |
| 1:30:20 | 政調会です。はいました。その関係でなんですけど次雑固体なんですけど、これまずちょっと、ここに書いてある説明が悪くてその105ページですね。        |
| 1:30:32 | 燃料物ではないため技術基準規則の対象外にしてしまうことはさすがに、  |
| 1:30:38 | なってですねそうそう書いてしまうと。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:30:44 | 出面だけ、条文の字づらだけを読んで判断してるっていうふうにはまずとらえられますよね。当然ながら、放射性物質ではあるので、                      |
| 1:30:55 | 燃料物質って条文の要求でづらだけ。   |
| 1:30:59 | 書いてて、   |
| 1:31:00 | じゃなかったらいいなっていうふうになら今書いてるように見えるんですが、これを、   |
| 1:31:05 | 出していくのはどうかと思うんですが、  |
| 1:31:14 | はい。広げニシウラでございます。はい。   |
| 1:31:20 | ある01の、16ページの一冊下に書いてあることも含めて書きたかったのが思いではあるんですが、                                    |
| 1:31:31 | ちょっと短絡的になってしまったところがありますので、記載の整理をさせていただきます。  |
| 1:31:36 | はい。規制庁加賀です。雑固体だけ、技術基準規則の対象外にしようとされてるんですが雑固体は本当に廃棄物としてオカベするんですよね。                  |
| 1:31:59 | はい、日本輸入者でございます。そこはちょっと整理をどうするかですけども、加工の   |
| 1:32:06 | 規則で前に廃棄施設の中に保管廃棄を除くといって他廃棄が登場する場所が、条文じゃなかったりですね、そういうのもあって結構宙ぶらりんになってるのは状況でございます。  |
| 1:32:18 | はい。はい。規制庁岡です。とは言いながら廃棄条文の中で固体廃棄が、   |
| 1:32:25 | 保管廃棄していることが読めるように工夫して、各社やっているところで、去年の   |
| 1:32:32 | モック数の廃棄条文の  |
| 1:32:36 | 00資料でも、答え廃棄のパートはあると思うんですが、はい、相手ます。はい。無理くりはい。わかりました。はい、規制庁下ですので、                   |
| 1:32:46 | ここは、その廃棄処分て扱っていう、整理では駄目だったんですか。   |
| 1:32:54 | はい。二本木ニシダでございます廃棄条文に、いわゆる、  |
| 1:32:59 | ここで言う、  |
| 1:33:00 | 核燃料物質を移動する際の、そっか。   |
| 1:33:08 | 配管内を移動するものがいわゆるバウンダリーの維持が大事だから十条であります。それとも一緒に、雑固体については、他廃棄のよ能力だったり、いろんな廃棄施設としてのよ。 |
| 1:33:20 | 要求を満足することによって必要な要件を満足できるということであれば、素直に、まずは廃棄上部に振ってそこで展開をしていくというやり方も、               |
| 1:33:30 | 今おっしゃっていただいている通りですね、整理しますはい。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:33:34 | はい。清ツボクラです。条文に振るにしろ振らないにしろちょっと今の記載ぶりはさすがに、                                   |
| 1:33:41 | かなり印象が悪いので印象が悪いので、そこは、をつけていただければと思います。                                       |
| 1:33:50 | 206 ページ目からのところで、ここが先日の会議資料案の部屋でも伝えましたが 206 ページ目で、                            |
| 1:34:00 | 分類した方式から、それぞれの機構の繋がりにってところが、今繋がってなくて、  |
| 1:34:08 | そこら辺の  |
| 1:34:09 | 家ってというのは何か考えられていますか。   |
| 1:34:17 | 日本戎谷でございます。今言われてるのは、206 ページの上に空冷方式って一体どんなものですかと。                             |
| 1:34:25 | ということで、  |
| 1:34:29 | 上下動だったり水路だったり、橋だったりっていう、その動きに対して要求されてるポイントを押さえた上でこれと、落下防止対策等の対策と紐づけをしようと思って、 |
| 1:34:46 | 井戸として作ったんですけどここは繋がらないってことですかね。はい、説明を伺います。その方式、次、構造設計の方では、今の方式、               |
| 1:34:56 | なのかっていうことの繋がりが、今はないってことなので、  |
| 1:35:00 | はい。二本木市田でございます。はい、理解をしました。はい。  |
| 1:35:11 | 今、搬送 02 の右下 11 ページでやっているような、いわゆる   |
| 1:35:21 | 落下防止対策等、今言ってる 5 分類ですねの関係性、結局はいろいろと多数絡み合ってくるので、単純に課題にしてもはクレーンは悪いが、ミシマって今の     |
| 1:35:33 | 整理と同じような話にはなるのでちょっとこれとの関係も含めて整理をしてつなぎをつけていくということで考えます。                       |
| 1:35:41 | はい。規制庁甲斐です。はい。シナリオがしっかり伝わるようにというコメントでしたので、お願いします。                            |
| 1:35:49 | で、同期なんですけど、  |
| 1:35:52 | カノウ機器は、実際のところ今、かなりの扱いが、  |
| 1:35:57 | 明瞭な状況でして、  |
| 1:36:00 | 結局第 2 回申請で何かないのかということ、前回から結構聞いたりして、それがですね今補足説明資料の状態だと。                       |
| 1:36:12 | 断層 01 が書いてなくてファン層 02 は対象がないとか、パート 03 で対象があるっていうふうに書いてきたり、                    |
| 1:36:21 | 何か、今どういう状況なのかっていうことが、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:36:25 | 別の補足説明資料全体を通じて、よくわからない状況になっているんですが、  |
| 1:36:31 | 第2回申請のこのグループ1で稼働切って、   |
| 1:36:35 | どういう、  |
| 1:36:36 | ふうに扱われていますか。   |
| 1:36:59 | ウメダイシハラでございます。ちょっとまず、第2回の対象には、ペレットお答え、1個ずつは不要なものしかないの、対象にはなってませんということは、全体通して同じなんですけど、とはいえ、反響01から03まで通して同じような |
| 1:37:18 | 展開がうまくできてないところがあると思いますので、記載も含めてセイノ適正になるように修正を考えたいと思います。  |
| 1:37:27 | はい。規制庁岡です。はい。ハウス内のリストなんかでも可動機器は全く出てなくて、FAX03で急に、   |
| 1:37:35 | こういう対象もあるんですけどっていうふうな記載があって、そこをちゃんと明確に流れは、   |
| 1:37:43 | 考えていただければと思いますので、よろしく申し上げます。   |
| 1:37:52 | 210、   |
| 1:37:57 | 111 ページ目。  |
| 1:38:02 | ところばかり話ではあるんですか。   |
| 1:38:06 | コウノ。   |
| 1:38:10 | 16条の2の、  |
| 1:38:14 | 詳細設計方針のところの、   |
| 1:38:17 | (ハ)と、  |
| 1:38:22 | 括弧辺の違い、扱いの違いが、最後までずっと平行して、   |
| 1:38:30 | 進んでいてガイドピンの話はの方で触れていて、の方でもガイドピンは内数に入っていて、ずっと濃い、これらが同じところで登場してくるような感じになっていて、                                  |
| 1:38:42 | 関係はどういう状況なんでしょう。   |
| 1:39:09 | はい。日本語名称でございます。もうちょっと記載の工夫は考えます  |
| 1:39:16 | 前の議論で、搬送設備側だけのことでなくて、だけではなくて、貯蔵設備との取り合いだったりちょうど設備側での考慮であったり、一連の流れで、  |
| 1:39:26 | 落下防止の対策みたいなものをちゃんと説明するということで整理してきたつもりです。共通要因上構造設計にうまく対象物を  |
| 1:39:39 | 明確にして書いていけば切り分けはできるんですけどもまあ図も変わりますしリンクージュも図れるので、添付書類の記載でコウハバノ8ポツの中で全部並列で書いてしまうと、                             |

|         |  |
|---------|--|
| 1:39:50 | それぞれの関係者がよくわからなくなるので、ちょっと総合貯蔵設備としての言ってることと、搬送設備として行っていること、それをリンケージを上手く取って記載をしていくと。 |
| 1:40:03 | ということで整理をさせていただければと思います。   |
| 1:40:06 | はい。政調会ですいませんそこまで。  |
| 1:40:09 | 気づかずに、貯蔵設備側のことが法から書かれていて、はい。   |
| 1:40:15 | はい。その使い分けだったんす登場していましたので、違いがわからなかったということで、その                                       |
| 1:40:23 | ハタケは理解しましたのでちょっと明確化の方をね、   |
| 1:40:26 | はい、日本インダでございますアノとはいえ、塀のところがそのと同居設備との取り合いを考えなきゃいけない搬送設備は都会というところで、                  |
| 1:40:38 | (ハ)と何が違うんだってところは、もうちょっと明確に、とりあえずゴコウ考えて書いてるんだよっていうことをちゃんとわかるように、整理をしていければと思いました。はい。 |
| 1:40:48 | はい。規制庁岡です。はい。よろしくお願いします。次、213 ページ目の十四条 23。   |
| 1:40:56 | の、   |
| 1:40:57 | 構造設計の 3 ポツ、  |
| 1:41:03 | 3 ポツ目。   |
| 1:41:05 | メカニカルストッパ等っていうふうはまだちょっと、この詳細な設計を展開する段階で、頭が使われているところが、                              |
| 1:41:14 | あって例えばここ、メカニカルストッパー等底部についているんですが、これ実際、   |
| 1:41:19 | 宴会場田井見ていくと、例えば 244 ページ目とか、   |
| 1:41:31 | この後も少しメカニカルと、出てくるんですがどれも、  |
| 1:41:36 | かかるストッパ以外のものが出てなくてですね実際この等に該当するものってあるのかっていう観点で、                                    |
| 1:41:44 | ちょっと確認いただきたいんですが、ただ、   |
| 1:42:05 | はい、二宮でございます。はい。現状を示して確かにメカニカルスパークが出てきませんので、全体見渡して、当該ウノか要らないのかアノてカトウかかるに対象物を撤去すると。  |
| 1:42:17 | ということで、もしあるんであればですね、整理をしていきます。はい。規制庁岡です。おそらく、                                      |
| 1:42:24 | もうもうほとんど出てきてはいないんですがちょっと目に入ったので、そういう等が詳細設計で展開しているところで等みたいなどころがある場合は、やはり明確化、        |

|         |   |
|---------|---|
| 1:42:37 | していただくことが必要だと思いますのでそういう意味で、もう一度お願いします。  |
| 1:42:50 | はい、与儀西田でございます。承知いたしました。   |
| 1:42:53 | PMをいいわけ。  |
| 1:42:56 | それじゃ、メカニカルストッパーって言ってるのは、本当にストッパーとして下端っこについてるやつだけを言ってるのか、ガイドピンじゃないけど、ストップになって、もうストッパーって、 |
| 1:43:06 | 言っていないでしょってことはPワダって別じゃん。  |
| 1:43:11 | だったらさっきの、何だっけ。  |
| 1:43:14 | 搬送場についてです 246 ページとかさ、この辺についてですので突き出しで等って書いてるけどこの、                                       |
| 1:43:23 | オレンジのやつのは、  |
| 1:43:25 | 本の中に入るんじゃないか。   |
| 1:43:27 | こっちの方、断層痛みの、だからこれは下の話じゃない。うん。はい。この場合の、  |
| 1:43:38 | あれ。   |
| 1:43:40 | 搬送の要請が 2 アライストッパのガイドってか、メカニカルストッパーって書いてるのは 1 方向に対して止めるためのですね。                           |
| 1:43:53 | あとちょっと抜き出しを書いている場所が悪いんヒライのことだけ言って、  |
| 1:44:01 | いや、でしょ。はい。すいません失礼しました。はい。失礼します。はい。はい、規制庁課長よろしくお願ひします。                                   |
| 1:44:07 | 次、資料 4 の方、移りまして、  |
| 1:44:12 | ほとんど資料 4 に関しては甲斐大城秋谷の方で伝えたところではあったんですが、ほそくうの方に寄せてしまっているっていう点で、こちらの方に少し戻すところ例えば、         |
| 1:44:26 | 他の評価パターン 1 で検討されてるような、代表。   |
| 1:44:32 | の考え方差分の考え方とか、そういった  |
| 1:44:36 | あと、初めて各人の考え方もおっしゃってましたが、最大荷重の考え方とか分離の考え方とかそういったものが少し、ここの流れを流れを                          |
| 1:44:49 | ちゃんと説明するために必要な情報ということで、こちらで少し拡充するということだと思うんですが、その辺はいかがでしょう。はい。西田でございます。はい。評価対象の話の整理、あと  |
| 1:45:04 | 代表云々の話であったりあとはその代表を選ぶための累計の話であったりですねあと最大荷重低角風をどう、もともと考えて設定しているのかと。                      |
| 1:45:16 | いうことでそれぞれに下に売れるリスクがないのかということも含めて、それぞれの設定の考え方を、不正拡充をしようということで、                           |

|         |  |
|---------|--|
| 1:45:27 | 本日お出しをしたもの。  |
| 1:45:30 | した資料も、そういったところを、まだちょっとこなれてないところなんですけど拡充をしておるところでございました。はい。はい、規制庁カセわかりました。それでちょっと気になっているのが、グローブボックス内外の話で、356 ページ。 |
| 1:45:45 | これが今回搬送 03 でもクロポツ内外に分ける理由というのが、  |
| 1:45:52 | 記載されてなかったんですが、ここは何かケアされて、  |
| 1:46:04 | はい。大変  |
| 1:46:08 | 書きました。一応書いたんですけど、  |
| 1:46:14 | まだもう 1 人必要だなんて根拠になってないなというところは思ってますので、ちょっとしたやりとりをさせていただきながらも、明日までにちょっとまたさらに、                                     |
| 1:46:24 | 自分なりに考えて、どうしていくかは説明できるようにさせていただきます。現状はまだグローブボックスをつけているのは、木製の加工施設の特徴。この特徴って何かっていうのは、                              |
| 1:46:37 | 設計基準事故も含めて、閉じ込めっていうものに対してどういう考え方をするか、いうのを含めて、グローボックスな内側外側、そもそも外側にはグローボックス近傍に、                                    |
| 1:46:51 | 重量物を搬送するようなものを置かないとかですね、そういったところの考え方をもととその他の条文の要求でも設計説明してますので、そういう観点で、グローボックスの中と外と、                              |
| 1:47:02 | いう視点で分けていると、いうことの大枠の考え方は一応書いてあるんですけどまだ足りなと思ってます。はい。  |
| 1:47:10 | はい、規制庁、わかりました。じゃあ、企画されているということで搬送 03 の方にも、しっかりその辺ケアお願いします。   |
| 1:47:20 | 共通準じたい。  |
| 1:47:24 | から離れるんですが補足説明資料の方を少し確認させていただきたくてまず 9 ページ目、あとは 01 の 9 ページ目。   |
| 1:47:33 | いろいろ変更されたところの、   |
| 1:47:37 | (2)のポツ、閉じ込めのなお書きのところ、  |
| 1:47:44 | で、   |
| 1:47:49 | 稼働基金についてここでなお書きがされてるんですが、打ち込め条文だけではなくて他の、  |
| 1:47:58 | ところも可動機器が対象があるのであれば、   |
| 1:48:03 | これ以外の臨界者で熱除去を全部書く必要が、  |
| 1:48:09 | あると思っていて、そこら辺は認識いかず、   |
| 1:48:14 | そうですか。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:48:15 | はい。与儀ニシダでございますまず施設から、  |
| 1:48:21 | 今ですね四つの安全機能との関係でそこに影響を及ぼすかどうかという関係で、記載をしてますので、それぞれに対して、今回申請対象になってるかどう機器に対して、その影響があるのかないかと。   |
| 1:48:35 | いうことを書く必要があるというのは認識をしました。現状が一番影響が出そうだなと思っている無閉じ込めに書いてますけど、他と差別化する理由もないですし整理をします。   |
| 1:48:48 | はい。規制庁加賀です。よろしくお願いします。10 ページ目のdポツの加熱状況のところは、記載は整ったんですが滝井のところは、   |
| 1:49:00 | でも似たような話で、松内さんが可能性があるってということで、   |
| 1:49:05 | 金戸助教のところだけではなくて、これも他のところも、   |
| 1:49:10 | しっかり   |
| 1:49:11 | 入っていただきたいということで※臨界遮への観点でも、   |
| 1:49:15 | ちゃんとこういう整理がなされたんだということを残していただきたいんですが、いかが。  |
| 1:49:22 | はい。日本原燃石原でございます。はい。  |
| 1:49:26 | まずは承知いたしました文末があったとしても、閉じ込めはブロックの負圧なんなりで、閉じ込めの維持をしてるそれに対しての、  |
| 1:49:36 | 容器の落下等の影響がないであったり、臨界に対してもグローブボックス単位で、そもそも核的制限値がなくて、全体管理をしてますので、粉末自体が飛散したとしてもその総量が超えるわけではないので、そこに影響があるものではないとかそういったことをそれぞれ書いていければと思います。 |
| 1:49:54 | 規制庁甲斐ですよろしくお願いします。   |
| 1:49:57 | 13 ページの分析のところも、概ね理解はできつつあるんですが、  |
| 1:50:06 | bポツの崩壊熱状況今回の据え置きだったんですが、   |
| 1:50:11 | 分析を、資料の  |
| 1:50:17 | 部分と他のところでは容器等の変形のことについて、   |
| 1:50:24 | 実際分析資料ってそんな、   |
| 1:50:28 | 容器とおコウ。  |
| 1:50:31 | 崩壊熱除去のためにしっかり担保しなきゃいけないってことなんですか。いえ、柳下でござそんなことは考えてませんので設計上も、あくまで   |
| 1:50:41 | なんでしょう。  |
| 1:50:43 | よく使うジャグみたいなものだったり、その崩壊熱をその容器に計上を求めてまでやる必要があるものはありません。  |



|         |   |
|---------|---|
| 1:50:51 | はい、規制庁から出そうだと思いますのでかけるんじゃないかと思ったんですが、だから、他のものと同じぐらい検討した結果、  |
| 1:51:02 | 助成になりましたということがわかるようにしていただかないとなかなかその、こっちはこれ変えてこっちはこれ変えての状況が今あるであるということで、ちゃんと考慮されてるのかなという懸念が持たれますのでそういうところも、  |
| 1:51:18 | 最後そういう目で見えていただきたいんですが。  |
| 1:51:21 | はい、柳下でございますはい。取り扱うものに対して、どういう観点で書くかというのが今、一致してないというか整合とれてないということがご指摘だと思いますので、全体見渡してここだけではなくて、そういったところの、     |
| 1:51:37 | 単価というか整合というか、それが取れてるかという点でもう一度見て、整理をしていきます。   |
| 1:51:44 | はい、製造課ですよろしくお願いします。18 ページ目からの対象設備一覧表がつい、  |
| 1:51:52 | ですが、  |
| 1:51:53 | 類型分類のところ、例えば一番上、  |
| 1:51:57 | オペレートは補完預金を、  |
| 1:52:00 | 早期、もう、  |
| 1:52:02 | 保冷台車とリフターどっちも入っていてこれはどういうふうに考えればいいですか。  |
| 1:52:20 | はい。読めニシウラでございます。もう、   |
| 1:52:23 | は、こちらの思いとしては、思いは伝わらなかつたら意味がないんですけど、同設備の動作のところ、いわゆる昇降動作をするという部分と、ものを   |
| 1:52:36 | 乗せた状態で水平に移動していくと、それが二つの組み合わせでこの設備が成り立っているということを書いているので、これが多分それぞれ違う機構で成立してるんだということを書けばですね。                   |
| 1:52:49 | これがスタッククレーン見たものと違って対策、  |
| 1:52:53 | リフターの組み合わせだということがわかると思うんですけどそういうことをちゃんとこの二つのパーツの組み合わせだということがわかるように整理をして記載をしたいと思います。規制庁はですねそういうことを設備の動作のところ、 |
| 1:53:06 | 累計棒に繋がるように書いていただくっていう必要がまずあると思っています。基本的にはそうやってその複数の動作があるから、コイケ分のところ二つが必要がある。                                |
| 1:53:17 | ていう、まずはそういう認識でよろしいですか。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:53:20 | はい。  |
| 1:53:21 | 瀬谷でございますあることを整理した上で二つ書く必要があるかどうか<br>ってのは、精査をして、整理していきたいと思います。はい。はい、都竹<br>です。その辺が明確になればと思ってますので、よろしく願います。 |
| 1:53:33 | で、39 ページ目。   |
| 1:53:36 | は、   |
| 1:53:38 | これも分析の話で大分いろいろ、不明瞭だったところを書き出して<br>いただいたところではあったんですが、   |
| 1:53:47 | 結局ですね、   |
| 1:53:49 | ずっとこちらが知りたいのは、40 ページ目で例えば、   |
| 1:53:54 | この部分がコウ児童になっていて、どこの部分が主導でとかそういう<br>全体像が、   |
| 1:54:03 | もうちょっと見えてきて欲しいと。そういうことを概念図としては、41 ペ<br>ージ目書いてるんですが、  |
| 1:54:10 | どのようなものがどこを、どのぐらい走るのかっていうことで走るのか白<br>なのかっていうところを、  |
| 1:54:18 | もう少し明確にしていきたいと思います。  |
| 1:54:21 | ですが、その認識はいかがですか。日本イシハラでございますはい。ち<br>よっとおっしゃってることは理解しました  |
| 1:54:31 | 41 ページと 40 ページで、今ですね、中途半端に線を継続したところで、<br>すいません作成側示したつもりで今いまして、いろいろ先例、40 ペ<br>ージに書いてある範囲、                 |
| 1:54:46 | これはいわゆる  |
| 1:54:50 | 医療の搬送する場合、実際、当然その横にグローボックス並んでます<br>ので、ここにも資料を運ばれていきます。それは、   |
| 1:54:59 | いわゆる人が手でグループに手を突っ込んでやる範囲なんですけど、<br>その辺の関係性が、まずもって明確になってないので、そこをちゃんとこ<br>の 40 ページの図内で書いた上で、               |
| 1:55:12 | ここで言う、緑の線が引いたところの一つのパターンとして  |
| 1:55:18 | これも今回、   |
| 1:55:20 | 赤堀を変えて終わった。違うな。  |
| 1:55:23 | この左下と。   |
| 1:55:25 | ミギタだけ。   |
| 1:55:27 | を選びましたっていうのは、認定譲渡益ね。   |
| 1:55:31 | 右下で書いてる赤丸があるところですね、緑の線が引っ張っての<br>ところが、   |
| 1:55:37 | この 41 ページの上側、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:55:44 | 小針側、40 ページの右側の、  |
| 1:55:48 | 受けハラユニットって書いてあるところ。  |
| 1:55:51 | うん。ここの部分が、41 ページでいう下側の話ですが、そのリンケージも含めて、正しくわかりやすく記載をしたいと思います。はい。          |
| 1:56:04 | はい。清斗我です。はい。その観点で今説明いただいたようなことがわかってれば、いいかなと思いますので、そこはよろしくお願いします。         |
| 1:56:19 | 44 ページ目。   |
| 1:56:25 | これウラン貯蔵設備の落下防止対策、この辺で説明されていて、  |
| 1:56:32 | 早急のはじってというのは、貯蔵設備に関してはやってないってことなんですか。                                    |
| 1:56:43 | じゃ、どうぞ。  |
| 1:56:48 | 搬送、搬送側が、の端が、   |
| 1:56:53 | あまり見えてなくてですね、町側は何か例えば 46 ページ目、   |
| 1:57:00 | なんかだと、   |
| 1:57:02 | ちょっとオンダに落下防止金かながついたりして、劣化しないようになってんだなと思うんです。                             |
| 1:57:09 | 浅岡がなかなかこう、   |
| 1:57:13 | 落下物対策、   |
| 1:57:16 | あれとか載ってる場所ですね、パレットが載ってる場所には何もケアしてないように見えていて、そこら辺って実際のところということになってるんでしょう。 |
| 1:57:45 | はい。与儀の車でございます。落下防止対策といえるものがあるかどうかというの、出て今 43 ページで、                       |
| 1:57:55 | 言っているノダ等、  |
| 1:57:57 | おそらくその下についている水色の部分の枠で抑えてる部分もあるんじゃないのかなと思うんで、                             |
| 1:58:04 | その辺ちょっと全体、口頭見て整理をさせていただければと思います。   |
| 1:58:09 | はい規制庁笠野結構な重量物は何のコウはコウなく、ただ、今、載っている、これは結構、                                |
| 1:58:19 | やった方がいいだろうなと思った次第でした。  |
| 1:58:22 | で、あと 47 ページ目。  |
| 1:58:25 | で、いろいろ書いていただいたんですが、  |
| 1:58:30 | 結局、このオープンポートFAX呉だったって話で、   |
| 1:58:36 | オープンポートボックスなのか、  |
| 1:58:39 | オープンぽーっとボックスにしてエントリーしていいいたので、いるっていう、まずそれにしてもよろしいですか。                     |

|         |   |
|---------|---|
| 1:58:50 | はい。廣井イシダでございますその通りでございますはい。はい、規制庁甲斐です。なんでその申請対象設備との関係で、もう少し明確にしていきたい。   |
| 1:59:01 | ので、オープンポートボックスに0と表現されてますっていうことを、  |
| 1:59:05 | もう少しついていただければと思う。   |
| 1:59:32 | だよ。やっぱ閉じ込める2で書いてる単位とここに来ればいいんじゃない。  |
| 1:59:36 | そういうことで、  |
| 1:59:38 | やっぱそれぞれ出してんでしょう。  |
| 1:59:41 | この間も来とってみてください、言ったように。はい。そしたら見に行ったらさ、誰かわかんなかったいけないんで、   |
| 1:59:48 | はい、日本イシタでございます。いたしました。はい。はい。末次です。今おっしゃっていただいた通りです。搬送02の方に移りたいんですが、ちょっと4ページ目のところで、   |
| 2:00:00 | 2.1のなお書き。   |
| 2:00:06 | で、可動機器、   |
| 2:00:11 | 第2回申請でないっていう、元の話です。ちょっとここら辺はしっかり全体を通じて整理いただければと。  |
| 2:00:17 | 思います。   |
| 2:00:18 | 7ページ目のこの表の昇降同斜のところの見方がよくわかんなかったんですが、上に書いてある設備と、   |
| 2:00:29 | 説明の関係っていうのはこの設備名は、  |
| 2:00:33 | の説明をしたりしているというまずそういう理解です。   |
| 2:00:48 | イノウエイシタでございます。7ページのお話をされてます。はい。工藤。はい。ちょっとこれも確かに関係性がわかりづらいので、  |
| 2:00:59 | はじめとした時に見なきゃいけない機構としての関係性と、その機構に対してどういうことを要求するかと。   |
| 2:01:10 | いうことを、関係づけたいと思って作ったのがこの表でございます。はい。前と後との関係の紐づけも含めて記載の整理はしていきたいと思いますが。はい。はい、規制庁SDの上では見てるんです。その食道サノボールネジエアシリンダっていうのは唐突に出てきてるんですが、これ、 |
| 2:01:31 | 今まで説明ありました。   |
| 2:01:34 | 何のことを言ってる。  |
| 2:01:57 | 吉田君ちょっと待ってください。   |
| 2:02:40 | 当然ニシヤマの教材に支障しました。ちょっとそういう意味でいくと、  |

|         |  |
|---------|--|
| 2:02:49 | 今の調整の書き方が、7ページはあくまで、頭の文章書く流れで書ける範囲でしか書けないんで、   |
| 2:02:58 | その上で、可動範囲の制限も含めて、これからこの7ページの表がある場所が悪いのかもしれないから、  |
| 2:03:08 | 2.2. 11以降の説明をしてから、この表示の方がわかりやすい気がする。   |
| 2:03:16 | ちょっと構成も含めて考えます。はい。成長からどっちエアシリンダわかるんですがボールネジは50ページとかに書いてあるんだけどそうですねサイトウあって、                   |
| 2:03:28 | 概ね次が何か、ちょっと待ってくださいね。   |
| 2:03:40 | 紅葉切ってあって、  |
| 2:03:43 | 可動範囲、  |
| 2:03:44 | 決定されるってことです。はい。単純に明治での稼働範囲の制限であることは確かだと思うので実際、その例示も含めてちょっと考えますはい。                            |
| 2:03:54 | はい、規制庁からサポート掴んがありましたので、あと真ん中ポツってこれ同じ設備を説明してるのか、別な設備を説明してもちょっと、                               |
| 2:04:04 | 何かよくわからなかったので、全体の流れとして、  |
| 2:04:09 | 使ってきた用語なりで、ちょっと説明いただければということでした。   |
| 2:04:18 | 岡部さんと10ページ目の2.2. 4の(5)、前のページから続いているところの最後のところ、前回もコメントしたんですが、最後の部分が、強度上問題ないガイドを取り付けた構造になっていて、 |
| 2:04:33 | こういうふうに書いてしまうとそこ、  |
| 2:04:35 | 何、どういう観点で強度上問題ないっていうふうに言ってるのかっていう。   |
| 2:04:41 | なるんですが、ここは、  |
| 2:04:44 | どういう観点ですか。   |
| 2:05:11 | ウメダでございませすまずあの、仮置時に検討すること覚えするために、ガイドをつけるというのが、まず、設計上のまずやりたいことですので、                           |
| 2:05:21 | まずその、それでいうとこれ、あれ。  |
| 2:05:26 | 59ページにあるような  |
| 2:05:30 | 躊躇みみたいな状態ですねこういうものをつけますよということを、まず設計としてまず言うのかなと思いますんで、  |
| 2:05:39 | 59ページで言ってるのはあくまで遮へい物の物性が   |
| 2:05:46 | 挟まるようないわゆるガイドを取り付けますよということが、もともとやりたかったことです。はい。   |
| 2:05:52 | はい、辻岡です。大変、  |

|         |   |
|---------|---|
| 2:05:55 | 共同の話は、  |
| 2:05:58 | どういう観点でこう、  |
| 2:06:00 | 説明されている箇所なんでしょうか。   |
| 2:06:04 | これ。   |
| 2:06:05 | これ、   |
| 2:06:14 | 58 ページ目は 59 ページ目には強度の観点は書いてないんです。   |
| 2:06:25 | はい、ユリ社でございますこれも 16 条でやる範囲はあくまでこういうガイドを設けて転倒防止を図るということが目的でして、実際これを、耐震との関係も含めて、ここにどういった強度を持たせるかと。 |
| 2:06:41 | いうこと。結局は、転倒して、この分を枠に入ってるグローブボックス自体の閉じ込めに影響しないようにということが最終的にはゴールになると思いますけど、そういったことに対しての、          |
| 2:06:53 | 環境影響が起こらないことを確認していくということかと思ってます。  |
| 2:06:57 | はい。衛藤オカです。そういう、前丹やっばり前提みたいなものがあるってこそ、この共同っていう説明に繋がるので、単体で強度を持たせると書かれると、                         |
| 2:07:09 | どういう観点のっていうふうになりますので、そこら辺は適宜不自由な  |
| 2:07:16 | 面の拡充なりお願いします。   |
| 2:07:19 | パウチ層 0 に私から以上、発送関係私から以上です。  |
| 2:07:27 | はい、ありがとうございます。  |
| 2:07:31 | では他搬送関連で、規制庁側からコメント等ありますでしょうか。  |
| 2:07:36 | 古作です。ちょっと細かな話になっちゃいますけど、これまで聞き忘れてって、  |
| 2:07:45 | 他に書いてあればそれを言うていただければと思うんですけど、気相の搬送のカプセルで送るやつですねあれを対象にしないっていう話について、                              |
| 2:07:58 | それがなぜかっていうところ。  |
| 2:08:02 | うん。   |
| 2:08:03 | この場所にこう書いてありますとかでもいいので説明いただき、   |
| 2:08:18 | この 2 本のイシハラでございます。現状ですね   |
| 2:08:25 | 断層 01 のちょっと短絡的に書いちゃったようにこの思いをちゃんと書けるかってのは若干ちょっと引っかかる場所ありますけど 16 ページですねこのフローでは、                  |
| 2:08:36 | 分析の配管内を移動するものこれどこの条文に振ったんだっけ。   |
| 2:08:40 | 14 条。   |
| 2:08:43 | 移送設備として、  |
| 2:08:45 | であればこれ十四条側でその基礎設備としての、  |

|         |   |
|---------|---|
| 2:08:50 | コイケを張ってこと。  |
| 2:09:02 | あそこ、入園者でございますちょっとリンケージも含めて、書きされてないので、他は、何らか、他の条文でどういうことを説明するかっていうのを書いてるところが全く書ききれないところもあったりするのでとこと。 |
| 2:09:17 | 整理をさせていただきたいと思います。  |
| 2:09:22 | はい。補足ですよろしく申し上げます。何となく、   |
| 2:09:28 | 隠すか、起草して書いてありましたかね。   |
| 2:09:32 | それで閉じ込めているので問題ないって言うてるようでもあり、送料だからと思っているようでもあり、   |
| 2:09:40 | 何をもってその影響なし。  |
| 2:09:44 | 消しているのかが釈然としなかったので、そこら辺、  |
| 2:09:48 | 確認していただいて、何々でその問題は担保しているのか、それは担保がちゃんととれてるか。   |
| 2:09:56 | ということがわかるようにしていただければと思います。以上です。   |
| 2:10:01 | はい、弓削ニシダでございます集計いたしました。   |
| 2:10:07 | 他規制庁側で、   |
| 2:10:10 | ポイントありますでしょうか。  |
| 2:10:15 | はい。   |
| 2:10:16 | そしたら本日の項目全部すべて終了ということですけど、振り返りどうされますか少し時間を受けますか。  |
| 2:10:26 | はい、吉田でございます。ちょっとほど時間をいただければと思いますがいかがでしょうか。わかりました。じゃあ、17時50分から再開したいと思います。                            |
| 2:10:38 | 6を一度停止します。  |
| 0:00:00 | はい、横川再開しました。はい。では本日の振り返り、ざっとお願いしたいと思いますよろしく申し上げます。  |
| 0:00:06 | はい、吉田でございます。本日のヒアリングの振り返りでございます。小共通事業本部につきましては、代表の話は、別途やっているヒアリング内容も踏まえて記載を整理していくと。                 |
| 0:00:20 | いうこと。また、評価項目一覧表については、   |
| 0:00:26 | 本文上、資料4の(1)が出てくるので、それとも関係も踏まえて、適切な処置をするということ。あとは、P42とかで評価指標の違い等と、                                   |
| 0:00:38 | 書いてある等の中身がよくわからないので、それ以外に例示をふやしながら、頭の中にあるんだったらそれを拡充していくということで整理をします。                                |
| 0:00:48 | はい。続きまして資料2でございます。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:00:54 | 運搬製品容器の記載、今、説明グループ 1 と 3 で記載の範囲を分けるのであればそのとりあえず含めて、どういう分け方をするのかというのが見える化する必要があるということ。                            |
| 0:01:08 | 暗記の方で、6 時との関係が今、現状構造、システム設計の中で読み切れないので評価との関係も含めて、リンケージを図れるように、記載の拡充と紐づけをするということ。                                 |
| 0:01:23 | サトウ。   |
| 0:01:24 | これは機械装置搬送設備ですかね。231 で下線が変に入っているところがこれ代表のところの下線を引くのが中途半端に横に流れていってしまっただけだと思いますので動きとして修正を、                          |
| 0:01:36 | させていただきます。   |
| 0:01:39 | はい。  |
| 0:01:42 | 資料 4 の関係評価パターン(1)については、  |
| 0:01:50 | 以下、  |
| 0:01:52 | 評価項目一覧表も海田ね。   |
| 0:01:55 | であの文書、簡単にしたやつ。はい。  |
| 0:01:59 | 米の場所。  |
| 0:02:00 | 整理して記載をするってのは、はい。  |
| 0:02:03 | 評価パターン(1)の漏えい液受け皿の関係のところですけども、全体の月曜日のヒアリングでのやりとりを踏まえて、記載を整理をしたものというのを受けオダしておりますが、それも含めて全体整理をする必要があるところがまだ幾つかあると。 |
| 0:02:21 | いうことで認識をしています。   |
| 0:02:26 | 10%の根拠のところはまだ、10%に頼るんであればその根拠がいるんですけどまだ個別も含めて書ききれてないというところ、あとは、  |
| 0:02:38 | 評価対象と、代表と差分の関係ですなここも整理をしていく必要があるところがまだ残っていると。  |
| 0:02:47 | あと 305 ページの回収槽これは何か言葉だけ見ると、ここに片理タンクがあるみたいに言いますがその役割とか目的を明確にするということ。  |
| 0:02:57 | あと今日お出しをしたもので、書き切れてるかどうかまだ精査が必要ですが、系統図を書いているところですね、バッチ処理との関係とか、配管の破損箇所との関係での漏えい量の                                |
| 0:03:10 | 扇形必要な系統の状態ですなどこまで水が入っていることを考えているのかというようなことを記載を拡充をしていくと。  |
| 0:03:18 | いうことでございます。はい。   |



|         |  |
|---------|--|
| 0:03:22 | 296 ページでろ過装置のアノ式公式でも関係書いてますが、配管部の容積、括弧C2 万何も※がついてませんけど※1 を同じように使ってますので関係をしてい。  |
| 0:03:37 | 整理をしていくということと、図で書いてるない系統式で使ってる半径の関係、これを明確にしていくということですかね。あとは、                   |
| 0:03:47 | 黄砂を使っているところの数字の打痕根拠であったり、パターンが幾つかあるの数、パターン①みたいなもの、②か②を使ってなかったりと、               |
| 0:04:00 | 予想との関係の明確化というもの。   |
| 0:04:03 | あと床勾配、完全に水平にすることは難しいが物理的に無理ではないかということも考えて、評価のポイント、構成上見なきゃいけないポイントが何かと。         |
| 0:04:15 | いうことの担保事項との関係で、記載を再度整理をしていくと、いうこと。   |
| 0:04:21 | ですかね。あとは風量の話でございますが、   |
| 0:04:27 | グループ1 とグループ3、Dぼつのところに分かれますので、この関係性を、他の医師も含めてですね、説明グループが分かれるところは関係性を明確にするということ。 |
| 0:04:40 | はい。  |
| 0:04:41 | あとは、それぞれ 0.25%、オオノ関係の試験との結果の書き方だったり、0.1、                                       |
| 0:04:51 | 立米パーアワーの漏れ量の話がずれ、それぞれのステップごと控えていたもの、0 から 0.1 が適切ではないかということも含めて出たの記載の、          |
| 0:05:02 | 整理をしていく必要があるということをしてございます。   |
| 0:05:06 | はい。  |
| 0:05:09 | あとは、   |
| 0:05:12 | グローブボックス排風機で関係をしないとして除いた、因子ですねこれに対しての関係しないとする根拠を、今全く書いてないですのでそこを明確にしていくということ。  |
| 0:05:27 | はい。あと複数の短期でのグローボックスのグルーピングをしているものを考え方で使う場合使わない場合が仕事に変わってたりするのでその全体今回の申請田井申請範囲、 |
| 0:05:43 | 今回説明グループ1 で説明する範囲に対してどういう目的が塗って、どういう目的に沿って、どう考えるのかと、いうことを整理をしていくということ。         |
| 0:05:55 | はい。あとは、  |
| 0:06:00 | 最後の搬送の定格荷重の件、これはシステム設計側での内部発生飛散物十条との関係。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:06:11 | これを回転機器とそれ以外のところで、代表、整理の考え方も含めて整理をして、どういうふうに決めて示していくかを、再度資料にまでさかのぼって整理をする必要があると。                   |
| 0:06:23 | いうこと、あと差分がないときにですね、バー差分なしとしているところ、どういうこの対象にしてどういうことで、差分がないとしたのかというちょっと考え方も書かないと、バーだけではさすがに         |
| 0:06:36 | 全体を表し切れてないところがあるのでその記載は、記載を検討しながらも、規則的なものとして展開をしていくということを考えると、いうことでございます。                          |
| 0:06:50 | はい。今日は、あとは回転機器のところ、  |
| 0:06:54 | それは聞いてましたけど図の説明はそもそも合っていない気がするのでそこは整理をさせていただきます。   |
| 0:07:01 | はい。  |
| 0:07:04 | あと、個別の補足資料で、   |
| 0:07:11 | オープンポートボックスのところ、閉じ込め 02 ですねこれALPS以上を超えないように、かつ超える場合にはグループを取り付けてということで構造設計側でそもそもグループが取り扱える構造であることを、 |
| 0:07:23 | 示していくということと、A系B系あるたり系統数が複数あるものを、P44 ですけど、外構の整備のときには、メーカー正確に書くと、いうこと。                               |
| 0:07:36 | それ、閉じ込め 03 は、個別補足の形態として、代表が決まったところからスタートしてますので全体を流して、一連の流れがわかるように記載を整理をし、明確にして拡充していくということで整理をします。  |
| 0:07:53 | はい。  |
| 0:07:55 | あと黄砂を出すときの示し方ですね、それを全体統一して、他の個別補足だったり資料横側にも展開をしていくということで、宿題があったと思います。                              |
| 0:08:08 | 搬送系の方は、搬送 01 で、あとは資料 4 で、他の条文に飛ばすときの飛ばし方が、   |
| 0:08:18 | 合っていないのでそこを合わせにいくということ、丁寧に確保に合わせていくということです。  |
| 0:08:26 | あとは雑固体が、各電力線前から対象外ということじゃなくてちゃんとその考え方を整理して、記載をしていくということ。   |
| 0:08:37 | はい。あと可動機器の考慮の仕方、対象じゃないかどうかという書き方ですね全体、閉じ込めアノ搬送 01 から搬送 03 まで合わせて、統一的な書き方で整理をしていきたいと思います。           |
| 0:08:49 | はい。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:08:52 | 後は、粉末の下に対する考慮ということ、P10 ですね、今崩壊熱除去に書いてますがそれ以外のところも同じように展開をするということで、記載を整理していきます。 |
| 0:09:09 | これは分析資料の扱い、基礎関係のやつをちゃんと整理をするということとあとP4041 で                                    |
| 0:09:17 | それを書いてますが二つ、2 ページに渡ってるウノ関係性、手動である部分自動である部分も含めて整理をしていくということです。                  |
| 0:09:27 | はい。  |
| 0:09:29 | 搬送 02 の方は、   |
| 0:09:35 | オール目地の復旧を追加をするということですよ。はい。あと   |
| 0:09:40 | 蓋を載せるところは、遮へい蓋ですね、を重ね野瀬するところは、まず、構造として何を担保するか、またそういった強度オカに、                    |
| 0:09:53 | 目的として考えるのか、それだったらどういう強度との関係で官が考えるべきことがあるのかと、いうことを全体整理をして記載をしていくということです。        |
| 0:10:03 | IT01 の方は、どうどの位置付けが、相変わらずいけるの実測を明確にするということ。                                     |
| 0:10:13 | はい。あと線区分の設定のところは唐突に出てきますので、システム設計配置の設備設計で書いているところの関係を整理していきます。                 |
| 0:10:23 | はい。  |
| 0:10:26 | あとは、溢水 43 は、今現状書いてあることが没水のみ限定されたような書き方になってますので、溢水上考慮すべき影響というのを全部挙げた上で、         |
| 0:10:39 | どういう方法をするのかという設計を、方針を図るということ。  |
| 0:10:43 | で、整理をしますかつ工程室としてやること、それ以外のところに対して考慮することという、全体の特徴的な設計上の配慮というのをちゃんと抱えていくということです。 |
| 0:10:57 | はい。  |
| 0:11:00 | あとは、そば屋さん。   |
| 0:11:07 | はい。以上から違う、あと共通順位で示さない添付書イデ書くことなので、その辺の記載を整理をして、修正をしていきます。                      |
| 0:11:19 | はい。あとは道路の地下水の考慮、それぞれ、PAとCBIに地下水排水設備できて出てついてますけど、それぞれで                          |
| 0:11:29 | 地下水の影響排除できる部分とそうじゃない部分田井なもの関係性を整理をして、  |
| 0:11:37 | エキスパンションジョイントのところ、考えるべきことなのかどうかも含めて全体整理をしていくということだと思ってます。はい。                   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:11:47 | ですかね。あと万1と書いてあるところの、アノは入ってきたときに、  |
| 0:11:54 | 期待をするピット等については、井清ホウジョウ期待する範囲としてどこまでを対象にするのかというのを整理をするという、いうことで宿題があったと思ってます。 |
| 0:12:05 | はい。全体として以上でございます。   |
| 0:12:09 | はい。規制庁荒井です。   |
| 0:12:12 | 振り返りについて規制上かがわから何かコメントありますでしょうか。  |
| 0:12:22 | はい。明日も審査会合資料案として、同じ説明がほとんど同じ説明があるのかなと思っておりまして、                              |
| 0:12:32 | 今日の指摘を、数の資料の段階で、どのような形で反映できそうかっていうところも踏まえて明日説明お願いしたいと思うんですけど、いかがですか。        |
| 0:12:48 | はい。イノウエのインダでございます。はい。そうできるように。はい。ちょっと考えておきます。はい。はい。                         |
| 0:12:56 | 他は規制庁側からよろしいでしょうか。  |
| 0:13:03 | はい。   |
| 0:13:04 | では本日のヒアリング、これで終了したいと思います。録音提出をお願いします。                                       |